注3

大学番号:公001

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



### 宮城大学 事業構想学群

注2

### 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 公立大学法人 宮城大学 令和元年5月1日現在

作成担当者

宮城大学事務局企画・入試課 企画・広報グループ

電話番号 022-377-8594

(夜間) 022-377-8594

F A X 022-377-8282

e — mail kouhou@myu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ( )書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

### 目次

<∄	B業ノフンニンク字類 >	ページ
1.	調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・ 3	
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・ 7	
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・16	
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 17	
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 19	
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・ 34	
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35	
<b>&lt;</b> 比	也域創生学類>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44	
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・54	
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・ 55	
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 57	
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・ 72	
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73	
<個	面値創造デザイン学類>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・ 77	
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・ 82	
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・92	
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 93	
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 95	
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・109	
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・110	

#### 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人宮城大学

- (2) 大 学 名 **宮城大学**
- (3) 大学の位置

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

#### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ニシガキ マサル) <b>西垣 克</b> (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) <b>川上 伸昭</b> (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) <b>西垣 克</b> (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) <b>川上 伸昭</b> (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(カザミ ショウゾウ) <b>風見 正三</b> (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)
  - 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表</u> <u>を追加してください。</u>
  - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合に5年以上の場合には、欄を設けてください。)・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる (修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、
  - 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	1)用 <i>行</i>		
事業構想学群 事業プランニング学類	経済学関係	4	60	年次 人 -	240	
学士 (事業 プランニング学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

  - を異さる実とに場合は、「備考」に表定的の人気、変更キャスを取られて来ると、「一音と記入してください。
    ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
    ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
    ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成	2 7	7年度		平成 2	2 8	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和元	年度	平均入学定員	開設年度から報 告年度までの平	備考
区分	,	春季入	学	その他の学期		春季入学		その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	春季入学 その他の学期		その他の学期	超過率	均入学定員超過 率	ביל פוע
		)		Y		Y		Y	7	50	٨,	50	人	n A			
Α	入学定員	(		)		(		)		-)		_) )	(-)				入学時は、一部の選抜区分を除き、事業
		[		]		[		]	[	5]	[	5]	[5	5]			構想学群としての学群一括入試のため、
					١.				214	-	270	-	221	-			学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容
ā	志願者数	(	) (	( )	(	( ) r 1	1	( )	(-) [20]	(-)	(-) [18]	(-) [-]	(-)	(-)			する。 なお、入学時に学類が決定して
		L.	J	L J	1	L J	+	L	147	[-]	192	[-]	[6] 154	[-]			いる学生は、AO入試区分入学者9名、外 国人留学生入試区分3名の計12名であ
5	受験者数	(	) (	( )	(	( )	,	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1. 05	_1±	国人由子生人試及力3名の計12名である。(29) 記載についてけ前在と同様であり 入学
		[ ]	]	[ ]	[	[ ]		[ ]	[20]	[-]	[17]	[-]	[5]	[-]	1.03		記載については前午と同様であり、八子
									65	-	65	-	67	-			時に学類が決定している学生は、AO入試 区分入学者9名、外国人留学生入試区分2
É	合格者数	(	) (	( )	(	( ) - 1	)	( )	(-)	(-) [-]	(-)	(-)	(-)	(-)			名の計11名である。(30)
-		L.	1	L J	۲	L J	+	L J	[3] 63	[-]	[3] 62	[-]	[4] 64	[-]			記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、AO入試
В	入学者数	(	) (	( )	(	( )		( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			区分入学者8名,外国人留学生入試区分4
		[ ]	]	[ <u>j</u>	j	[ ]		<u> </u>	[3]	[-]	[2]	[-]	[4]	[-]			名の計12名である。(元)
	定員超過率 B/A			·					1.	05	1.	03	1.	08			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
  - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内敷で記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	7 年度	平成 2	8年度	平成2	9 年度	平成 3	0 年度	令和力	元年度	備考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
						63	-	62	-	64	-	
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[3]	[-]	[3]※	[-]	[4]	[ - ]	
		( )	( )	( )	( )	(-)	(-)	(1) 💥	(-)	(1)	( - )	
								64	-	65	-	- ┃1年次の在学者については,一部の選抜区分を除き,事業構想学群とし
	2 年次			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[2]	[-]	[3]	[ - ]	ての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、   2年次進級時に学類を決定して収容する。
				( )	( )	( )	( )	(-)	(-)	(2)	( - )	なお、入学時に学類が決定している学生は、AO入試区分入学者9名、外 国人留学生入試区分3名の計12名である。(29)
			$\overline{}$							63	-	記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生
	3年次			_		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[2]	[ - ]	は、AO入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分2名の計11名である。 (30)
						( )	( )	( )	( )	(-)	( - )	※平成29年度入学生のうち留学生1名が留年していることから、平成30 年度留学生1年次生は当該年度入学者2名に留年者1名が加わっている
												(30) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生
	4 年次					/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	は、A0入試区分入学者8名、外国人留学生入試区分4名の計12名である。
								( )	( )	( )	( )	(元)
						6	i3	1	26	19	92	1
	計	[	]	[	]	[:	3]	[	5]	[9	9]	
1		(	)	(	)	(-	-)	(	1)	(;	3)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「-」を記入してください。

  - ( ) 内には、<u>留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入</u>してください。
     ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
     ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、 $\underline{\mathbf{84}}$ 年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分						
	在学者数(b)	很学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	L ] 130(0)	2 1 1 20 (0)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
十成20千皮	0 人	0 7	平成28年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成29年度	210 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成30年度	209 人	2 人	平成28年度	0 人	0 人	
十成30千度	209 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	・他の教育機関への進路再考(2)
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
令和元年度	215 人	2 人	平成29年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			平成30年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
  - 3,0,0

#### 【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b)	= —	0	=	#DIV/0! %
【平成28年度】				
平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	= —	0	=	#DIV/0! %
【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	=	210	=	0 %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	= —	209	=	0.95 %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	= —	2 215	=	0.93 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

#### 2 授業科目の概要

#### <事業構想学群 事業プランニング学類>

## (1) 一① 授業科目表 【**認可時又は届出時**】

	8円 時又は油田時		ì	单位数	kt .	Ħ	1 任 教	昌笙	の配	署	兼
科目		配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	授業科目の名称	年	æ.	Æ		**	教	n <del>r)</del>	19)	14/1	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担担
	宮城大学の知の体系	1前	2								3
	大学での学び入門	1前	1								1
	社会の中で生きる	1前	1								1
	キャリアデザイン I	1後	1								1
	スタートアップ・セミナー	1前	2								1
	アカデミック・セミナー	1後	2								1
	地域フィールドワーク	1前	2								1
	情報化社会と技術	1後	2								1
	データサイエンス入門	1前	2								1
	English Reading Skills I English Self-Expression I	1前 1前	1								5 5
	English Reading Skills II	1後	1								5
	English Self-Expression II	1後	1								5
	English for Academic Purposes I	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	i								5
	English for Academic Purposes II	2後	-	1							3
	Extensive Listening	2後		1							3
	Practical English	2前		1							3
	中国語 I	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2前		1						l	1
	韓国語 I	1・2後		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語 I	1・2休		1							1
	ベトナム語 Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies II	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
基	全学自由ゼミ	1・2休		1							1
盤	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
教	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
育	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
科	音楽	1•2前		2							1
Ħ	美術	1・2後		2							1
	たまり <del>24</del>										
	健康科学	1・2前		2							3
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学 現代社会の諸相	1・2前		2							1
		1・2後		2			1				
	憲法 社会と経済	1·2後 1·2後		2			1		Ī		1
	在芸と経済 数理科学	1·2後 1·2前		2			'	l	1	l	,
	数理科子 生命科学	1·2前 1·2前		2						l	1
	環境科学入門	1・2街		2			l	l	1	l	1
	地球と宇宙	1・2後		2			l	l	1	l	1
	数学概論	1・2仮		2			l	l	1	l	1
	物理概論	1・2前		2			l	l	1	l	1
	化学概論	1・2制		2			l	l	1	l	1
	生物概論	1・2後		2			l	l	1	l	1
	基礎統計学	1後	2	′			l	l	1	l	1
	日本語 I	1前	_	1			l	l	1	l	1
	日本語Ⅱ	1後		l i			l	l	1	l	1
	日本語皿	2前		l i			l	l	1	l	1
	日本語Ⅳ	2後					l	l	1	l	1
	日本事情 I	1前		2			l	l	1	l	1
	日本事情Ⅱ	1後		2			l	l	1	l	1
	小計(58科目)	- 12									$\vdash$
	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							1
全	コミュニティ・プランナー実践論	2後		ا ا	2		l	l	1	l	1
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前		l	2		l	l	1	l	1
共	グローバルインターンシップ	1・2休		2	_		l	l	1	l	1
通	学外研修	1・2休		2			l	l	1	l	1
科				٦ ا			l	l	1	l	
目				ĺ					Ī		1 1
	15 = 1 / E = 1   D	1						<b>-</b>		<b>—</b>	-

#### 【令和元年度】

	7年ル十支』		ì	单位数	λt	重	任教	日笙	の配	置	兼
科目		配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	授業科目の名称	年	必	丛	п	狄	教	叶	EVJ	ΕVJ	•
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
-	宮城大学の知の体系	1前	2	אנ	ш	JX	JX	Puls	77	,	3
	大学での学び入門	1削 1前	1								1
	社会の中で生きる	1前	1								5
	キャリアデザイン I					4					
	スタートアップ・セミナー	1後	1			1	_	4			1
	アカデミック・セミナー	1前	2			0	0	1			7
	地域フィールドワーク	1後				U	0	'			7
	情報化社会と技術	1前	2								13
		1後	2								6
	データサイエンス入門	1前	2								5
	English Reading Skills I	1前	1								6
	English Self-Expression I	1前	1								5
	English Reading Skills II	1後	1								5
	English Self-Expression II	1後	1								4
	English for Academic Purposes I	2前	1								5
	English Self-Expression III	2前	1								5
	English for Academic Purposes II	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
I	Practical English	2前		1			l	l	l		1
I	中国語 I	1・2前		1			l	l	l		2
	中国語Ⅱ	1・2後		1			l	l	l		2
	韓国語Ⅰ	1 - 2前		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1			l	l	l		1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies II	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2		_					1
基	全学自由ゼミ	1・2休		1		2					4
盤	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
教	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
育	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
科	音楽	1・2前		2							1
目	美術	1・2後		2							2
	アートサイエンス概論	1前		1							7
	総合芸術	1集中		1							6
	健康科学	1・2前		2							5
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学	1・2前		2			_				2
	現代社会の諸相	1・2後		2			0	l	l		1
	憲法	1・2後		2				l	l		1
	社会と経済	1・2後		2		1	0	l	l		
I	数理科学	1・2前		2			l	l	l		1
I	生命科学	1・2前		2							1
	環境科学入門	1・2後		2			l	l	l		2
	地球と宇宙	1・2後		2			l	l	l		1
	数学概論	1・2前		2			l	l	l		3
I	物理概論	1・2前		2			l	l	l		2
I	化学概論	1・2前		2			l	l	l		2
I	生物概論	1・2前	٦	2							3
I	基礎統計学	1後	2								4
	日本語Ⅰ	1前		1			l	l	l		1
	日本語Ⅱ	1後		1			l	l	l		1
I	日本語皿	2前		1							1
I	日本語Ⅳ	2後		1							1
I	日本事情Ⅰ	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
-	小計(60科目)	024		_							10
_	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							13
全学	コミュニティ・プランナー実践論コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	2後		l	2		l	l	l		12
	プローバルインターンシップ	3前		_	2		l	l	l		11
共通	学外研修	1・2休		2			l	l	l		1
通科	字外研修 <b>産学連携講座</b> I	1・2休		2	4						1
目目	座于連携講座 II	1・2通 1・2通		l	1		l	l	l		1
ľ	小計(7科目)	1-220			-						-1-
<u> </u>	11:01 (71オロ)										

		_	_			_					_
	事業構想学概論	1後	2								1
	地域活性化とビジネス	1後	1								2
	地域社会・産業とデザイン	1後	1								2
	地域政策概論	2前	2								2
	ビジネスモデル論	2前	2								1
	ミクロ経済学	2前	2				1				
	地域調査法	2前	_	2		1	l '				
	データサイエンス		_			'					4
		2前	2								1
	応用統計処理	2前	2								1
専	キャリアデザインⅡ	2前	1			1					
門	インターンシップ I	2前	2			1					
基	法学概論	2後	2				1				
礎	経営学概論	2後	2			1					
	マクロ経済学	2後	2								1
科	社会調査法	2後		2							1
目	数理計画	2後		2							i
	キャリア開発 I	2後	1	_		1					'
			'	_		'					
	消費者心理学	3前		2			١.				1
	ゲーム理論	3前		2			1				
	地理情報分析	3前		2							1
	多変量解析	3前		2							2
	キャリア開発 Ⅱ	3前	1			1					
	インターンシップ Ⅱ	3前		2		1					
	キャリア開発Ⅲ	3後	1	_		1					
I	小計(24科目)	-	Ė			Ė					
<b>—</b>	経営戦略論	2後	1	2	<u> </u>	1	<del>                                     </del>	<u> </u>	<u> </u>	$\vdash$	<del>                                     </del>
	1										
I	マーケティング	2後		2	l	1	1	l	l		
	ビジネスプロセスマネジメント	3前		2							1
	販売促進	3前		2		1					
	ロジスティクス	3後		2							1
	マーケティングリサーチ	3後		2							1
	eビジネス	3後		2							1
	現代企業論	4前		2		1					
	ブランディング	4前		2		'					1
	リスクマネジメント			2							
		4前									'
	会計学概論	2後		2			1				
	金融論	2後		2							1
	経営組織論	2後		2		1					
	会計学	3前		2							1
	経営財務	3前		2							1
	人的資源管理論	3前		2		1					
	経営情報管理	3前		2							1
	企業会計	3後		2							i
	税務会計						4				'
		4前		2			1				
	CSR·経営倫理	4前		2			1				
専	地域資源論	2後		2			1				
門	地域社会学	2後		2		1					
科	国土・地域計画	2後		2							1
目	地域分析学	2後		2							1
I	都市と文化	3前		2							1
1	行政学	3前		2			ĺ				1
1	社会的共通資本	3前		2			ĺ				1
1	=1 = /2 + **			_			ĺ				
I	計量経済字	3前		2							
I	地域交流論	3後		2							1
I	都市計画	3後		2							1
I	地方自治	3後		2			1				l
I	コミュニティ創造	3後		2	l		1	l	l		1
I	交通計画	3後		2	l		1	l	l		1
I	地域産業政策	4前		2	l		1	l	l		1
1	地域環境政策	4前		2			ĺ				1
1	地域福祉政策	4前		2			ĺ				1
I	行政評価	4前		2			1				Ι'
I				2							l
I	社会起業論	4前					1				l
I	防災計画	4前		2	l		1	l	l		١.
1	民法	3前		2			ĺ				1
1	公法	3前		2			ĺ				1
I	商法•会社法	3後		2							1
I	知的財産管理	4前		2							1
I	小計(43科目)	-									
<u> </u>	事業プランニング演習 [	3前	2			4	4				3
卒	事業プランニング演習 I			1	l	4	-	l	l		
業		3後	2	1	l		4	l	l		3
研	卒業研究 I	4前	2	1	l	4	4	l	l		3
究	卒業研究Ⅱ	4後	4	<u> </u>		4	4				3
تــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	小計(4科目)	-	<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>				
L	合計(134科目)	-			1		l -		1		l -

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目から16単位の履修が必要となる。 関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない。

が、 他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超えるものに ついては関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

	事業構想学概論	1後	2			1				0
	地域活性化とビジネス	1後	1	1						2
	地域社会・産業とデザイン	1後	1							1
	地域政策概論	2前	2							1
Ī	ビジネスモデル論	2前	2	ĺ		1	Ī			Ö
	ミクロ経済学	2前	2			1	0			_
	地域調査法	2前	-	2		Ö	1	l	l	1
	データサイエンス	2前	2	l -		ľ	1	l	l	1
	応用統計処理	2前	2							1
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1				2
専	インターンシップ I	2前	2			l i	0	1		5
門	法学概論	2後	2			Ιi	ō			•
基	経営学概論	2後	2			1	•			
礎	マクロ経済学	2後	2			1				1
科	社会調査法	2後	_	2		Ιi				0
目	数理計画	2後		2		Ιi				ŏ
	キャリア開発 I	2後	1	_		l i				2
	消費者心理学	3前	'	2		٠.				1
	ゲーム理論	3前		2		1	0			٠.
	地理情報分析			2		٠.	U			4
Ī	多変量解析	3前 3前		2		4	Ī			1
	多変重性が   キャリア開発 Ⅱ		1	^		1	1	l	l	0
I	インターンシップ Ⅱ	3前 3前	l '	2		l ¦	0	1	l	2 5
I	キャリア開発Ⅲ		1	′			۳	l '	l	
I		3後	1	<del>                                     </del>		┞-	<del>                                     </del>	-	-	2
_	小計(24科目) 経営戦略論	2後		0		-1	<u> </u>			
				2		1				_
	マーケティング	2後		2		1	1	1	l	0
	ビジネスプロセスマネジメント	3前		2		1	1		l	0
Ī	販売促進	3前		2		0	Ī	1		
	ロジスティクス	3後		2						1
I	マーケティングリサーチ	3後		2			1	l	l	1
Ī	eビジネス	3後		2		1	Ī			0
	現代企業論	4前		2		1	1	l	l	
	ブランディング	4前		2			1	l	l	1
	リスクマネジメント	4前		2			l .	l	l	1
Ī	会計学概論	2後		2		1	0			
I	金融論	2後		2		1	1	l	l	0
Ī	経営組織論	2後		2		1	Ī			
Ī	会計学	3前		2			Ī	1		0
	経営財務	3前		2		1	1	l	l	0
	人的資源管理論	3前		2		1	1	l	l	
	経営情報管理	3前		2		1	1	l	l	0
	企業会計	3後		2			1	1	l	0
I	税務会計	4前		2		1	0	l	l	
I	CSR·経営倫理	4前		2		1	0	l	l	
専	地域資源論	2後		2			0	l	l	2
門	地域社会学	2後		2		0	1	l	l	1
科	国土·地域計画	2後		2			Ī			1
目	地域分析学	2後		2			Ī			2
Ī	都市と文化	3前		2			Ī			1
Ī	行政学	3前		2			Ī			1
Ī	社会的共通資本	3前		2			Ī			1
	計量経済学	3前		2			1	l	l	1
I	地域交流論	3後		2			ĺ			1
	都市計画	3後		2			1	l	l	1
	地方自治	3後		2			0	l	l	1
Ī	コミュニティ創造	3後		2			ľ			1
Ī	交通計画	3後		2		1	Ī			Ö
Ī	地域産業政策	3版 4前		2		l '	Ī			1
Ī	地域環境政策			2			Ī			1
	地域福祉政策	4前					1	l	l	
		4前		2			4	l	l	1
I	行政評価	4前		2			1	l	l	
I	社会起業論	4前		2			-	l	l	
I	防災計画	4前		2			1	l	l	4
I	民法	3前		2			1	l	l	1
	公法	3前		2			1	l	l	1
	商法•会社法	3後		2			1	l	l	1
	4-4-01 + 6	4前		2			<b> </b>			1
	知的財産管理	1133			i l		l			
	小計(43科目)					-	-	-		_
<u></u>	小計(43科目) 事業プランニング演習 I	3前	2			8	0	2		0
卒	小計 (43科目) 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I	3前 3後	2			8	0	2		0
業	小計(43科目) 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I	3前 3後 4前	2			8 8	0	2		0
業研	小計(43科目) 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I	3前 3後	2			8	0	2		0
業研究	小計(43科目) 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 小計(4科目)	3前 3後 4前	2			8 8	0	2		0
業研究合計	小計(43科目) 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I	3前 3後 4前	2			8 8	0	2		0

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目から16単位の履修が必要となる。 関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない

が、 他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超えるものに ついては関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

8

【平成29年度】

14	₹成29年度】										
		西	_	単位数				[員等			兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
巨刀		次	修	択	ф	授	教授	師	教	手	兼扣
	宮城大学の知の体系	1前		1)(	ш	ÍΧ	ÍΣ	Pili	叙	+	<i></i>
	大学での学び入門	1前 1前	2								3 1
	社会の中で生きる	1前	1								1
	キャリアデザイン I	1後	i								1
	スタートアップ・セミナー	1前	2								8
	アカデミック・セミナー	1後	2								8
	地域フィールドワーク	1前	2								10
	情報化社会と技術	1後	2								5
	データサイエンス入門	1前	2								5
	English Reading Skills I	1前	1								4
	English Self-Expression I	1前	1								2
	English Reading Skills II	1後	1								3
	English Self-Expression II  English for Academic Purposes I	1後	1								<b>2</b> 5
	English Self-Expression III	2前 2前									5
	English for Academic Purposes II	2後	'	1							3
	Extensive Listening	2後		li							3
	Practical English	2前		1							3
	中国語 I	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2後		1							1
	韓国語 I	1 - 2前		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語 I	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I Global Studies II	1·2前 1·2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2依		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1							1
基	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
盤	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
教育	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
科	音楽	1・2前		2							1
目	美術	1・2後		2							3
	アートサイエンス概論	1前		1							9
	総合芸術	1集中		1							8
	健康科学	1・2前		2							3
	スポーツ科学 スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1·2前 1·2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学	1・2前		2							1
	現代社会の諸相	1・2後		2			0				1
	憲法	1・2後		2							1
	社会と経済	1・2後		2			1				
	数理科学	1・2前		2							1
	生命科学	1・2前		2							1
	環境科学入門	1・2後		2							2
	地球と宇宙  数学概論	1・2後		2							1 3
	物理概論	1・2前		2							2
	化学概論	1・2前		2							1
	生物概論	1 - 2前		2							1
	基礎統計学	1後	2	l -							4
	日本語 I	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語皿	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
	小計(60科目) コミュニティ・ブランナー概論及び演習	- 2前		2							1
全	コミュニティ・プランテー似論及び演習	2削 2後		′	2						1
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前		l	2						1
共	グローバルインターンシップ	1・2休		2	_						1
通	学外研修	1・2休		2							1
科											
目											
	小計(5科目)	-		l		Ī					

【平成30年度】

<u> </u>	【放29年度】		È	単位数	数	真	[任数	員等	の配	置	兼		<sup>∡</sup> 队30年度』 │		È	单位数	友	直	[任数	員等	の配置	置	П
目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任	科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	1
分	及来行口の石が	年次	h.	+0		122	教	4-	+/_	_	兼	区分	汉末行口切石师	年次				122	教	4	+/L	-	
	宮城大学の知の体系		修	択	由	授	授	師	教	手	担		  宮城大学の知の体系		修	択	由	授	授	師	教	手	-
	大学での学び入門	1前 1前	2								3		大学での学び入門	1前 1前	2								
	社会の中で生きる	1前	1								1		社会の中で生きる	1前	1								
	キャリアデザイン I	1後	1								1		キャリアデザイン I	1後	1								ı
	スタートアップ・セミナー	1前	2								8		スタートアップ・セミナー	1前	2			1	1				ı
	アカデミック・セミナー	1後	2								8		アカデミック・セミナー	1後	2			l i	l i				ı
	地域フィールドワーク	1前	2								10		地域フィールドワーク	1前	2			١.	٠.				ı
	情報化社会と技術	1後	2								5		情報化社会と技術	1後	2								ı
	データサイエンス入門		2								5		データサイエンス入門	1前	2								ı
	English Reading Skills I	1前	1								4		English Reading Skills I	1前	1								ı
- 1	English Self-Expression I	1前	1								2		English Self-Expression I	1前	1								ı
	English Reading Skills II	1後	1								3		English Reading Skills II	1後	1								ı
	English Self-Expression II	1後	i								2		English Self-Expression II	1後	i								ı
	English for Academic Purposes I	2前	1								5		English for Academic Purposes I	2前	1								ı
	English Self-Expression III	2前	i								5		English Self-ExpressionⅢ	2前	1								ı
	English for Academic Purposes II	2後	'	1							3		English for Academic Purposes II	2後	'	1							ı
	Extensive Listening	2後		1							3		Extensive Listening	2後		1							ı
	Practical English	2前		1							3		Practical English	2前		1							ı
	中国語 I	<b>4月</b> 月 1・2前		1			l				1		中国語 I	∠ Hij 1•2前		1	l		l			l	ı
	中国語Ⅱ	1・2般		1			l						中国語Ⅱ	1・2億		1	l		l			l	١
	韓国語 I	1・2歳		1							1		韓国語Ⅰ	1・2歳		1	ĺ						ı
- 1	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1		韓国語Ⅱ	1・2後		1	ĺ						ı
	ギロ品 I ベトナム語 I	1・2依		1			l				i		ベトナム語 I	1・2体		1	l		l			l	١
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1			l				1		ベトナム語Ⅱ	1・2休		1	l		l			l	١
	Global Studies I	1・2前		2			l				i		Global Studies I	1・2前		2	l		l			l	١
	Global Studies I	1・2制		2			l				1		Global Studies I	1・2制		2	l		l			l	١
	Intercultural Communication			2			l				1		Intercultural Communication	1・2依		2	l		l			l	١
	全学自由ゼミ	1・2休		1							1		全学自由ゼミ	1・2所		1							ı
	日本の歴史と文化	1・21本		2							1	基	日本の歴史と文化	1・21木		2							ı
:	世界の歴史と文化	1・2後		2							1	盤	世界の歴史と文化	1・2後		2							ı
ζ	東北の歴史と文化	1・2後		_							1	教	東北の歴史と文化	1・2後									ı
Ī	音楽	1・2夜		2							1	育	音楽	1・2夜		2							ı
ŀ	美術	1・2街		2								科	美術			2							ı
1	アートサイエンス概論			2							3	目	アートサイエンス概論	1・2後		2							ı
		1前		1							9		総合芸術	180		1							ı
	<b>総合芸術</b> 健康科学	1集中		1							8		健康科学	1集中		1							ı
		1・2前		2							3			1・2前		2							ı
	スポーツ科学 スポーツ実技	1・2前		1							1		スポーツ科学 スポーツ実技	1・2前		1							ı
		1・2前		1							1			1・2前		1							ı
	体を動かす楽しみ 現代社会と哲学	1・2後		1							1		体を動かす楽しみ 現代社会と哲学	1·2後 1·2前		1							ı
		1・2前		2							1												ı
	人と宗教 心理学	1・2前 1・2前		2							1		人と宗教 心理学	1・2前		2							ı
	現代社会の諸相			2			_				1		現代社会の諸相	1・2前		2			_				ı
	憲法	1·2後 1·2後		2			0				1		憲法	1·2後 1·2後		2			0				ı
	<sup>悪伝</sup> 社会と経済	1・2後		2			1				1		<sup>悪広</sup> 社会と経済	1・2後		2			1				ı
	社会 C 在 府 数理科学	1・2依		2			'				1		数理科学	1・2彼		2	l		'			l	1
	数理科子 生命科学	1・2削 1・2前		2			l				1		生命科学	1・2前		2	l		l			l	1
	環境科学入門	1・2制		2							2		環境科学入門	1・2制		2	ĺ						I
	地球と宇宙	1・2後		2							1		地球と宇宙	1・2後		2	ĺ						I
	数学概論	1・2版		2			l				3		数学概論	1・2版		2	l		l			l	١
	物理概論	1・2前		2			l				2		物理概論	1・2前		2	l		l			l	١
	化学概論	1・2前		2			l				1		化学概論	1 - 2前		2	l		l			l	١
	生物概論	1・2前		2			l				1		生物概論	1 • 2m		2	l		l			l	١
Į	基礎統計学	1後	2				l				4		基礎統計学	1後	2	2	l		l			l	1
	基礎机計子 日本語 I	1仮 1前		1			l				1		基礎就計子 日本語 I	1飯		1	l		l			l	١
	日本語Ⅱ	1後		1			l						日本語Ⅱ	1後		1	l		l			l	١
	日本語Ⅲ	1伎 2前		1			l				1		日本語皿				l		l			l	١
J	日本語Ⅳ	2削 2後					l						日本語以	2前 2後		1	l		l			l	ı
	日本語IV 日本事情 I			1			l				1		日本語IV 日本事情 I	2後			l		l			l	١
	日本事情Ⅱ	1前		2			l				1		日本事情Ⅱ 日本事情Ⅱ	1前		2	l		l			l	١
ļ		1後		2			l				1			1後		2	<del>                                     </del>						+
4	小計(60科目)		-	^							4	-	小計(60科目)	024		•	<b> </b>						+
	コミュニティ・ブランナー概論及び演習	2前		2	_		l				1	_	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2	<u> </u>		l			l	١
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						1	全	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						ı
:	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前			2		l				1	学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前			2		l			l	1
	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1	共	グローバルインターンシップ	1・2休		2	ĺ						ı
į	学外研修	1・2休		2			l				1	通	学外研修	1・2休		2	l .		l			l	1
1							l					科	産学連携講座 I	1・2通			1		l			l	l
				1	1						1 1	目	産学連携講座 Ⅱ	1・2通			- 1		1				
ļ	小計(5科目)	-									-		小計(7科目)										-

	(136科目)	$\vdash$	<b>—</b>	<del>                                     </del>			<del>                                     </del>	<b> </b>	
究	卒業研究Ⅱ 小計(4科目)	4後 -	4		5	2			0
業研	卒業研究 I	4前	2		5	2			0
卒	事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 II	3前 3後	2		5 5	2			0
<u> </u>	小計(43科目)	-							
	商法·会社法 知的財産管理	3後 4前		2					1
	公法 商法·会社法	3前		2					1
	民法	3前		2		ļ '			1
	社会起業論 防災計画	4前 4前		2		1			
	行政評価	4前		2		1			
	地域環境政策 地域福祉政策	4前 4前		2					1
	地域産業政策	4前		2					1
	コミュニティ創造 交通計画	3後 3後		2					1
	地方自治	3後		2		1			
	地域交流論 都市計画	3後 3後		2					1
	計量経済学	3前		2					1
	行政学 社会的共通資本	3前 3前		2					1
	都市と文化	3前		2					1
科目	国土·地域計画 地域分析学	2後 2後		2					1
門	地域社会学	2後		2	1				
専	CSR·経営倫理 地域資源論	4前 2後		2		1			
	税務会計	4前		2		1			
	経営情報管理 企業会計	3前 3後		2					1
	人的資源管理論	3前		2	1				
	経営財務	3前		2					1
	経営組織論 会計学	2後 3前		2	1				1
	金融論	2後		2					1
	リスクマネジメント 会計学概論	4前 2後		2		1			1
	ブランディング	4前		2					1
	現代企業論	3後 4前		2	1				1
	マーケティングリサーチ eビジネス	3後		2					1
	ロジスティクス	3後		2					1
	ビジネスプロセスマネジメント 販売促進	3前 3前		2	1				1
	マーケティング	2後		2	1				
<u> </u>	小計(24科目) 経営戦略論	- 2後		2	1				_
	キャリア開発Ⅲ	3後	1	Ĺ	1				
	キャリア開発 II インターンシップ II	3前 3前	1	2	1				
	多変量解析	3前		2					2
	ゲーム理論 地理情報分析	3前 3前		2		1			1
	消費者心理学	3前		2					1
	数埋計画 キャリア開発 Ⅰ	2後 2後	1	2	1				1
目	社会調査法 数理計画	2後		2					1
礎科	マクロ経済学	2後	2						1
基	法学概論 経営学概論	2後 2後	2		1	1			
専門	インターンシップ I	2前	2		1				
声	た中代計処理キャリアデザインⅡ	2削 2前	1		1				l '
Ī	データサイエンス 応用統計処理	2前 2前	2						1
	地域調査法	2前	_	2	1	'			
	ビジネスモデル論 ミクロ経済学	2前 2前	2			1			1
	地域政策概論	2前	2						2
	地域活性化とビジネス 地域社会・産業とデザイン	1後 1後	1						1
	事業構想学概論	1後	2		1				0

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目から16単位の履修が必要となる。 関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない。

か、 他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超えるものに ついては関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

	事業構想学概論	1後	2			1		 		0
	地域活性化とビジネス	1後	1	l						2
	地域社会・産業とデザイン	1後	1							1
I	地域政策概論	2前	2			١.				1
	ビジネスモデル論	2前	2	l		1	١.			0
	ミクロ経済学	2前	2	_		_	1			
	地域調査法	2前	_	2		0				1
	データサイエンス	2前	2							1
	応用統計処理  キャリアデザインⅡ	2前	2			_				1
専	インターンシップ I	2前	1			0	4			2
門	法学概論	2前 2後	2			U	1			4
基	経営学概論	2版 2後	2			1	'			
礎	マクロ経済学	2後	2			i				1
科	社会調査法	2後	_	2		l i				Ó
目	数理計画	2後		2		l i				ő
	キャリア開発 I	2後	1	_		ò				2
	消費者心理学	3前		2		_				1
	ゲーム理論	3前		2			1			
	地理情報分析	3前		2						1
	多変量解析	3前		2						2
	キャリア開発Ⅱ	3前	1	l		0				2
	インターンシップ Ⅱ	3前	l	2		0	1			4
I	キャリア開発Ⅲ	3後	1			0				2
<u> </u>	小計(24科目)			<u> </u>		<u> </u>		 		
I	経営戦略論	2後		2		1				
	マーケティング	2後		2		0				2
	ビジネスプロセスマネジメント 販売促進	3前	l	2						1
	販売促進  ロジスティクス	3前	l	2		0				4
	ロンヘティングリサーチ	3後 3後		2						1
	eビジネス	3後		2						1
	現代企業論	3版 4前		2		1				'
	ブランディング	4前		2		'				1
	リスクマネジメント	4前		2						1
	会計学概論	2後		2			1			
	金融論	2後		2		1				0
	経営組織論	2後		2		1				Ĭ
	会計学	3前		2						1
	経営財務	3前		2						1
	人的資源管理論	3前		2		1				
	経営情報管理	3前		2						1
	企業会計	3後		2						1
	税務会計	4前		2			1			
۱	CSR·経営倫理	4前		2			1			
専	地域資源論	2後		2			0			2
門	地域社会学	2後		2		0				1
科	国土・地域計画	2後		2						1
目	地域分析学 都市と文化	2後		2						2
	郁巾と文化   行政学	3前	l	2						1
	社会的共通資本	3前 3前	l	2						1
I	計量経済学	3前		2						1
	地域交流論	3後	l	2						1
I	都市計画	3後		2	İ					1
I								1	1	
	地方自治						1			
	地方自治 コミュニティ創造	3後 3後		2			1			1
		3後		2			1			1
	コミュニティ創造	3後 3後		2			1			
	コミュニティ創造 交通計画 地域産業政策 地域環境政策	3後 3後 3後		2 2 2			1			1
	コミュニティ創造 交通計画 地域産業政策	3後 3後 3前		2 2 2 2			1			1
	コミュニティ創造 交通計画 地域産業政策 地域環境政策 地域福祉政策 行政評価	3後後後前前前 4前 4前		2 2 2 2 2 2 2 2			1			1 1 1
	コミュニティ創造 交通計画 地域産業政策 地域環境政策 サウ政評価 社会起業論	3後後後前前前前前4前		2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1			1 1 1
	コミュニティ創造 交通計画 地域産業政策 地域環境政策 地域福評報価 社会起業論 防災計画	3後後後前前前前前 4前前前前 4前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1			1 1 1 1
	コミュニー・イ創造 交通域産業政策 地域環環・経験である。 地域環境を関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	3後後後前前前前前前前 4前前前前前前前前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1			1 1 1 1
	コミュニーイ創造ニー・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	3後後後前前前前前前前 3 3 3 3 3 3 3 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1			1 1 1 1
	コミュニーティ創造 一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・	3後後後前前前前前前前 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1			1 1 1 1 1 1
	コミュニュースで、大学・アラックでは、大学・アラックを表している。	3後後後前前前前前前前 3 3 3 3 3 3 3 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1			1 1 1 1
	コミュニー イ創造 交通対策 地域域環 で表現 である では、 である では、 である でる である である。 である である である である。 である。 である である である。 でる。 でるる でるる でるる でるる でるる でるる でるる でるる でるる でる で	3後後後前前前前前 4前前前前前後前 4前前前前後前	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1			1 1 1 1 1 1 1
卒	コミュニティ 交通計画 地域球標準 地域球標評 推動 地域球標評 一社 が に は が に は が に は は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に に は に に に に に は に に に に に に に に に に に に に	3後後前前前前前前 4前前前前前前後前 3前	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		5 5	1 1 1			1 1 1 1 1 1 0
業	コミュニー イ創造 交通 本	3後後後前前前前前前後前 33後前 33後前 33後前 33後前	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		5	1 1 1 2 2 2			1 1 1 1 1 1 1 0
業研	コミュニー   一京   一京   一京   一京   一京   一京   一京   一	3後後後前前前前前後前 4前前前前後前 33後前	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		5 5	1 1 1 2 2 2 2 2			1 1 1 1 1 1 0 0 0 0
業	コミュニー 一	3後後後前前前前前前後前 33後前 33後前 33後前 33後前	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		5	1 1 1 2 2 2			1 1 1 1 1 1 1 0
業研究	コミュニー   一京   一京   一京   一京   一京   一京   一京   一	3後後後前前前前前後前 4前前前前後前 33後前	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		5 5	1 1 1 2 2 2 2 2			1 1 1 1 1 1 1 0 0

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単 位(年間))

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目から16単位の履修が必要となる。 関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない

か、 他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超えるものに ついては関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を

#### 【平成29年度】

- ・カリキュラムセンター教員の異動により、「大学での学び入門」の担当者を変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」の担当者を変更
- ・「キャリアデザインI」については、専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更
- ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任8」に追加・少人数教育実施のため、「アカデミック・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任8」に追加・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任1」から「兼任10」に追加
- ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任1」から「兼任10 ・複数クラス開講のため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼任1」から「兼任5」に追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため担当者を変更、また、複数クラス開講のため、「データサイエンス入門」の担当者を「兼任1」か ら「兼任5」へ追加
- ・新規教員採用に伴う担当者変更、産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading Skills I」は「兼任5」 から「兼任4」へ減
- ・産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Self-Expression I」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- ・新規教員採用に伴う担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading Skills II」は「兼任5」から「兼任3」へ減
- ・産休による担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため,「English Self-Expression II」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- 時間割編成に伴い、「中国語 I 」は、担当者を変更
- ·「中国語Ⅱ」は、履修の順序性を考慮し、配当学期を「1·2前」から「1·2後」へ変更、また、時間割編成に伴い担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「韓国語 I」は、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- ・「全学自由ゼミ」は、事業構想学研究科 副研究科長へ担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「東北の歴史と文化」は、担当者を変更 ・新規専任教員採用に伴い、「東北の歴史と文化」は、担当者を変更

- ・時間割編成に伴い、「音楽」は、担当者を変更 ・オムニバス科目への変更に伴い、「美術」は、「兼任1」から「兼任3」へ担当者を追加 ・複数領域にまたがる芸術等講義科目「アートサイエンス概論」を追加開講(「兼任9」)
- ・ 芸術等科目の実習科目「総合芸術」を追加開講(「兼任8」) ・時間割編成に伴い、「健康科学」は、担当者を変更

- ・新規専任教員採用に伴い、「現代社会と哲学」は、担当者を変更 ・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」は、担当者を変更
- ・ 時間割編成に伴い, 「心理学」は担当者を変更
- ・「現代社会の諸相」は「専任1(准教授1)」から「兼担1」へ変更
- 新規専任教員採用に伴い、「憲法」は担当者を変更新規専任教員採用に伴い、「数理科学」は担当者を変更
- ・オムニバス科目への変更に伴い、「環境科学入門」は担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「数学概論」は、新規専任教員採用に伴い担当者を変更、また、複数クラス開講のため担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加
- ・複数クラス開講のため、「物理概論」は、担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「化学概論」は、履修の順序性を考慮し、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更、また、時間割編成に伴い、担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「生物概論」は配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- ・複数クラス開講のため、「基礎統計学」は、担当者を「兼任1」から「兼任4」へ追加
- ・留学生対象科目のため、「日本事情 I 」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- ・留学生対象科目のため、「日本事情Ⅱ」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- 「事業構想学概論」は、 「兼担1」から「専任1(教授1)」へ変更
- ・クラス数の減に伴い、「地域活性化とビジネス」は担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減
- ・クラス数の滅に伴い、「地域社会・産業とデザイン」は担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減・担当教員退職に伴い、「地理情報分析」は、担当者を変更
- ・「事業プランニング演習 I 」は、専任教員の変更に伴う担当者の変更、研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い、担当者数を「教授 4 」→「教授 5 」、「准教授 4 」→「准教授 2 」に変更、(「兼任 3 」→「兼任0」)
- ・「事業プランニング演習Ⅱ」は,専任教員の変更に伴う担当者の変更,研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い,担当者を減 (「教授4」→「教授5」, 「准教授4」→「准教授2」に変更, (「兼任3」→「兼任0」)
- ・「卒業研究I」は,専任教員の変更に伴う担当者の変更,研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い,担当者数を減(「教授4」
- →「教授5」,「准教授4」→「准教授2」に変更,(「兼任3」→「兼任0」)
- ・「卒業研究Ⅱ」は,専任教員の変更に伴う担当者の変更,研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い,担当者数を減」「教授4」
- →「教授5」, 「准教授4」→「准教授2」に変更, (「兼任3」→「兼任0」)

- 【平成30年度】 「宮城大学の知の体系」の担当者を「吉田俊子」から「原玲子」へ変更 学群長変更により. ・少人数教育実施のため、「社会の中で生きる」の担当者を「兼任1」から「兼任5」へ追加 ・全学群で共通科目として授業を実施するため,「スタートアップ・セミナー」の担当者を佐々木秀之,石内鉄平,舟引敏明,徳永幸之,山本ま ゆみ、伊藤真市、内田直仁、弓谷行宏に変更 ・全学群で共通科目として授業を実施するため,「アカデミック・セミナー」の担当者を佐々木秀之,石内鉄平,舟引敏明,徳永幸之,山本まゆ み,伊藤真市,内田直仁,弓谷行宏に変更 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任10」から「兼任12」へ追加 ・クラス数の見直しのため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼任5」から「兼任6」へ追加 クラス数の見直しのため、 「データサイエンス入門」の担当者を「兼任5」から「兼任6」へ追加 クラス数の見直しのため、 「English Reading Skills I」の担当者を「兼任4」から「兼任6」へ追加 クラス数の見直しのため、 「English Self-Expression I」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加 クラス数の見直しのため、 「English Reading Skills II」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加 クラス数の見直しのため、 「English Self-Expression II」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加「English Self-ExpressionII」の担当者を「兼任5」から「兼任4」へ減 クラス数の見直しのため、 クラス数の見直しのため、 「English for Academic Purposes II」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減 クラス数の見直しのため、 「Extensive Listening」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減 「Practical English」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減 クラス数の見直しのため、 クラス数の見直しのため、 「全学自由ゼミ」の担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加 クラス数の見直しのため、 「美術」の担当者を「兼任3」から「兼任2」へ減 ・クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加・クラス数の見直しのため、「心理学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加 ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「現代社会の諸相」の担当者を「石田祐」から「菅原謙」へ変更 「化学概論」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加 「生物概論」の担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加 ・クラス数の見直しのため, クラス数の見直しのため、 「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を「兼任1」から「兼任12」へ追加 「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を「兼任1」から「兼任12」へ追加 「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を「兼任1」から「兼任12」へ追加 ・学外での演習を伴うため、 ・学外での演習を伴うため、 「学外研修」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加 クラス数の見直しのため、 ・学生に有益な産学連携科目である、「産学連携講座 I 」を追加開講 (兼任2)・学生に有益な産学連携科目である、「産学連携講座 II 」を追加開講 (兼任3) ・少人数教育実施のため、「地域活性化とビジネス」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加 ・クラス数の見直しのため、「地域政策概論」の担当者を「兼任3」から「兼任14」へ追加 ・金子担当教員について、届出時には完成年度を想定して兼任で記載していたが、今年度については専任教員で担当することから記載を変更 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域調査法」の担当者を「専任(教授)1」から「兼任1」へ変更 キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため,「インターンシップI」の担当者を藤澤由和,石内鉄平,内田直仁,鈴木優,庄司貞雄へ変更 ・少人数指導教育実施のため、「マクロ経済学」の担当者を糟谷昌志、板明果へ変更 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「社会調査法」の担当者を糟谷昌志へ変更 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「数理計画」の担当者を徳永幸之へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発I」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更 キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を風見正三、高貝浩也へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅡ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、内田直仁、鈴木優、庄司貞雄へ変更 キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅲ」の担当者を風見正三、高貝浩也へ変更 ・高力教授の退職に伴い、「マーケティング」の担当者を都世蘭、高山純人へ変更 ・高力教授の退職に伴い、「販売促進」の担当者は後任が未定 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「金融論」の担当者を「兼任1」から「専任(教授)1」へ追加 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域資源論」の担当者を「専任(准教授)1」から「兼任2」へ追加・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域社会学」の担当者を「専任(教授)1」から「兼任1」へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域分析学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「事業プランニング演習I」の担当者を櫻木晃裕、福永晶彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子 浩一、田邉信之へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため,「事業プランニング演習Ⅱ」の担当者を櫻木晃裕,福永晶彦,徳永幸之,糟谷昌志,内田直仁,金子 浩一、田邉信之へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため,「卒業研究I」の担当者を櫻木晃裕,福永晶彦,徳永幸之,糟谷昌志,内田直仁,金子浩一,田邉信 之へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため,「卒業研究Ⅱ」の担当者を櫻木晃裕,福永晶彦,徳永幸之,糟谷昌志,内田直仁,金子浩一,田邉信 之へ変更

#### 【令和元年度】

- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインI」の担当者を田邉信之、宮崎良徳へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、 川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川 井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
- 時間割編成に伴い、 「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊 恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川島滋和、中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「データサイエンス入門」の担当者を「兼任6」から「兼任5」へ減

- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression I」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明へ変更・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「中国語 I 」、「中国語 II 」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加 ・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を田邉信之、金子浩一、郷古雅春、佐々木秀之、中田千彦、鈴木優へ変更

- ・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更 ・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を「兼任9」から「兼任7」へ減 ・クラス数の見直しのため、「総合芸術」の担当者を「兼任8」から「兼任6」へ減 ・専任教員の昇格に伴い、「社会と経済」の担当者を「専任(推教授)」」から「専任(教授)」」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「物理概論」の担当者を「兼任3」から「兼任2」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- 「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、 クラス数の見直しのため、 佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 I」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 II」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減

- ・金子孝一の退職に伴い、「ビジネスモデル論」の担当者を糟谷昌志へ変更 ・専任教員の昇格に伴い、「ミクロ経済学」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインI」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップI」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小 地沢将之へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「法学概論」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発I」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担ヨ白か美心9 るにの、「エャリノ m元」」、にコロロローに、「一・金子孝一の退職に伴い、「消費者心理学」の担当者を勅使河原晃司へ変更・専任教員の昇格に伴い、「ゲーム理論」の担当者を「専任 (准教授) 1」から「専任 (教授) 1」へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更、クラス数の見直しのため、「多変量解析」の担当者を「兼任」」から「専任1」へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発II」の担当者を田邉信之、高貝浩也、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップI」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小 地沢将之へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅲ」の担当者を田邉信之、高貝浩也、庄司貞雄へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、「マーケティング」の担当者を大嶋淳俊、高山純人へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、「ビジネスプロセスマネジメント」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、後任未定となっていた「販売促進」は高山純人が担当
- ・金子孝一の退職に伴い、「マーケティングリサーチ」の担当者を勅使河原晃司へ変更 ・専任教員の採用に伴い、「eビジネス」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「会計学概論」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更 専任教員の採用に伴い、 「会計学」の担当者を坂本眞一郎から絹村信俊へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、経営財務の担当者を「兼任1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、「経営情報管理」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、「企業会計」の担当者を坂本眞一郎から絹村信俊へ変更 ・専任教員の昇格に伴い、「税務会計」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「CSR・経営管理」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更・新規教員の採用に伴い、「都市と文化」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地方自治」の担当者を「専任(推教授) 1」から「兼任1」へ変更 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「交通計画」の担当者を「兼任1から「専任(教授) 1」へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「民法」の担当者を篠塚功照から仲宗根卓へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「公法」の担当者を稲村健太郎から仲宗根卓へ変更 ・新規教員の採用に伴い、「商法・会社法」の担当者を坂本眞一郎から仲宗根卓へ変更
- ・専任教員の採用、昇格に伴い、「事業プランニング演習Ⅰ」の担当者を櫻木晃裕、福永晶彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子浩一、田邉 信之、高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊へ変更
- 専任教員の採用、昇格に伴い、 「事業プランニング演習Ⅱ」の担当者を櫻木晃裕、福永晶彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子浩一、田邉 信之、高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊へ変更
- ・専任教員の採用、昇格に伴い、「卒業研究I」の担当者を櫻木晃裕、福永晶彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子浩一、田邉信之、高山純 人、大嶋淳俊、絹村信俊へ変更
- ・専任教員の採用、昇格に伴い、「卒業研究Ⅱ」の担当者を櫻木晃裕、福永晶彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子浩一、田邉信之、高山純 人、大嶋淳俊、絹村信俊へ変更
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 授業科目数

	設置時の計画						変更	状況				<b>洪</b> 李
必修	選択自	由計	(A)	必修	<u> </u>	選択	5	自由		計		備考
36 科目 9	96 科目 2	科目 13	4 科目	36 [	科目	98 [	科目 2]	<b>4</b>	科目 2]	138 [	科目 <b>4</b> ]	

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

#### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

#### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

#### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内			蓉	<b>3</b>					備考		
(1)	D	区 分	,	専	用	共	用		共用する位学校等の				計		備考		
	校	舎敷;	也		66, 769 m²		-				-			66, 769 m²			
校	運	動場用地	<u>h</u>		26, 661 m²		-				-			26, 661 m²			
地	小	ā	+		93, 430 m²		-				-			93, 430 m <sup>2</sup>			
等	7	<b>の ft</b>	<u>t</u>		598, 964 m²		-				-		5	98, 964 m²			
	合	ā	t		692, 394 m²		-				-		6	92, 394 m²			
				専	用	共	用		共用する(学校等の)	也の 専用			計				
(2) 校		舎			60, 137 m²		-				-			60, 137 m²			
				(60,	137m²)	(	- )	(	-	)		(6	0, 137m²)	)			
				講義室	演	図 室	実験実習	室	情報	処理学習加	<b></b> 色設	ä	<b>哲学学習</b>	施設	施設改修のため(29)(30) ラーニング・コモンズ新設に伴		
(3) 教	室	等		28 <del>25</del> <del>28</del> <del>27</del>	室	35 <del>36</del> 室	37 <del>31</del>	<del>33 32</del> 室	(補助	力職員	4 6 室 人)	(補	助職員		う施設利用見直しのため(30) 施設利用の実態に合わせた見直 しのため(元)		
					新設学部	等の名称			•	室		数					
/ <b>/</b> \ = "	r±11 0 111			:	事業構想学群 事	業プランニング	学類			14 4	6			室	施設利用方法の見直しのため (29)		
(4) 専任	E教員研究	至			事業構想学群	地域創生学類				14 4	6			室	施設利用方法の見直しのため (元)		
					事業構想学群 価値	直創造デザイン	学類			15 14	15			室			
				図書	学術	雑誌			視聴質	计咨询	機械	哭目	標	本			
(5)	新設学 の名		(	うち外国書〕	〔うち	<b>小国書</b> 〕	電子ジャーフ	ナル	176.46.5	2.具件	192 174	仙六	标	4			
					<del>m</del>	種	〔うち外国	書〕		点		点		点			
				128, 080 [17, 24 131, 373 [16, 93	2, 398 2, 410 3, 268 6, 031	[460] [630]	6, 538 16, 172	(5, 527) (5, 087) (13, 595) (15, 700)	5, 2 5, 1 5, (	30					蔵書見直しのため(29)(30)(元)		
図書•	事業構?	思学群		(127, 265 (17, 076 (126, 018 (16, 894 -(123, 805 (16, 536 -(101, 654 (15, 916	(2, 390 L45)	(453) ) 3) ) (3, 250 5) ) (756) )	-(6	858 (5, 527) ) 538 (5, 087) ) 72 (13, 595) ) 100 (15, 700) )	(5, 1 -(5, ( -(4, 5) -(4, 5)	)99) )05)	(	)	(	)	電子ジャーナルについては、タ		
設 備				128, 080 [17, 24 131, 373 [16, 93	2, 398 2, 410	(453) (460) (630)	<del>6, 538</del> <del>16, 172</del>	(5, 527) (5, 087) (13, 595) (15, 700)	5, 2 5, 1 5, (	260 130					イトル教の数え方について再検 討したため。(H29学術基盤実態 調査より)		
	āt			(127, 265 (17, 076 (126, 018 (16, 894 (123, 905 (16, 534 (101, 654 (15, 916	(2, 390 [45]	3) (3, 250 5) )	-(6. -(16.1	858 (5, 527) ) 538 (5, 087) ) 72 (13, 595) ) 00 (15, 700) )	<del>- (5, (</del> <del>(4, (</del>	(5, 180) (5, 099) (4, 905) (4, 722)		)	(	)			
				面	積		閲覧座席	数		収	納	可 能	<b>#</b>	数			
(6) 図	韷	館			3, 1	36㎡			318 304 300					274, 889	大学全体 レイアウト見直しのため (29) (元)		
				面	積			体育館以	外のスポ-	-ツ施設の	概要						
(7) 体	育	館			<u> </u>	97m²	テニスコー	٠,			メモ	リアルホ	ール				
					٦, ٥		トレーニング	グ室							大学全体		
			区	分	開設年度	完成年度	区	分	開設前	前年度	開設	年度	完	成年度			
(8)	積り					247	7千円 図書購	書購入費 66,728:		5, 728千円	<del>66</del> ,	64, 426 <del>728</del> 千円	6	6, 728千円	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29)		
経費の 積り及	び	共同	研研	究 費 等	51,000千円	51, 000	)千円 設備購力	入費	51	,776千円	51,	41,639 <del>776千</del> 円	5	1,776千円	設備購入費は平成29年度予算編 成に伴うもの(29)		
維持方 の 概	亜	人当り	ij	第1年次	第2年次	Ħ	3年次	第4年	次	第	5年次		第6	年次			
	納付金 県内 818千円 535千1 県外 1,100千円						535千円		535千円			-		-			
		学生納	付金以外	の維持方法の概要	大学の維		て、学生納付金で不	足する経	費について	は、宮城県	県の運営	校付金	等を充当	する。			

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の
  - 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	宮城	大学								備考
ハナツロが	L -7%						定員変更			<u>ин **7</u>
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 (AC期間 の学科の み)	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
事業構想学部			, ,		<b>#</b> 4			平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 学生募集停止
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業 計画 学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザ イン 情報 学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
食産業学部								平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	平成29年度より 学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
看護学群					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護 学)	1. 04	-	平成9年度	—	平成29年度より 看護学科から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
<u>事業構想学群</u>					学士			平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
事業プランニング学類	4	60	-	240	字 <sub>工</sub> (事業 プラン ニング 学)	1. 05	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除
<u>地域創生学類</u>	4	60	-	240	学士 (地域 創生 学)	1. 05	-	平成29年度	同上	き、事業構想学群としての学群一 括入試のため、学群全体を各学類 で按分して記載しており、2年次 進級時に学類を決定して収容す
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値 創造 デザイ ン学)	1. 06	-	平成29年度	同上	3.
<u>食産業学群</u>								平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産 業学)	1. 04	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除 き、食産業学群としての学群一括 入試のため、学群全体を各学類で
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産 業学)	1. 04	-	平成29年度	同上	大試のにめ、学科室体を各字類で 按分して記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容する。

大学の名称	宮城	大学大学	院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入 学定 員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所 在 地	
看護学研究科 看護学専攻	年	,	年次	,	<i>t</i> - 1	倍			宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士 (看護 学)	0. 83	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護 学)	0. 75	-	平成22年度	同上	
事業構想学研究科 事業構想学専攻					<i>W</i> <del>-</del> -L				宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業 構想 学)	0. 53	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業 構想 学)	0. 67	-	平成20年度	同上	
食産業学研究科 食産業学専攻									宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産 業学)	0. 60	-	平成21年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産 業学)	0. 42	-	平成25年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)( $\underline{AC対象学部等含む}$ )について,それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - 場合を含めより。履修工の区方としてコース・等数を設けている場合は含めません。 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上 の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 5 教員組織の状況

#### <事業構想学群 事業プランニング学類>

#### (1)一① 担当教員表

		担当教員表は届出時】	【平瓦	t 29:	年度】	【平月	<b>ኒ</b> 3 0 :	年度】	【令和	1元年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 〈就任(予定)年月〉	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
専	教授	担当授業科目名 金子 孝一 (63) <平成29年4月>	専	教授	担当授業科目名 金子 孝一 (63) <平成29年4月>	専	教授	担当授業科目名 金子 孝一 (64) 〈平成29年4月〉			担当授業科目名
兼任	講師	地域活性化とビジネス ビジネスモデル論 金子 孝一 (65) <平成31年4月>	兼任	講師	地域活性化とビジネス ビジネスモデル論 金子 孝一 (65) (97031年4月>	兼任	講師	ビジネスモデル論 金子 孝一 (65) 〈平成31年4月〉			→専 精谷昌志に記載
		本式の144万/フ 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 中域活性化とビジネス			享集プランニング演習Ⅰ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地場活性化とビジネス						
		消費者心理学 マーケティングリサーチ ビジネスモデル論 櫻木 晃裕			消費者心理学 マーケティングリサーチ ビジネスモデル論 櫻木 晃裕			消費者心理学 マーケティングリサーチ ビジネスモデル論 櫻木 晃裕			→兼任 勅使河原晃司に記載 →兼任 勅使河原晃司に記載 →専 糟谷昌志に記載  櫻木 晃裕
専	教授	(55)  < 平成29年4月 > 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 経営組織論 人的資源管理論	専	教授	(55) < 平成29年4月 > 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 経営組織論	専	教授	(56)  < 平成29年4月 > 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 経営組織論	専		(57) 〈平成29年4月〉 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 経営組織論
専	教授	福永 晶彦 (51) <平成29年4月> 事業プランニング演習 I	専	教授	人的資源管理論 福永 晶彦 (51) <平成29年4月> 事業プランニング演習Ⅰ	専	教授	人的資源管理論 福永 晶彦 (52) <平成29年4月> 事業プランニング演習 I	専	教授	人的資源管理論 福永 晶彦 (53) 〈平成29年4月〉 事業プランニング演習 I
		事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 経営学概論 経営代職論 経営代業譲			事業 ブランニング演習 Ⅱ 卒業研究 Ⅱ 卒業研究 Ⅲ 経営学概論 経営戦略論 経現代産業論			事業 ブランニング演習 II 卒卒業研究 I 卒学業研究 I 経営戦略論 経現代産業論			事業プランニング演習Ⅱ 卒卒業研究Ⅱ 経営学概論 経営戦略論 現代企業論
専	教授	高力 美由紀	専	教授	<ul><li>気化工業施品</li><li>(55)</li><li>(下成29年4月 &gt; 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I T </li></ul>			→専 田邊信之に記載 →専 田邊信之に記載			36 (VIII A 200
		卒業研究 I キャリアデザイン II インターンシップ I キャリア開発 I キャリア開発 I インターンシップ I インターンシップ II インターン・プロ			卒業研究 I 卒業研究 I キャリアデザイン I インターアリップ I キャリアーンシップ I キャリアーンシップ I キャリアーンシップ I インターンシップ I キ販売促進			→専 田邊信之に記載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			→専 高山純人に記載
		マーケティング 藤沢 由和			マーケティング	兼担	准教授	都 世前 (60) <平成30年4月> マーケティング			→専 大嶋淳俊に記載
専	教授	(48) <平成29年4月>	兼担	教授				→兼担 藤澤由和に記載 →学群共通科目による担当変更			
		地域調査法 地域社会学		教授	アカデミック・セミナー 地域調査法 地域社会学 報谷 昌志 (49)		教授	→学群共通科目による担当変更 →兼担 藤澤由和に記載 →兼担 藤澤由和に記載 <b>権谷 昌志</b> (50)		教授	
		事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 年業研究 I 卒業研究 I			〈平成29年4月〉 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 本業研究 I			《平成29年4月》 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I マクロ経済学 地域福祉政策 社会調査法 多変量解析			(平成29年4月) 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I マクロ経済学 地域福祉政策 社会調査法 多変差解析 ビジネスモデル論
専	准教授	佐々木 秀之 (41) <平成29年4月>	*	教授	徳永 幸之 (57) 〈平成29年4月〉	*		<平成29年4月> スタートアップ・セミナー	*	教授	<ul><li>億永 幸之 (59)</li><li>(下成29年4月&gt;</li><li>→学群共通科目による担当変更</li></ul>
		事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I			事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I			アカデミック・セミナー 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業保徳学報論 数理計画 多変量解析 交適計画			ー学群共通科目による担当変更 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 本業研究 I 事業構想学報論 数理計画 多変量解析 交通計画
		地域資源論 社会起業論	兼担	准教授	佐々木 秀之 (41) 〈平成29年4月> 地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー 水地貴瀬 地地貴瀬 社会起業論			<ul> <li>一兼担 佐々木秀之に記載</li> <li>一兼担 佐々木秀之に記載</li> <li>一業担 佐々木秀之に記載</li> <li>一業担 佐々木秀之に記載</li> <li>一兼担 佐々木秀之に記載</li> </ul>			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	職名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
兼担	教授	担当授業科目名 田邉 信之 (60) <平成29年4月>	兼担	教授	担当授業科目名       田邊 信之       (60)       <平成29年4月 >	*	教授	担当授業科目名 田邊 信之 (61) <平成29年4月>	*	教授	担当授業科目名  田建 信之 (62) <平成29年4月>
		金融論経営財務			金融論経営財務			事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 全般協論 経営財務			事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 会議時 全業研究 I 会議財務 全学自由ゼイン I キャリアデザイン I キャリア開発 I キャリア開発 I キャリア開発 I
専	准教授	石田 祐 (37) <平成29年4月>	兼担	准教授	石田 祐 (37) <平成29年4月>						
		事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 現代社会の諸相			事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 現代社会の簡相			→兼担 内田直仁に記載 →兼担 内田直仁に記載 →兼担 内田直仁に記載 →兼担 内田直仁に記載 →業担 内田直仁に記載 一学群共通科目による担当変更 →兼担 菅原謙に記載			
		地方自治 行政評価 防災計画			地方自治行政評価 防災計画			<ul><li>→兼担 石田祐に記載</li><li>→兼担 石田祐に記載</li><li>→兼担 石田祐に記載</li></ul>			
専	准教授	内田 直仁 (46) <平成29年4月>	専	准教授	内田 直仁 (46) <平成29年4月>	専	准教授	内田 直仁 (47) <平成29年4月>	専	教授	内田 直仁 (48) <平成29年4月>
		事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 事業が究 I 卒業研究 I CSR・経営倫理 法学概論 競技学際論 税務会計 金子 浩一			事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I CS保・経営倫理 会計学概論 総会計学概論 を子 浩一			スタートップ・セミナー アカデミック・ップI マンターンシップI マンターンシッグ演習 I 事業プランニング演習 I 平業研究 I CSR・経営倫理 法学概論 協会 技術を計 金子・浩一			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 ・専 大嶋淳俊に記載 ・専 ブランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I C S R ・経営倫理 会は学概論 投務会計
専	准教授		専	准教授	(4.4)	· 專	准教授		専	教授	金子 浩一 (46) (平成29年4月> 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 在発酵の第 I 社会と経済 ケーム理論
									*	教授	全学自由ゼミ 大橋 淳俊 (51) <平成31年4月> マーケティング 経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント ロビジネス ブロセスマネジメント ロビジネス マンシップ派 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I
									*	講師	朝村 信俊 (38) 信俊 (39) 学 全津会計 インターンシップ I インターンシップ 連習 I 事業プランニング演習 I 事業が第 I 卒業研究 I
									*	講師	学展が気温 高山 株人 (37) スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー マーケティング 販売促進 事業プランニング演習 I 事業プランニング演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I
兼担	教授	吉田 俊子 (53) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系	兼担	教授	吉田 俊子 (53) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系	兼担	教授	原	兼担	教授	原 第子 (63) 〈平成30年4月〉 宮城大学の知の体系

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
5333		担当授業科目名	5331		担当授業科目名	37,11		担当授業科目名	57,11		担当授業科目名
兼担	教授	風見 正三 (57)	兼担	教授	風見 正三 (57)	兼担	教授	風見 正三 (58)	兼担	教授	風見 正三
NK 1E	4X1X	<平成29年4月>	- XK1E	<b>5人1人</b>	<平成29年4月>	NK 1E	4X1X	<平成29年4月>	JK1E	4012	<平成29年4月>
		宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク			宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク			宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク			宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク
		コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習
		コミュニティ・プランナー実践論コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー			<del>コミュニティ・プランナー実践論</del> <del>コミュニティ・プランナーフィ</del> ー
		ルドワーク演習 地域活性化とビジネス			ルドワーク演習 地域活性化とビジネス			ルドワーク演習 地域活性化とビジネス			ル <del>ドワーク演習</del> 地域活性化とビジネス
		地域政策概論 社会的共通資本			地域政策概論 社会的共通資本			→兼担 舟引敏明に記載 社会的共通資本			社会的共通資本
		コミュニティ創造 地域環境政策			コミュニティ創造 地域環境政策			コミュニティ創造 地域環境政策			コミュニティ創造 地域環境政策
								キャリアデザインⅡ キャリア開発 I			→専 田邉信之に記載 →専 田邉信之に記載
		西川 正純			西川 正純			キャリア開発Ⅱ <u>キャリア開発Ⅲ</u> 西川 正純			→専 田邉信之に記載 →専 田邉信之に記載
兼担	教授	(57)	兼担	教授	(57)	兼担	教授	(58)	兼担	教授	
		<平成29年4月> 宮城大学の知の体系			<平成29年4月> 宮城大学の知の体系			<平成29年4月> 宮城大学の知の体系			<平成29年4月> 宮城大学の知の体系
兼担	ML 170	木村 和彦 (55)	***	44.100	蒔苗 耕司						EL-MAZE J WAZER PERSON
末担	教授	<平成29年4月>	兼担	教授	(52) <平成29年4月>						
		大学での学び入門			大学での学び入門			→兼担 蒔苗耕司に記載 →兼担 蒔苗耕司に記載			
			兼担	教授	藤澤 由和 (48) <平成29年4月>						
		スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更			
		全学自由ゼミ 徳永 幸之						→兼担 藤澤由和に記載			
兼担	教授	(57)	兼担	教授	藤澤 由和 (48) <平成29年4月>						
		<平成29年4月> 社会の中で生きる			社会の中で生きる			→兼担 藤澤由和に記載			
			*	教授	億永 幸之 (57)						
		事業構想学概論 地域社会・産業とデザイン			<平成29年4月> 事業構想学振論 地域社会・産業とデザイン			→再掲			
		地域政策概論 数理計画			地域政策振論 数理計画			→再掲 →再掲			
		多変量解析 国土・地域計画			多变量解析 国土 - 地域計画			→再掲 →再掲			
****	44. 175	交通計画 川村 保			交通計画 宮崎 良徳			→再掲 <b>宮崎 良徳</b>			宮崎 良徳
兼担	教授	(59) <平成29年4月> キャリアデザイン I	兼任	講師	(49) <平成29年4月> キャリアデザイン I	兼任	講師	(50) <平成29年4月> キャリアデザイン I	兼任	講師	(51) <平成29年4月> キャリアデザイン I
		TT 07 7 9 1 2 1			440770421			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅡ キャリア開発 I			キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅡ キャリア開発 I
兼担	教授	茅原 拓朗 (48)	兼担	教授	茅原 拓朗 (48)	兼担	教授	茅原 拓朗 (49)	兼担	教授	茅原 拓朗
N/1E	4212	<平成29年4月>	*1E	<b>投政</b>	<平成29年4月>	WIE.	4X1X	<平成29年4月>	W.1E	4010	<平成29年4月>
		情報化社会と技術	****	****	情報化社会と技術 三浦 幸平	****		情報化社会と技術 三浦 幸平	****	40.00.00	情報化社会と技術 三浦 幸平
		データサイエンス入門	兼担	准教授	(38) <平成29年4月> データサイエンス入門	兼担	准教授	(40) <平成29年4月> データサイエンス入門	兼担	准教授	(キロ) <平成29年4月> データサイエンス入門
		)			7-794-2000			数理科学 数学振論			教理科学 数学概論
								基礎統計学			基礎統計学 スタートアップ・セミナー
		MATTHEW WILSON			川井 一枝			川井 一枝			アカデミック・セミナー 川井 一枝
兼担	教授	(44) <平成29年4月>	兼担	准教授	(58) <平成29年4月>	兼担	准教授	(59) <平成29年4月>	兼担	准教授	(60) <平成29年4月>
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー
		English Reading Skills I English Reading Skills II			English Reading Skills I English Reading Skills II			English Reading Skills I English Reading Skills II			English Reading Skills I English Reading Skills II
			**	教授	MATTHEW WILSON (44)						
			兼担	秋坛	<平成29年4月>						
		English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I
						兼担	教授	MATTHEW WILSON (45) <平成29年4月>	兼担	教授	MATTHEW WILSON (46) <平成29年4月>
					English Self-Expression I English Self-Expression II			English Self-Expression I English Self-Expression I			English Self-Expression I English Self-Expression I
1		English Self-Expression I English Self-Expression II				ı		English Self-Expression II		I	
		English Self-ExpressionⅡ English Self-ExpressionⅢ			English Self-ExpressionⅢ						English Self-Expression Ⅲ
		English Self-Expression II English Self-Expression II English for Academic Purposes II Extensive Listening			English Self-ExpressionIII English for Academic Purposes II Extensive Listening			→クラス数見直し →クラス数見直し			English Self-Expression III
****	Jan 1	English Self-Expression II English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAM		m	English Self-ExpressionIII English for Academic PurposesII Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN		an	→クラス数見直し →クラス数見直し →クラス数見直し TIMOTHY PHELAN	<u></u>		TIMOTHY PHELAN
兼担	教授	English Self-Expression II English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼担	教授	English Self-ExpressionIII English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼担	教授	→クラス数見直し →クラス数見直し →クラス数見直し TIMOTHY PHELAN	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (61) 〈平成29年4月>
兼担	教授	English Self-Expression II English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN (59)	兼担	教授	English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN (59) <平成29年4月> 日本事情Ⅰ	兼担	教授	→クラス数見直し     →クラス数見直し     →クラス数見直し     TIMOTHY PRELAN     (60)     <平成29年4月>     日本事情 I	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (61) 〈平成29年4月> English Self-Expression I 日本事情
兼担	教授	English Self-Expression II English Self-Expression II English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN (59) <平成29年4月>	兼担	教授	English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN (59) <平成29年4月>  日本事情Ⅰ Global Studies I	兼担	教授	→クラス数見直し →クラス数見直し   →クラス数見直し   IMOTHY PHELAN (60)  <平成29年4月>   日本事情 I   Global Studies I   Global Studies I	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (61) 《平成29年4月> English Self-Expression I 日本事情 I Global Studies I
兼担	教授	English Self-Expression II English Self-ExpressionII English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN (59) 《平成29年4月》	兼担	教授	English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ Extensive Listening Practical English TIMOTHY PHELAN (59) <平成29年4月> 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅰ	兼担	教授	→クラス数見直し →クラス数見直し TIMOTHY PHELAN (60) <平成29年4月> 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (61) 《平成29年4月》 English Self-Expression I 日本事情 I

専任・			専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	長澤 治夫 (64) <平成29年4月> 健康科学	兼担	教授	長澤 治夫 (64) <平成29年4月> 健康科学	兼担	教授	武田 和久 (59) <平成30年4月> 健康科学	兼担	教授	武田 和久 (60) <平成30年4月> 健康科学
兼任	講師	長澤 治夫 (65) <平成30年4月> 健康科学	兼任	講師	長澤 治夫 (65) <平成30年4月> 健康科学	兼担	教授	■間 逸郎 (44) 〈平成30年4月〉 健康科学	兼担	教授	風間 逸郎 (45) 〈平成30年4月〉 健康科学
兼担	教授	真覚 健 (58) < 平成29年4月> 健康科学	兼担	教授	真覚 健 (58) 〈平成29年4月〉 心理学 健康科学	兼担	教授	<u>地域フィールドワーク</u> 真覚 健 (59) <平成29年4月> <b>心理学</b> 健康科学	兼担	教授	→ 兼担 齊藤奈緒に記載 真覚 健 (60) <平成29年4月> ○理学 健康科学
兼担	教授	世間 嘉明 (61) (年) (61) (平成29年4月 > 心理学	兼担	教授	度数 他 (58) 〈平成29年4月〉	兼担	教授	出版 事明 (62) <平成29年4月> 心理学	兼担	教授	山田 嘉明
兼担	教授	10 生子	兼担	教授	原田 茂樹 (54) <平成29年4月> 環境科学入門	兼担	教授	原田 茂樹 (55) <平成29年4月> 環境科学入門	兼担	教授	原田 茂樹 (56) 〈平成29年4月〉 環境科学入門
兼担	教授	<del>原境行子入口</del> <b>月谷 行宏</b> (61) <平成29年4月>	兼担	教授	<del>原境行子入口</del> <b>7名 行宏</b> (61) <平成29年4月>	兼担	教授	<b>弓谷 行宏</b> (62) <平成29年4月>	兼担	教授	弓谷 行宏 (63) <平成29年4月>
		日本語 I 日本語 I 日本語 II 日本語 II			日本語 I 日本語 I 日本語 II 日本語 II 日本語 IV			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー English Reading Skills I 日本語 I 日本語 I 日本語 I 日本語 I 日本語 I			→学群共通科目による担当変更 一学群共通科目による担当変更 English Reading Skills I 日本語 I 日本語 I 日本語 I 日本語 I 日本語 I
		日本事情 I 日本事情 I	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (59) 〈平成29年4月〉 日本事情 I 日本事情 I			→再掲 →再掲			
兼担	教授	蒔苗 耕司 (52) <平成29年4月>	兼担	教授	日本 日	兼担	教授	10	兼担	教授	<ul> <li>蒔苗 耕司 (54)</li> <li>&lt;平成29年4月&gt;</li> <li>大学での学び入門</li> <li>地域社会・産業とデザイン</li> </ul>
兼担	教授	地域社会・産業とデザイン 富樫 敦 (60) <平成29年4月>	兼担	教授	<ul><li>富樫 敦 (60)</li><li>〈平成29年4月〉</li><li>情報化社会と技術データサイエンス入門</li></ul>	兼担	教授	<ul><li> 富樫 敦 (61) &lt; 平成29年4月 &gt; 情報化社会と技術 データサイエンス入門 </li></ul>	兼担	教授	<ul><li>富樫 敦 (62)</li><li>&lt;平成29年4月&gt;</li><li>情報化社会と技術</li><li>データサイエンス入門</li></ul>
兼担	教授	データサイエンス 精容 昌志 (49) く平成29年4月> 応用統計処理 地域福祉政策 社会変量解析	*	教授	データサイエンス 標谷 昌志 (49) く平成29年4月> 応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法 会量機析			データサイエンス  一再掲 一再掲 一再掲 一再掲			データサイエンス
兼担	教授	舟引 敏明 (59) 《平成29年4月》	兼担	教授	#5  敏明 (59) <平成29年4月> 地域フィールドワーク	兼担	教授	舟引 敏明 (60) (60) スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 地域アン・ルドワーク 地域政策報論 国土・地域計画	兼担	教授	舟引 敏明 (61) (61) 〈平成29年4月〉 一学群共通科目による担当変更 地域フィールドワーク 地域政策振論 国土・地域計画
		都市と文化 行政学 都市計画 郷古 雅春			都市と文化 行政学 都市計画 郷古 雅春			都市と文化 行政学 都市計画 郷古 雅春			→兼担 小地沢将之に記載 行政学 都市計画 郷古 雅春
兼担	教授	(57) <平成29年4月>	兼担	教授	(57) <平成29年4月>	兼担	教授	(58) <平成29年4月> コミュニティ・プランナー家論及 び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー	兼担	教授	(59) <平成29年4月> コミュニティ・プランナー振動及 び演習 コミュニティ・プランナー実践動 コミュニティ・プランナーフィー
		地域産業政策			地域フィールドワーク地域産業政策			<b>ルドワーク演習</b> <b>地域</b> フィールドワーク 地域産業政策			ルドワーク <b>演習</b> 地域フィールドワーク 地域産業政策 全学自由ゼミ
兼担	教授	河西 敏幸 (49) 《平成29年4月》	兼担	教授	河西 敏幸 (49) 《平成29年4月》	兼担	教授	<平成29年4月> コミュニティ・プランナー振論及び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフス議論	兼担	教授	河西
		スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ			アートサイエンス概論 総合芸術 スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ			ルドワーク演習 アートサイエンス振論 参合芸術 スポーツ実持 大を動かす楽しみ			ルドワーク演習 アートサイエンス振動 総合芸術 スポーツ科学 スポーツ実技 体を動かす楽しみ

				_					-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
•5,55		担当授業科目名	57,1		担当授業科目名	57,11		担当授業科目名	57,5		担当授業科目名
		小島(栗田) さつき			期々 紀子			小島(栗田) さつき			小島(栗田) さつき
兼担	准教授	(41) <平成29年4月>	兼任	講師	(40) <平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	(43) <平成29年4月>
		English Reading Skills I		ļ	English Reading Skills I CRAIG MCDONALD			English Reading Skills I			English Reading Skills I
			兼任	講師	(44) <平成29年4月>						
		English Self-Expression I			English Self-Expression I 小島(栗田) さつき			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
			兼担	准教授	(44)						
		English Reading SkillsⅡ			<平成29年4月>			English Reading Skills I			English Reading Skills II
		English Reading Skills II	兼任	講師	English Reading Skills II CRAIG MCDONALD (44)			ENGINEN RESULTED SKILLED			English Reading Skills II
		English Self-ExpressionI	жı	Die mh	〈平成29年4月> English Self-ExpressionⅡ			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
		Engrish Sorr Expression			小島(栗田) さつき			NKIT OUTTO MODULEDIC BLAK			
			兼担	准教授	(41) <平成29年4月>						
		English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I
		English Self-ExpressionⅢ			English Self-ExpressionⅢ			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			English Self-ExpressionIII
		English for Academic Purposes II  Extensive Listening			English for Academic Purposes II Extensive Listening			English for Academic PurposesⅡ  →兼担 曾根洋明に記載			English for Academic Purposes II
		Practical English 曾根 洋明	-		Practical English 曾根 洋明	-		→ 兼担 曾根洋明に記載 → 兼担 曾根洋明に記載 曾根 洋明	-		曾根 洋明
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	曾根 洋明 (55) <平成29年4月>	兼担	准教授	
		\$ 170000 1 1712			スタートアップ・セミナーアカデミック・セミナー			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更			X 1 3000 Y 1777
		English Reading Skills I English Self-Expression I			English Reading Skills I English Self-Expression I			English Reading Skills I  →兼任 CRAIG MCDONALDIこ記載			English Reading Skills I
		English Reading Skills I English Self-Expression II			English Reading Skills II  English Self-Expression II			English Reading SkillsⅡ →兼任 CRAIG MCDONALDに記載			English Reading Skills II  English Self-Expression II
		English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I
		English Self-ExpressionⅢ			English Self-ExpressionⅢ			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
		English for Academic Purposes I Extensive Listening			English for Academic Purposes II Extensive Listening			→兼担 小島さつきに記載 Extensive Listening			Extensive Listening
		Practical English 山本 まゆみ			Practical English 山本 まゆみ			Practical English 山本 まゆみ	-		Practical English
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	教授	(58)	兼担	教授	山本 まゆみ (59)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー
		世界の歴史と文化			世界の歴史と文化			アカデミック・セミナー 世界の歴史と文化			アカデミック・セミナー 世界の歴史と文化
** 10	准教授	日渡 祐二	34: AD	747 #F TIE	日渡 祐二	atr An	44.44	日渡 祐二 (46)	***	44.140	日渡 祐二
兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	教授	<平成29年4月>	兼担	教授	(47) <平成29年4月>
		生命科学生物概論			生命科学生物概論			生命科学生物概論			生命科学生物概論
兼担	准教授	土岐 謙次 (48)	兼担	准教授	土岐 謙次	兼担	准教授	土岐 謙次 (49)	兼担	教授	土岐 謙次
来担	准教授	<平成29年4月>	末担	准教授	<平成29年4月>	末担	准敦技	(49) <平成29年4月>	末担	似技	(50) <平成29年4月>
					スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更			
					アートサイエンス概論 総合芸術			アートサイエンス概論 総合芸術			アートサイエンス概論 総合芸術
		美術 高橋 信人			美術 高橋 信人			美術 高橋 信人			美術 高橋 信人
兼担	准教授	(40) <平成29年4月>	兼担	准教授	(40) <平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>
								地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及			<ul><li>→兼担 森本素子に記載</li><li>コミュニティ・プランナー概論及</li></ul>
								び演習 コミュニティ・プランナー実践論			び演習 コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナーフィー
								ルドワーク演習 地理情報分析			ルドワーク演習 地理情報分析
					情報化社会と技術 基礎統計学			情報化社会と技術 基礎統計学			情報化社会と技術 基礎統計学
		<u>地球と宇宙</u> 原田 鉱一郎			<u>地球と宇宙</u> 原田 鉱一郎			地球と宇宙 原田 鉱一郎			地球と宇宙 原田 鉱一郎
兼担	准教授	(50) <平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>
		物理概論			<b>基礎統計学</b> 物理概論			<b>基礎統計学</b> 物理概論			<b>基礎統計学</b> 物理概論
兼担	准教授	菰田 俊一 (47)	兼担	教授	笠原 幹 (52)	兼担	准教授	菰田 俊一 (48)	兼担	准教授	菰田 俊一 (49)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
<b>並</b> 中	AF \$100	化学概論 萩原 潤	*+D	₩±1==	化学概論 萩原 潤	*+0	W #4.100	<b>化学振論</b> 萩原 潤	±+□	####	<b>化学振論</b> 萩原 潤
兼担	准教授	(45) <平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>
		甘堪幼弘兴			情報化社会と技術 データサイエンス入門			情報化社会と技術 データサイエンス入門			情報化社会と技術 データサイエンス入門
		基礎統計学 白川 愛子			基礎統計学       石川 伸一			基礎統計学 石川 伸一			基礎統計学 石川 伸一
兼担	准教授	(54) <平成29年4月>	兼担	教授	(43) <平成29年4月>	兼担	教授	(44) <平成29年4月>	兼担	教授	(45) <平成29年4月>
		全年以29年4月 / 健康科学			健康科学			健康科学	1		健康科学
		进床行子			DEC MA J.A. A.	-					
		)连,保行于			per wire d.d. 2.	兼担	准教授	白川 <b>愛子</b> (55) <平成29年4月>	兼担	准教授	白川 愛子 (56) 〈平成29年4月〉

専任・			専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名
兼担	講師	佐藤 麗 (41) 《平成29年4月》	兼担	講師	佐藤 麗 (41) <平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	兼担	講師	佐藤 麗 (42) <平成29年4月> 一学群共通科目による担当変更 一学群共通科目による担当変更	兼担	講師	佐藤 麗 (43) 〈平成29年4月〉
		English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I			English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I			English Reading Skills I  English Reading Skills II  English for Academic Purposes I			English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English for Academic Purposes I
		English Self-Expression皿 板 明果			English Self-Expression皿 板 明果			→兼任 MATTHEW NALLに記載 板 明果			English Self-Expression皿 板 明果
兼担	講師	(43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43)	兼担	講師	(43) // (43)	兼担	講師	(44) <平成29年4月> →学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 マクロ経済学	兼担	講師	(45) <平成29年4月> マクロ経済学
		地域分析学 計量経済学 MATTHEW NALL			地域分析学 計量経済学 MATTHEW NALL			地域分析学 計量経済学 MATTHEW NALL			地域分析学 計量経済学
兼担	助教	(33) <平成29年4月>	兼担	助教	(33) <平成29年4月>	兼担	助教	(34) <平成29年4月>	兼担	助教	MATTHEW NALL (35) <平成29年4月>
		English Reading Skills I English Self-Expression I			English Reading Skills I English Self-Expression I			English Self-Expression I			English Self-Expression I
		English Reading Skills II English Self-Expression II			English Reading Skills II English Self-Expression II			English Self-Expression II			English Self-Expression I
		English for Academic Purposes I English Self-ExpressionⅢ 物部 寛太郎			English for Academic Purposes I English Self-ExpressionIII			→兼担 佐藤麗に記載 English Self-ExpressionⅢ			English Self-ExpressionⅢ
兼担	助教	(38) <平成29年4月>	兼担	准教授	高橋 信人 (40) <平成29年4月> 地理情報分析						
the for	=# AT	地理情報分析 藤原 正樹 (66)	# /*	講師	<b>地理情報分析</b> 藤原 正樹 (66)	3# /T	-# AT	→再掲 藤原 正樹			
兼任	講師	< 平成31年4月 > 事業プランニング演習 I	兼任	語即	〈平成31年4月〉 事業プランニング演習 I	兼任	講師	(66) <平成31年4月>			
		事業プリンニング演習Ⅱ 事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ			辛泉プランニング演習 I 卒泉研究 I 卒泉研究 I						
		経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント			全学自由ゼミ 経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント			→兼担 藤澤由和に記載 経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント			→専 大嶋淳俊に記載 →専 大嶋淳俊に記載
the for	講師	eビジネス 坂本 眞一郎 (66)	# /*	講師	eビジネス 坂本 眞一郎 (66)	3# /T	-# AT	<u>eビジネス</u> 坂本 眞一郎 (66)			→専 大嶋淳俊に記載
兼任	蔣即	(マルス・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マー	兼任	語即	< 平成31年4月 > 事業プランニング演習 I	兼任	講師	<平成31年4月>			
		事業プランニング演習Ⅱ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 商法・会社法 会計学			事業プランニング演習-I       卒業研究-I       卒業研究-I       商法・会社法       会計学			商法・会社法会計			→兼担 仲宗根卓に記載 →東 絹衬信俊に記載 - 東
兼任	講師	企業会計 叢 有蔓 (48) <平成29年4月 >	兼任	講師	企業会計 西貝定行 (50) <平成29年4月>	兼任	講師	企業会計 西員 定行 (51) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	<ul><li>→専 絹村信俊に記載</li><li>西貝 定行 (52)</li><li>&lt;平成29年4月&gt;</li></ul>
		中国語 I 中国語 II 黄 考善	-		中国語 I 中国語 II 黄 考善			中国語 I       中国語 I       黄 考善			中国語工
兼任	講師	(49) <平成29年4月>	兼任	講師	(49) <平成29年4月>	兼任	講師		兼任	講師	黄 考善 (51) <平成29年4月>
		韓国語 I 韓国語 II			韓国語 I 韓国語 II			韓国語 I 韓国語 II			韓国語 I 韓国語 I
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU (43)	兼任	講師	VU THUY MINH CHAU (43)	兼任	講師	VUONG THI DOAN THU (47) <平成30年4月>	兼任	講師	VUONG THI DOAN THU (48) 〈平成30年4月〉
		< 平成29年4月 > ベトナム語 I ベトナム語 I			<平成29年4月> ベトナム語 I ベトナム語 II			ペトナム語 I ペトナム語 I			ペトナム語 I ペトナム語 I
兼任	講師	伊藤 大介 (43) <平成29年4月>	兼担	准教授	三好 俊文	兼担	准教授	三好 俊文	兼担	准教授	三好 俊文
		日本の歴史と文化東北の歴史と文化			日本の歴史と文化東北の歴史と文化			日本の歴史と文化 東北の歴史と文化 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 地域資源論			日本の歴史と文化 東北の歴史と文化 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 地域薫論 スタートアップ・セミナー
兼任	講師	佐藤 寿一 (56) <平成29年4月> 音楽	兼任	講師	波部 勝彦 (71) 〈平成29年4月〉 音楽	兼任	講師	滅部 勝彦 (72) 〈平成29年4月〉 音楽			<b>アカデミック・セミナー</b> →兼任 日比野裕幸に記載
								ョス アートサイエンス 板胎 総合芸術			アートサイエンス振動
兼任	講師	佐藤 駿 (33)	兼担	准教授	普原 謙 (52) <平成29年4月>	兼担	准教授	普原 謙 (53) <平成29年4月>	兼担	准教授	管原 謙 (54) 《平成29年4月》
	_	<平成29年4月> 現代社会と哲学			現代社会と哲学			ス 平成29年4月2 現代社会と哲学 社会の中で生きる 現代社会の諸相			現代社会と哲学 社会の中で生きる 現代社会の諮相
兼任	講師	木村 敏明 (50) <平成29年4月>						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			The second secon
		人と宗教			人と宗教			人と宗教			人と宗教 スタートアップ・サミナー

+~						1	1			1	,
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	曽我 洋介 (39)	兼担	講師	仲宗根 卓 (35)	兼担	講師	仲宗根 卓 (36)	兼担	講師	仲宗根 卓 (37)
7117 1122	117-1	<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
		憲法			意法			憲法 社会の中で生きる			憲法 社会の中で生きる 商法・会社法 民法 公法
兼任	講師	小野 秀壽 (63) <平成29年4月>	兼担	准教授	三浦 幸平 (39) 〈平成29年4月〉						
		数理科学 数学概論			数理科学 数学概論			→再掲 →再掲			
兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)	兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)	兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)	兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)
		<平成31年4月> ロジスティクス			< 平成31年4月 > ロジスティクス			<平成31年4月> ロジスティクス			< 平成31年4月 > ロジスティクス
		リスクマネジメント 酒井 茂孝			リスクマネジメント 酒井 茂孝			リスクマネジメント 酒井 茂孝			リスクマネジメント 酒井 茂孝
兼任	講師	(66) <平成32年4月>	兼任	講師	(66) <平成32年4月>	兼任	講師	(66) <平成32年4月>	兼任	講師	(66) <平成32年4月>
		ブランディング 庄子 真岐			ブランディング 庄子 真岐			ブランディング 庄子 真岐			ブランディング 上庄子 真岐
兼任	講師	(40)	兼任	講師	(40)	兼任	講師	(40)	兼任	講師	(40)
		< 平成31年4月 > 地域交流論			< 平成31年4月 > 地域交流論			< 平成31年4月 > 地域交流論			< 平成31年4月 > 地域交流論
兼任	講師	篠塚 功照 (44)	兼任	講師	篠塚 功照 (44)	兼任	講師	篠塚 功照 (44)			
		<平成31年4月> 民法			<平成31年4月> 民法			<平成31年4月> 民法			→兼担 仲宗根卓に記載
兼任	講師	稲村 健太郎 (40)	兼任	講師	稲村 健太郎 (40)	兼任	講師	稲村 健太郎 (40)			
NK IT.	n <del>ia</del> bili	<平成31年4月>	*II	ring tale	<平成31年4月>	- 本正	마음마	<平成31年4月>			****
兼任	講師	<u>公法</u> 鈴木 康夫 (68)	兼任	講師	公法 鈴木 康夫 (68)	兼任	講師	<u>公法</u> 鈴木 康夫 (68)	兼任	講師	→兼担 仲宗根卓に記載 鈴木 康夫 (68)
NK III	471	<平成32年4月> 知的財産管理	NK III	D1-2 D-1-	<平成32年4月> 知的財産管理	N. II	M7 P-1	<平成32年4月> 知的財産管理	NK III	DIT DIT	<平成32年4月> 知的財産管理
			兼担	教授	平岡 善浩 (50)	兼担	教授	平岡 善浩 (51)	兼担	教授	平岡 善浩 (52)
					<平成29年4月> 地域フィールドワーク			<平成29年4月> 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー振論及			〈平成29年4月〉 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー振論及
								び演習			び渡習 コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナーフィー
					スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			ルドワーク演習 →学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更			ルドワーク演習
			兼担	准教授	千葉 克己 (46)	兼担	准教授	千葉 克己 (47)	兼担	准教授	
					<平成29年4月> 地域フィールドワーク			<平成29年4月> 地域フィールドワーク			<平成29年4月> 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー振論及
								コミュニティ・プランナー板論及び演習			び演習
								コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー
								ルドワーク演習			ルドワーク演習 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー
			兼担	准教授	三浦 幸平 (39)						7 11 12 97 - 227
					〈平成29年4月〉 基礎統計学			<b>→</b> 再揭			
						兼担	教授	安齋 由貴子 (59) <平成30年4月>	兼担	教授	安齋 由貴子 (60) <平成30年4月>
					地域フィールドワーク			地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー概論及			<ul><li>→兼担 木村三香に記載</li><li>コミュニティ・プランナー概論及</li></ul>
								び演習 コミュニティ・プランナー実践論			び演習 コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
			兼担	准教授		兼担	教授	大熊 <b>恵子</b> (49)	兼担	教授	大龍 恵子 (50)
					<平成29年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク
								コミュニティ・プランナー板論及び演習			コミュニティ・プランナー概論及び演習
								コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー
			兼担	准教授	三好 俊文	兼任	講師	ルドワーク演習 中沢 峻 (30)	兼任	講師	ルドワーク演習 中沢 峻 (31)
			水但	/电弧线	(41) <u>&lt;平成29年4月&gt;</u> 地域フィールドワーク		nie tah	<平成30年4月> 地域フィールドワーク	末年	ner cah	(31) <平成30年4月> 地域フィールドワーク
								コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー振論及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
					仲宗根 卓			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
			兼担	講師	(35) <平成29年4月>						
			44,171	-	地域フィールドワーク 須栗 裕樹	44.25		→兼担 風間逸郎に記載 <b>須栗 裕樹</b>	***		須果 裕樹
			兼担	教授	(53) <平成29年4月> 情報化社会と技術	兼担	教授	(54) <平成29年4月> 情報化社会と技術	兼担	教授	(55) <平成29年4月> 情報化社会と技術
			<u></u>		データサイエンス入門	ı		データサイエンス入門			データサイエンス入門

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月>
		担当授業科目名	兼担	教授	担当授業科目名 <b>秋月 治</b> (62) (70) (62) (62) (64)	兼担	教授	担当授業科目名   秋月 治 (63)  <平成29年4月>	兼担		担当授業科目名 <b>秋月 治</b> (64) 〈 <b>平成29年4月〉</b> 情報化社会と技術
			兼担	教授	データサイエンス入門 中田 千彦	兼担	教授	情報化社会と技術  →クラス見直しで担当変更  中田 千彦 (49)  〈平成29年4月> アートサイエンス振論	兼担	教授	中田 千彦 (50) マートサイエンス振論
			兼担	教授	総合芸術 施野 護 (44) 〈平成29年4月〉	兼担	教授	総合芸術 應野 護 (45) <平成29年4月>	兼担		総合芸術 全学自由ゼミ 鹿野 護 (46) <平成29年4月>
			兼担	教授	アートサイエンス振動 笠原 神 (52) 〈平成29年4月〉 環境科学入門	兼担	教授	アートサイエンス要論 笠原 神 (53) (平成29年4月> 環境科学入門	兼担	教授	アートサイエンス振動 笠原 神 (54) 〈平成29年4月〉 環境科学入門
			兼担	教授	神宮字 寛 (48) 〈平成29年4月〉 物理概論	兼担	教授	化学概論 神宮字 寛 (49) 《平成29年4月》 物理概論	兼担	教授	化学療験 神古字 寛 (50) <平成29年4月> 物理療験
			兼任	講師	< 平成29年4月> アートサイエンス概論 総合芸術			→再掲 →再掲			
			兼任	講師	相帰 富美江 (52) (52) アートサイエンス振論 総合基係	兼任	講師	相澤 富美江 (53) (53) マートサイエンス報論 参合芸術	兼任	講師	相澤 富美江 (54) (54) マートサイエンス概論 総合芸術
			兼任	講師	高山 豊 (72) 〈平成29年4月〉 アートサイエンス振論 美術	兼任	群師	高山 巻 (73) 〈平成29年4月〉 アートサイエンス概論 →兼担 土岐謙次に記載 終合芸術			<del>アートサイエンス標論</del> 総合芸術
			兼任	講師	日本日本第 音野 文昭 (49) 〈平成29年4月〉 アートサイエンス振論 奏術	兼任	講師	受日本版 青野 文昭 (50) <平成29年4月> 一トサイエンス振論 美術	兼任	講師	受ける形 音野 文昭 (51) <平成29年4月> アートサイエンス振論 美術
			兼任	講師	総合芸術 波辺 誠一郎 (66) マー成29年4月> アートサイエンス振論	兼任	講師	総合芸術 渡辺 誠一郎 (67) 〈平成29年4月〉 アートサイエンス振論	兼任	講師	総合芸術 渡辺 誠一郎 (68) マートシイエンス概論
			兼任	講師	総合芸術 上野 晴夫 (62) マー成29年4月> 数学報論	兼任	講師	総合芸術 上野 晴夫 (63) 〈平成29年4月> 数学報論	兼任	講師	総合芸術 上野 晴夫 (64) <平成29年4月> 数学振論
			兼任	講師	里見 宗久 (66) <平成29年4月> 数学振論	兼任	講師	里見 宗久 (67) 〈平成29年4月> 数学版論	兼任		里見 宗久 (68) 〈平成29年4月〉 数学振論
						兼担		桂 晶子 (50) <平成30年4月> コミュニティ・プランナー概論及 び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー	兼担	准教授	推 晶子 (51) <平成30年4月> コミュニティ・ブランナー板論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー
						兼担	教授	ルドワーク演習 川村 保 (60) 〈平成30年4月〉 全学自由ゼミ 学外研修 産学連続機関座 I	兼担	教授	< 平成30年4月> 全学自由ゼミ 学外研修 産学連携講座 I
						兼担	教授	<u>産学連携機</u> 座 I (49) (49) (49) (49) (49) (49) (42) (40) (40) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41	兼担		産学連携講座 I 節澤 由和 (50) 《平成29年4月> 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 産学連携講座 I 地域調査法 インターンシップ I インターンシップ I ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
						兼担			兼担		
						兼担		地域活性化とビジネス 地方自治 行防災計画 佐々木 秀之 (42) 《平成29年4月> スターディッグ・セミナー ア地域フィニア では、アー・ア・マー・ア・マー・ア・マー・ア・フ・エミナー では、コニア・ア・ブランナー概論及 びスター・ア・ブランナー概論及 びスター・ア・ブランナー概論及	兼担	准教授	地域  地方自治  行政  が決計画  佐々木 考之  (3)  一学群共通科目による担当変更  地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー概論及 び演習
								UADA コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習 地域資源論 社会配象論			の点向 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習 地域資源論 社会記集論 全学自由ゼミ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担			兼担	准教授	▼死30年4月>  一学群共通科目による担当変更 ・学群共通科目による担当変更 データサイエンス入門 変学連携療主 応用統計処理 インターンシップⅠ
						兼担	准教授	インターンシップⅡ 地域分析学 伊藤 真市 (57) <b>〈平成30年4月〉</b>			インターンシップⅡ 地域分析学
						兼担	教授	< 千成30年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー MARGARET CHANG (55)	兼担	教授	→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 MARGARET CHANG (56)
						37.22	33	< 平成30年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II			<ul> <li>(平成30年4月&gt;</li> <li>English Self-Expression I</li> <li>English Self-Expression II</li> <li>English Self-Expression III</li> </ul>
						兼担	准教授	飲木 優 (34) 《平成30年4月> 産学連携講座Ⅱ インターンシップⅡ インターンシップⅡ	兼担	准教授	<平成30年4月> 産学連携課座 I →兼担 日原広ーに記載 →兼担 日原広ーに記載
						兼任	講師	庄司 貞雄 (60) <平成30年4月> インターンシップ I インターンシップ I	兼任	講師	<平成30年4月> インターンシップI インターンシップI キャリアデザインI キャリア開泰I
						兼任	講師	高貝 浩也 (48) (平成30年4月> キャリア開発エ	兼任	講師	キャリア開発 I キャリア開発 I 高貝 活也 (49) 〈平成30年4月〉 キャリア開発 I
						兼任	講師	キャリア開発皿 高の			<u>キャリア開発団</u> →再掲
						兼任	講師	農山 書家 (63) 《平成30年4月> English Reading Skills I English Reading Skills II English for Academic Purposes I	兼任	講師	高山 書彦 (64) <平成30年4月> English Reading Skills I English Reading Skills I English for Academic Purposes I
						兼任	講師	CRAIG MCDONALD (45) 《平成29年4月》 English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-ExpressionIII			<ul><li>→兼担 佐藤麗に記載</li><li>→兼担 佐藤麗に記載</li><li>→兼担 小島さつきに記載</li></ul>
									兼担		<b>齊藤 奈緒</b> (42) <平成31年4月> 地域フィールドワーク
									兼担	教授	森本 素子 (55) マー成31年4月> 地域フィールドワーク 川島 滋和
									兼担兼担		(47) <平成31年4月> 地域フィールドワーク 木村 三番 (53)
									兼担		< 平成31年4月> 地域フィールドワーク 井上 誠 (61)
											〈平成31年4月〉 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 小林 仁
									兼担	教授	(58) <平成31年4月> 生物振論 コミュニティ・ブランナー振論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論
									兼担	教授	岩井 孝尚 (52) 〈平成31年4月〉 生物素論
									兼担	准教授	/小地沢 将之 (43) <平成31年4月> インターンシップ I インターンシップ I
									兼担	教授	<ul><li>都市と文化</li><li>日庫 広一</li><li>(63)</li><li>〈平成31年4月〉</li><li>インターンシップI</li><li>インターンシップI</li></ul>
									兼任	講師	インターンシップI 王 敦紅 (52) <平成31年4月> 中国語 I 中国語 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任 の別	 氏 名 (年 齢) (玄妖任 (予定) 年月>	専兼	ΞĮ,	哉名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名		担当授業科目名				担当授業科目名
								兼			日比野 裕幸 (57) 〈平成31年4月〉 音楽
								*	E I		<u>日本</u> (33) 〈平成31年4月> 河豊者心理学 マーケティングリサーチ

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、**経可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の表字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選年齢を**記入してください。
  ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

#### 【平成29年度】

```
ラス数の減に伴う担当者の減のため、
                                      「地域活性化とビジネス」は、金子孝一教授担当分については実施せす
 ・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の滅のため、「事業ブランニング演習Ⅰ」、「事業プランニング演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅱ」は、金
子孝一講師担当分は実施せず
 プロールのでは、「からないにより、「地域活性化とビジネス」は、金子孝一講師担当分については実施せず
・クラス数の滅に伴う担当者の滅のため、「地域活性化とビジネス」は、金子孝一講師担当分については実施せず
・全学群で共通科目として授業を実施するための担当者変更のため、「社会の中で生きる」は、藤澤由和教授担当
・学群の科目とりまとめの教員へ変更のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」は、藤澤由和教授担当
・専任教員の変更に伴う担当者の変更のため、「事業プランニング演習Ⅰ」、「事業プランニング演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」の担当を、藤澤由和教授から糟谷昌志
歌按へ変更

・「地域間査法」、「地域社会学」は、藤澤由和教授の専任教員配置の見直しにより、専任から兼担へ変更

・専任教員の変更に伴い、「事業プランニング演習Ⅰ」、「事業プランニング演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅱ」の担当を、佐々木秀之准教授から徳永幸之教授へ変更

・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、佐々木秀之准教授を追加

・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当に、佐々木秀之准教授を追加

・「地域資源論」、「社会起業論」は、佐々木秀之准教授の専任教員配置の見直しにより、助担当に、佐々木秀之准教授を追加

・「地域資源論」、「社会起業論」は、佐々木秀之准教授の専任教員配置の見直しにより、応々本秀之准教授を追加

・「地域資源論」、「社会起業論」は、佐々木秀之准教授の専任教員配置の見直しにより、第二年の美担へ変更

・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減のため、「事業プランニング演習Ⅱ」、「事業プランニング演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅱ」は、日本推教授担当分は実施せず
                                                                                               ---
「事業プランニング演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」は、石
 田柏准教授担当がは美施です。
・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当に、石田祐准教授を追加
・「現代社会の諸相」、「地方自治」、「行政評価」、「防災計画」は、石田祐准教授の専任教員配置の見直しにより、専任から兼担へ変更
・カリキュラムセンター教員の異動に伴い、「大学での学び入門」の担当を、木村和彦教授から蒔苗耕司教授へ変更
・学群の科目とりまとめの教員へ変更のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当を、木村和彦教授から藤澤由和教授へ変更
・「全学自由ゼミ」の担当を、木村和彦教授から事業構想学研究科 副研究科長 藤原正樹教授へ変更
・全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」の担当を、徳永幸之教授から藤澤由和教授へ変更
「事業構想学概論」、「地域政策概論」、「数理計画」、「多変量解析」、「国土・地域計画」、「交通計画」は、徳永幸之教授の専任教員配置の見直しにより、兼担から専任へ
 変更
 ・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の滅のため、「事業プランニング演習Ⅰ」、「事業プランニング演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」は、坂
本眞一郎講師担当分については実施せず
```

```
【平成30年度】
                                           「宮城大学の知の体系」の担当者を原玲子、風見正ヨ
     学群長変更により
                                                                                                                                      . 西川正純へ変
    少人数教育実施のため、「社会の中で生きる」の担当者を藤澤由和、石田祐、菅原謙、三好俊文、仲宗根卓へ変更
少人数教育実施のため、「キャリアデザインI」の担当者を宮崎良徳、須田義人へ変更
     全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を佐々木秀之、石内鉄平、舟引敏明、徳永幸之、山本まゆみ、伊藤直市、内田直仁、弓谷行
 宏に変更
 ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を佐々木秀之、石内鉄平、舟引敏明、徳永幸之、山本まゆみ、伊藤真市、内田直仁、弓谷行宏
に変更
   ・学外での演習を伴うため,「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春,風見正三,平岡善浩,佐々木秀之,舟引敏明,千葉克己,安齋由貴子,大熊恵子,高橋信人,石田祐,
 風間逸郎、中沢峻へ変更
                                                    「情報化社会と技術」の担当者を茅原拓朗、富樫敦、須栗裕樹、秋月治、萩原潤、高橋信人へ変更「データサイエンス入門」の担当者を三浦幸平、富樫敦、須栗裕樹、萩原潤、須田義人、石内鉄平へ変更「English Reading Skills I」の担当者を小島さつき、曾根洋明、佐藤麗、川井一枝、弓谷行宏、畠山喜彦へ変更「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English Reading Skills II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English for Academic Purposes II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English for Academic Purposes II」の担当者をWilson、内容の変更「Extensive Listening」の担当者を曾根洋明へ変更「Practical English」の担当者を簡根洋明へ変更「Practical English」の担当者を簡根洋明へ変更「Practical English」の担当者を簡根洋明へ変更「Practical English」の担当者を簡根洋明へ変更
  ・クラス数の見直しのため,
・クラス数の見直しのため,
     クラス数の見直しのため、
         ラス数の見直しのため、
     クラス数の見直しのため.
        ラス数の見直しのため、ラス数の見直しのため、
     クラス数の見直しのため、
        ラス数の見直しのため、ラス数の見直しのため、
   ・ソフス数の見直しのため、「Practical English」の担当者を管根洋明へ変更
・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を整深由和、三好俊文へ変更
・クラス数の見直しのため、「美術」の担当者を主岐謙次、青野文昭へ変更
・クラス数の見直しのため、「機康科学」の担当者を主岐謙次、青野文昭へ変更
・クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を真覚健、石川伸一、武田和久、風間逸郎、白川愛子へ変更
・クラス数の見直しのため、「心理学」の担当者を山田嘉明、真覚健へ変更
・全学群で共通科目として授業を実施するため、「現代社会の諸相」の担当者を菅原謙へ変更
・クラス数の見直しのため、「化学概論」の担当者を流田俊一、笠原紳へ変更
・クラス数の見直しのため、「生物概論」の担当者を一機一、笠原紳へ変更
・クラス数の見直しのため、「生物概論」の担当者を一機一、世原神へ変更
・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・ブランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克
3、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
  学外での演習を伴うため、
 己、石田祐
 ・学外での演習を伴うため、「コ
田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
                                                     「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石
  ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀
さ、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- 学外での演習を伴うため、「コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、
- 元素元己、石田祐、安爾由貴子、中沢峻へ変更
・ 追加開講科目の「産学連携講座 I」は、藤澤由和教授、川村保教授が担当
・ 追加開講科目の「産学連携講座 I」は、高海澤由和教授、川村保教授が担当
・ 少人数教育実施のため、「地域活性化とビジネス」の担当者を風見正三、石田祐へ変更
・ クラス教の見直しのため、「地域活性化とビジネス」の担当者を風見正三、石田祐へ変更
・ クラス教の見直しのため、「地域活性化とビジネス」の担当者を属見正三、石田祐へ変更
・ 中・甲・ア・東に教育の変更(伴う担当者変更のため、「地域調査法」の担当者を藤澤由和へ変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインII」の担当者を藤澤由和へ変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップ II」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、内田直仁、鈴木優、庄司貞雄へ変更
・ 中・日教員の変更(伴う担当者変更のため、「地域計画」の担当者を徳永幸し、変更
・ 専任教員の変更(伴う担当者を変のため、「社会調査法」の担当者を徳永書し、変更
・ 事任教員の変更(伴う担当者変更のため、「「オータア開発II」の担当者を徳永高と、変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発II」の担当者を意味をし、変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発II」の担当者を愚見正三、宮崎良徳へ変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発II」の担当者を愚見正三、高見浩也へ変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップII」の担当者を風見正三、高月浩也へ変更
・ キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップII」の担当者を風見正三、高月浩也へ変更
・ 高力教授の退職に伴い、「マーケティング」の担当者を超し続し、高山純人へ変更
・ 高子教授の変更(伴う担当者変更のため、「全路論」の担当者を田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更(伴う担当者変更のため、「「金融論」の担当者を田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更(伴う担当者変更のため、「地域対析学」の担当者を展示人表、個派品彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子浩一、田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更(に伴う担当者変更のため、「「本業プランニング演習 II」の担当者を標本見格、福永品彦、徳永幸之、糟谷昌志、内田直仁、金子浩一、田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「「事業プランニング演習 II」の担当者を標本見格、福永品彦、徳永幸之、精谷昌志、内田直仁、金子浩一、田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「「李業研究 II」の担当者を標本見格、福永品彦、徳永幸之、精谷昌志、内田直仁、金子浩一、田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「「卒業研究 II」の担当者を標本見格、福永品彦、徳永幸之、精谷昌志、内田直仁、金子浩一、田遺信之へ変更
・ 専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「「卒業研究 II」の担当者を標本見格、福永品彦、徳永幸之、精谷昌志、内田直仁、金子浩一、田遺信之へ変更
    【令和元年度】
  ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザイン I の担当者に田邉信之を追加
・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変
  ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
                                         「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈
 緒、川島滋和、中沢峻へ変更
 ・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionI」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionII」の担当者をWilson、Nall、Chang、 曾根洋明へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionIII」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
- 時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionⅢ」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更・クラス数の見直しのため、「中国語Ⅱ」、「中国語Ⅱ」の担当者に王效紅を追加・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を田邉信之、金子浩一、郷古雅春、佐々木秀之、中田千彦、鈴木優へ変更・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス戦」の担当者を中田千彦、庶野護、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス戦」の担当者を中田千彦、海西戦幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更・クラス数の見直しのため、「谷主義術」の担当者を中田千彦、河西戦幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更・クラス数の見直しのため、「生物概論」の担当者に小林仁、岩井孝尚を追加・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・ブランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更・・カニュ**の日本「のため、「コミュニティ・ブランナー電強論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋田貴子、のため、「コミュニティ・ブランナー電建論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉京己、石田祐、安齋
 ・クラス数の見直しのため、「
由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
                                                    「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋
 ・クラス数の見直しのため、「コミュニ
己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
                                                     「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克
 □ ス 石田祐、 交際由貴子、中沢峻へ変更

・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を川村保へ変更
・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 I 」の担当者を川村保へ変更
・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 I 」の担当者を川村保へ変更
・カラス数の見直しのため、「産学連携講座 I 」の担当者を制村保へ変更
・金子孝一の退職に伴い、「ビジネスモデル論」の担当者を書名に出場によるとの
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアザインII」の担当者を顕著由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップ I 」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、綱村信俊、小地沢将之へ変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップ I 」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、綱村信俊、小地沢将之へ変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I 」の担当者を正過信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I 」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、綱村信俊、小地沢将之へ変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I 」の担当者を藤澤由和、石内鉄平 日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、綱村信俊、小地沢将之へ変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I 」の担当者を藤澤由和、石内鉄平 日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、綱村信俊、小地沢将之へ変更
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I 」の担当者を藤澤由和、石内鉄平
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 II 」の担当者を藤澤田和、石内鉄平
・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 II 」の担当者を原連し、高月浩也、庄司貞雄へ変更
・新規教員採用に伴い、「ビジネス」ロセスマネジメント」の担当者を振一は断ら大嶋淳俊へ変更
・新規教員採用に伴い、「ビジネス」の担当者を振原正樹から大嶋淳俊へ変更
・新規教員採用に伴い、「全計学」の担当者を振原正樹から大嶋淳俊へ変更
・新規教員採用に伴い、「全計学」の担当者を坂本真一郎から大嶋淳俊へ変更
```

・新規教員採用に伴い「eビジネス」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
・新規教員採用に伴い「全計学」の担当者を藤原正樹から科鳩信俊へ変更
・新規教員採用に伴い「全計学」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
・新規教員採用に伴い、「企業会計」の担当者を坂本眞一郎から綿村信俊へ変更
・新規教員採用に伴い、「都市と文化」の担当者を舟引戦即から小地沢将之へ変更
・新規教員採用に伴い、「民法」の担当者を海は明から小地沢将之へ変更
・新規教員採用に伴い、「民法」の担当者を篠塚功照から仲宗根卓へ変更
・新規教員採用に伴い、「公法」の担当者を福村健太郎から仲宗根卓へ変更
・新規教員採用に伴い、「商法・会社法」の担当者を坂本眞一郎から仲宗根卓へ変更
・新規教員採用に伴い、「商法・会社法」の担当者を坂本眞一郎から仲宗根卓へ変更
・新規教員採用に伴い、「事業プランニング演習 I」の担当者に高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊を追加
・新規教員採用に伴い、「事業プランニング演習 I」の担当者に高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊を追加
・新規教員採用に伴い、「事業プランニング演習 I」の担当者に高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊を追加
・新規教員採用に伴い、「卒業研究 I」の担当者に高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊を追加

新規教員採用に伴い、 「卒業研究 I 」の担当者に高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊を追加「卒業研究 II 」の担当者に高山純人、大嶋淳俊、絹村信俊を追加

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **腹可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。**・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
    なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -② 専任教員数【大学】

	1	设置時の計画	E .			現在	(報告時) の	)状況	
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	4	0	0	8	8	0	2	٥	10
(5)	(4)	(0)	(0)	(9)	0	O	2	v	10
3	現在(報告	時)の完成な	拝度時の状況	5		現在(報告	寺)の完成年	度時の計画	Ī
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計
8	0	2	0	10	8	0	2	0	10
[4]	[△4]	[2]	[0]	[1]	[4]	[△4]	[2]	[0]	[1]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、 完成年度までに就任する教員教を加えた教を配入するとともに、  $[\phantom{a}\phantom{a}\phantom{a}$  内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: $\triangle 1$ )
  - 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

#### (2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
  - 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - 教員数4735 の元が千茂時にた中を超んでは私食として休石からな景数と記べたという。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	_	0	0	%
現在(報告時)の状況(B)	_	10	Ü	70

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号雕	敞 位	ኔ	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未勍	【任)の理由
	該当なし								
	合計 (D)							後任補充状況の集計(E)	
	就任を辞退した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
	該当なし								

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
  - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
  - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目		後任補充	状況		辞任等の理由						
			必修	事業プランニング	演習 I	1									
			必修	事業プランニング	演習Ⅱ	1									
			必修	卒業研究 I		1									
			必修	卒業研究Ⅱ		1									
			必修	キャリアデザイ	ハⅡ	2									
1	教授	高力 美由紀	必修	インターンシッ	ップ I	2			H30 3 314±1	+	一の邦	合のため辞代	£ (30)		
'	4X1X	间刀 天山心	必修	キャリア開発	I	2			1100. 0. 01 [9]	7 71		1 D 07 / C 07 D + 1.	1 (00)		
			必修	キャリア開発Ⅱ		2									
			選択	インターンシッ	ップⅡ	2									
			必修	キャリア開発	Ш	2									
			選択	マーケティング	グ	2									
			選択	販売促進		3									
			7-1						<i>/</i>	a#=1	(-)				
		合計	(F)			後任補充状況の集計 (G)									
	辞任した教員数担当科目製		担当科目数の合詞	† (a) + (b) +	(c)	①の合計数 (a)		②の合計数		十数(b)		③の合計数 (c)		)	
	•	_	必修	9 科	計目	必修	4	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	
			選択	3 科	計目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	
	1	人	自由	0 科	計目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			計	12 科	計目	計	4	科目	計	7	科目	計	1	科目	

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計(E)+(G)									
	辞任等した教員数	Į.	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数(a	)	②の合計	大数(b)	)	③の合計	†数 (c)	)
			必修	9	科目	必修	4	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
			選択	3	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
	1	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	12	科目	計	4	科目	計	7	科目	計	1	科目

#### (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	金子	孝一	必修	ビジネスモデル論	1	H31. 3. 31付け65歳で定年退職(元)		
合計							後任補充状況の集計		
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)						
	該当なし								

- (注) · <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の番号1については,退職は一身上の都合によるものであり,真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職を認めた。当該 教員が担当予定であった科目のうち,平成31年度に開講される選択科目1科目(後任未定)を除き,専任教員,兼任教員及び兼担教員への担当者 変更を行ったため,教育上の支障は発生しない。また,学生に対しては,平成30年4月5日に実施したオリエンテーションで指導体制を発表し,周 知を行った。(30)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

#### 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履行状況	今後の の実施計画
設 置 時 (H28年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (H29年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況調 査 時(H30年)	該当なし	履行中	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - · 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

#### 7 その他全般的事項

#### <事業構想学群 事業プランニング学類>

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

#### ① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学のカリキュラムマネジメントは、平成29年度以降カリキュラムセンターがその中心を担っている。カリキュラムセンターは教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、成績評価に関するガイドラインの策定、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営等を行っている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

<カリキュラムセンター運営会議>

平成30年度は11回開催

第1回 平成30年4月11日

第2回 平成30年4月25日

第3回 平成30年5月23日

第4回 平成30年6月27日

第5回 平成30年7月25日

第6回 平成30年9月26日

第7回 平成30年10月31日

第8回 平成30年11月28日 第9回 平成30年12月21日

第9回 平成30年12月21日 第10回 平成31年1月30日

第11回 平成31年2月27日

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

平成30年度

第1回 平成30年4月11日

1 平成30年度カリキュラムセンターの年度計画及び運営体制等について

第2回 平成30年4月25日

- 1 平成29年度 年度計画確定実績について
- 2 平成29年度後期 授業改善計画作成について

第3回 平成30年5月23日

- 1 学修状況可視化システムalaginの可視化指標について
- 2 平成30年度FD・SDの実施について
- 3 奈良県立大学連携プログラム及び産学連携講座について
- 4 科目ナンバリングについて
- 5 科目名称の英語表記について

第4回 平成30年6月27日

- 1 認証評価における指摘事項に対する改善状況について
- 2 授業評価・授業改善について
- 3 ミドル・ミクロFDの実施計画について
- 4 学修行動調査について
- 5 奈良県立大学連携プログラムの派遣学生について
- 6 東北大学 新任教員・大学教員準備 プログラムにおける授業参観への協力について

#### 第5回 平成30年7月25日

- 全学SD・FDプログラムの詳細と役割分担について
- シラバスの記載項目について
- ルーブリック作成マニュアルについて
- 平成29年度後期学群教育改善計画について
- ミドル・ミクロFDの企画について(研究科・追加分)
- 6 産学連携講座(東北電力)の非常勤教員任用について

#### 第6回 平成30年9月26日

- 科目ナンバリングについて
- 科目分類名及び科目名(学群専門)の英語表記について
- 食産業学群カリキュラムの資格取得について
- 4 教職課程の変更について

#### 第7回 平成30年10月31日

- 1 カリキュラムセンターの運営方針について
- 2 自己点検・評価報告について 3 各学群におけて新り 各学群における科目ナンバリングの検討結果について
- 4 H30年度計画進捗・予算執行状況とH31年度計画策定・予算作成について

#### 第8回 平成30年11月28日

- 学則・履修規程の改正について
- 2 H30前期学群教育改善計画について
- 3 H31シラバス作成について
- 食産業学研究科ミドルFD企画について
- 実学教育充実のための教育プログラム企画募集について
- 6 H30年度計画進捗とH31年度計画策定・予算作成について
- 研究科の授業評価について
- 8 H31履修ガイドについて

#### 第9回 平成30年12月21日

- 卒業時の学修成果の測定について
- 2 H30年度暫定実績とH31年度計画について
- H30年度最終補正予算及びH31年度当初予算要求について
- H30前期学群教育改善計画について
- 5 研究科の授業評価について
- H31履修ガイドについて
- 学則・履修規程の改正について
- GPAの取扱いに関する要綱について
- 9 H30年度SD・FD実施報告書の作成について

#### 第10回 平成31年1月30日

- 1 卒業時の学修成果の測定について
- 2 学則・履修規程の改正について
- nigalaによるH30後期授業評価の実施について
- GPA制度の取扱いに関する要綱について
- 研究科の授業評価(教育評価)について
- H31科目担当教員について 6
- ミドルFD企画の追加について

#### 第11回 平成31年2月27日

- 実学教育充実のための教育プログラム企画について
- 食産業学研究科博士後期課程のDP・CPについて
- 食産業学群の資格要件について
- H31奈良県立大学連携プログラムin奈良・宮城について
- H31全学SD・FDについて

#### ② 実施状況

- 実施内容 а
- 実施方法 b
- 開催状況(教員の参加状況含む)
- 〇全学SD・FD
  - SD「内部質保証システムの確立と効果的運用に向けて」
  - FD「確かの教育評価制度の構築に向けた、ルーブリックに関する基礎理解」
  - ・平成30年8月7日(火)開催
  - ·役員3/4名, 教員121/133名, 事務職員47/59名, 合計171/196名参加
  - ・学外講師による講演、学内講師による講演
- 〇看護学群FD「ルーブリックの作成と活用における課題」
  - ·平成30年8月8日(水)開催
  - 学群教員43/45名出席
  - ・グループワーク方式で実施
- 〇事業構想学群FD「ルーブリック作成の実践」
  - · 平成30年9月12日(水)開催
  - 教授会構成員26名出席
  - ・全学FDを踏まえての具体の議論

- 〇食産業学群FD「地域フィールドワークの技法」
  - · 平成30年9月10日(月)開催
  - 学群教員34名出席
  - ・地域フィールドワークでのアクティブラーニング実践によるケーススタディ
- 〇基盤教育群FD「脱ゆとり教育による教育環境の変化を踏まえた教養教育の改善」
  - · 平成31年2月18日(月)開催
  - ·教員4名参加
  - ・高大接続に焦点を当てた基盤教育のあり方について
- 〇看護学研究科FD「修士論文作成における指導方策について」
  - ・平成30年11月7日(水)開催
  - •研究科教員22/23名出席
  - ・グループワーク方式で実施
- ○事業構想学研究科FD「大学院における自治体枠による募集の活用と時間割の配置等について」
  - ·平成30年7月11日(水)開催
  - ·教授会構成員27/31名出席
  - ・大学院における夜間開講や基礎教育についての改善について
- 〇食産業学研究科FD「学群と研究科の接続性について」
  - · 平成30年12月25日(火)開催
  - ·研究科教員30/33名出席
  - ・外部講師を招聘して他大学の事例から、学群と大学院の接続性について検討
- 〇カリキュラムセンターFD「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)を踏まえた高等教育 政策の動向について」
  - ·平成31年2月27日(水)開催
  - ・カリキュラムセンター教職員12名出席
  - ・学外講師による講演と質疑応答
- 〇スチューデントサービスセンターFD「配慮が必要な学生の特徴と対応の理解」
  - · 平成30年12月25日(火)開催
  - 教職員27名参加
  - ・保健室、学生相談室職員から利用状況と要配慮学生の対応について情報共有
- 〇アドミッションセンターFD「高大接続改革に伴う外部英語検定試験の入試活用に向けた勉強会」
  - · 平成30年10月4日(木)開催
  - 関係教職員7名参加
  - ・学外講師による各大学での外部検定試験の導入事例の紹介と対応に関する意見交換
- OアドミッションセンターFD「主体性評価にどのように取り組むか」
  - ·平成30年12月5日(水)開催
  - ·関係教職員16名参加
  - ・学外講師による主体性評価導入のためのメソッド講習、質疑応答
- 〇アドミッションセンター、スチューデントサービスセンター、カリキュラムセンター共催FD

「新入生アセスメント結果報告」

- · 平成30年9月4日(金)開催
- 関係教職47名参加
- ・外部講師による講演と質疑応答
- 〇キャリア・インターンシップセンター F D 「若い人材育成の重要性を踏まえた高等学校キャリア教育 の現状と課題について」
  - 平成31年1月9日(水)開催
  - 関係教職員18名参加
  - ・学外講師による高等学校でのキャリア教育の事例検討、質疑応答
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

平成30年度前期末(7月~8月) および後期末(2月~3月) にウェブ上でアンケートを実施した。

- b 教員や学生への公開状況, 方法等
  - ・授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
  - ・授業評価結果を受け、各学群の教育課程における授業改善に向けた実施計画を学群長が作成。
  - ・上記の計画に基づき、令和元年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
  - ・授業評価アンケートの回答率の向上を図るとともに、学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

事業プランニング学類は、人間の行動原理、経済システムの挙動等に関する基本的理論を踏まえ、現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源の活用や新たな価値創造も志向することにより、効率的かつ持続的なビジネスモデルの構築と運営を担える人材を育成することを目的としている。

初年度は、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を展開し、偏りなく幅広い教養を身につけるとともに、 1年後期には「学類配属」の指針となる学群共通の専門基礎科目として「事業構想学総論」「地域活性化とビジネス」「地域社会・ 産業とデザイン」の3科目を開講するとともに、2年次進級時の「学類配属」を決定した。

2年目となる平成30年度は、学類での専門的な学びを学生自らが掘り下げ、2年後期には自らの専門性を踏まえたコース選択を行い、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力を養宝に身につけているところである。

ディプロマ・ポリシーで掲げる能力を着実に身につけているところである。 3年目となる令和元年度は、ゼミ配属となった指導教員の下で「事業プランニング演習Ⅰ・Ⅱ」といった科目を通してゼミでの学びが本格化する。ここでの学びをより充実させられるよう、平成30年度に新設したラーニングコモンズ等を積極的に活用するとともに、引続き学習環境の整備を行っていく。

全学のカリキュラムマネジメントは、引き続きカリキュラムセンターが学群・学類と連携しながらその中心を担い、科目担当教員には「成績評価に関するガイドライン」を示し、成績評価の厳格化に向けた取組としている。また、3つのポリシーに基づいた「カリキュラムマップ」を学生向けに提示するとともに、学生の授業評価に基づく授業改善計画書の提出・改善を継続して実施している。加えて、令和元年度の本格稼働を目指し、学生の学修成果を可視化するためのツール導入の準備を進めており、その基礎資料となるWeb上の授業評価の回答率を向上させる取組に着手している。

以上のように,設置計画に基づき,設置の趣旨・目的が実現できるよう,全学を挙げて不断の見直しを行い,着実に取組を進めて いるところである。

#### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表 (予定) 時期

- ・本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末 (25年3月) に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・令和元年度に第3期認証評価を受審予定であり、現在自己点検・評価報告書を(財)大学基準協会に提出したところである。

## b 公表方法

・本学ウェブサイトにて公表している。 http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html

### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。
- ・令和元年度に第3期認証評価を受審予定である。

### (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また,「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については,できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

# (5) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表 (予定) の有無 ( 有 )・ 無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2017年5月31日~現在)

- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人宮城大学

- (2) 大 学 名 **宮城大学**
- (3) 大学の位置

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ニシガキ マサル) <b>西垣 克</b> (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) <b>川上 伸昭</b> (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) <b>西垣 克</b> (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) <b>川上 伸昭</b> (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(カザミ ショウゾウ) <b>風見 正三</b> (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
事業構想学群 地域創生学類	経済学関係	年 4	60	年次 人 -	人 240	
学士 (地域創生学)	工学関係					

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
  - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象	年度	平原	戊2	7 4	年度	平	成 2	8年	度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和力	元年度		開設年度から報 告年度までの平	備考
区分		春季之	入学	その1	他の学期	春季	入学	その他	の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	均入学定員超過 率	ν <del>π</del> '73
			人		Y		人		人	Α,		7		7				入学時は、一部の選抜区分を除
A 入学定	昌				,					6			60		60			き、事業構想学群としての学群 一括入試のため、学群全体を各
/ ///~	_	(			)	_	(		)	(-	-		-)		<del>-</del> )			学類で按分して記載しており,
		[			]	[			]	[:	5]	_	5]		5]			2年次進級時に学類を決定して
										214	-	270	-	221	-			収容する。 なお,入学時に学類 が決定している学生は,AO入試
志願者数		(	)	(	)	(	)	(	)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			区分入学者8名である。(29)
		[	]	[	]	[	]	[	]	[2]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]			記載については前年と同様であ
										147	-	192	-	154	-			り, 入学時に学類が決定してい る学生は, AO入試区分入学者9
受験者数		(	)	(	)	(	)	(	)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1.05倍	-倍	名, 外国人留学生入試区分1名の 計10名である。(30)
		[	]	[	]	[	]	[	]	[2]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]			計10名である。(30)
										64	-	65	-	67	-			記載については前年と同様であ り、入学時に学類が決定してい
合格者数		(	)	(	)	(	)	(	)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			る学生は、A0入試区分入学者10
		[	]	[	]	[	]	[	]	[0]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]			名, 外国人留学生入試区分1名の 計11名である。(元)
										63	-	62	-	64	-			前111台でめる。(元)
B 入学者	数	(	)	(	)	(	)	(	)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		[	]	[	]	[	]	[	]	[0]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]			
入学定員超過 B/A	率									1.	05	1.	03	1.	08			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	7年度	平成 2	8年度	平成2	9 年度	平成 3	0 年度	令和法	元年度	備考
学	年	春季入学	その他の学期									
						63	-	62	-	64	-	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、事業構想学 群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[0]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]	載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。 なお、入学時に学類が決定している学生は、AO入試区分入学者8名
		( )	( )	( )	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)		である。(29) 記載については前年と同様であり,入学時に学類が決定している
								61	-	63	_	学生は、A0入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分1名の計10名である。(30)
	2 年次			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[0]	[-]	[1]	[-]	記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している 学生は、AO入試区分入学者10名、外国人留学生入試区分1名の計11
		_		( )	( )	( )	( )	(0)	(-)	(1)		名である。(元)
										60	-	
	3 年次					[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[0]	[-]	
						( )	( )	( )	( )	(0)	(-)	
	4 年次					/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
		_						( )	( )	( )	( )	
						6	3	12	23	1	87	
	計	[	]	[	]	_	0]	[	-	_	2]	
		(	)	(	)	(-	-)	((	0)	(	1)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

  - 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
     学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、 $\underline{\mathbf{84E}}$ の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数 うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
1 成20平皮	0 7	0 %	平成28年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成29年度	210 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成30年度	209 人	2 人	平成28年度	0 人	0 人	
十成50千皮	203 人	2 7	平成29年度	2 人	0 人	・他の教育機関への進路再考(2)
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
令和元年度	215 人	2 人	平成29年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			平成30年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

### 【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b)	· =	0	=	#DIV/0! %
【平成28年度】				
平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	- =	0	=	#DIV/0! %
【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	· =	210	=	0 %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	· =	209	=	0.95 %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	=	2 215	=	0.93 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

# 2 授業科目の概要

<事業構想学群 地域創生学類>

# (1) 一① 授業科目表

【認可	時又	は届	出時】
-----	----	----	-----

N Did	以可時又は届出時		į	单位数	<b>友</b>	車	<b>F任教</b>	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分	汉朱行石の石が	年次	W	+0	_	4777	教	ńΞ	±/-	<b>-</b>	兼
	宮城大学の知の体系	1前	修 2	択	由	授 1	授	師	教	手	担
	大学での学び入門	1前	1			'					1
	社会の中で生きる	1前	1			1					
	キャリアデザイン I	1後	1								1
	スタートアップ・セミナー	1前	2								1
	アカデミック・セミナー 地域フィールドワーク	1後 1前	2			1					1
	情報化社会と技術	1後	2			'					1
	データサイエンス入門	1前	2								1
	English Reading Skills I	1前	1								5
	English Self-Expression I	1前	1								5
	English Reading Skills II English Self-Expression II	1後 1後	1								5 5
	English for Academic Purposes I	2前	i								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic Purposes II	2後		1							3
	Extensive Listening	2後		1							3
	Practical English 中国語 I	2前 1·2前		1							ა 1
	中国語Ⅱ	1・2前		1							1
	韓国語 I	1・2後		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語 I ベトナム語 II	1·2休 1·2休		1							1
	Global Studies I	1・21木		2							1
	Global Studies II	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
基	全学自由ゼミ	1・2休		1							1
盤	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
教	世界の歴史と文化 東北の歴史と文化	1·2後 1·2後		2							1
育	音楽	1・2前		2							1
科目	美術	1・2後		2							1
	健康科学										_
	健康科子 スポーツ科学	1·2前 1·2前		2							3 1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学 現代社会の諸相	1·2前 1·2後		2							1
	憲法	1・2後		2							1
	社会と経済	1・2後		2							1
	数理科学	1・2前		2							1
	生命科学 環境科学入門	1・2前		2							1
	地球と宇宙	1·2後 1·2後		2							1
	数学概論	1・2前		2							1
	物理概論	1・2前		2							1
	化学概論	1・2後		2							1
	生物概論 基礎統計学	1・2後		2							1
	基礎就計子 日本語 I	1後 1前	2	1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語皿	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ日本事情Ⅱ	1前		2							1
	日本事情 II 小計(58科目)	1後		2							1
	フトロー (JOイナロ) コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2		1					
全	コミュニティ・プランナー実践論	2後		2		1					
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前		2		1					
共	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1
-35	学外研修	1・2休		2							1
通科	77119119										
通科目	פיו ועי דר ד										

# 【令和元年度】

		<b>=</b> 7	Ì	单位数	Ź	車	<b>፻</b> 任教	員等	の配	置	兼
科目		配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	授業科目の名称	年	æ,	ट		**	教	D <del>(T)</del>	19)	נענ	
-//		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
	宮城士労の切の仕る	, 24		1)(	Щ	_	1X	ווים	狄	丁	_
	宮城大学の知の体系	1前	2			1	ĺ				2
	大学での学び入門	1前	1								1
	社会の中で生きる	1前	1			1	1				3
	キャリアデザイン I	1後	1								2
	スタートアップ・セミナー	1前	2			0	1				7
	アカデミック・セミナー	1後	2			0	1				7
	地域フィールドワーク	1前	2			3	3				7
	情報化社会と技術	1後	2				- 1				5
	データサイエンス入門	1前	2				1				4
	English Reading Skills I	1前	1								6
	English Self-Expression I	1前	1								5
	English Reading Skills II	1後	1								5
	English Self-Expression II	1後	1								4
	English for Academic Purposes I	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic Purposes II	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1			1	l	l		i
	中国語 I	1・2前		1			1	l	l		2
Ī	中国語Ⅱ	1・2前		1			Ī				2
	韓国語I	1・2後		1			1	l	l		1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1			1	l	l		1
	ギロ品 I ベトナム語 I	1・2依		1			1	l	l		1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1			1	l	l		1
	Global Studies I	1・21本		2			1	l	l		1
	Global Studies I	1・2後									-
				2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
基	全学自由ゼミ	1・2休		1		1	1				4
盤	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
教	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
育	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
科	音楽	1・2前		2							1
目	美術	1・2後		2							2
-	アートサイエンス概論	1前		1							7
	総合芸術	1集中		-1							6
	健康科学	1・2前		2							5
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1-2前		2							1
	心理学	1-2前		2							2
	現代社会の諸相	1・2後		2			1	l	l		1
	憲法	1・2後		2			1	l	l		1
	社会と経済	1・2後		2			1	l	l		1
	数理科学	1・2前		2			1	l	l		1
	生命科学	1・2前		2			1	l	l		1
	環境科学入門	1・2後		2			1	l	l		2
	地球と宇宙	1・2後		2			1	l	l		ō
	数学概論	1・2前		2			l <b>'</b>	l	l		3
	物理概論	1・2前		2			1	l	l		2
	化学概論	1・2制		2			1	l	l		
	生物概論	1・2後					1	l	l		2
		1·2後 1後	_	2				l	l		3
	基礎統計学		2	4			1	l	l		3
	日本語Ⅰ	1前		1			1	l	l		1
	日本語Ⅱ	1後		1			1	l	l		1
	日本語皿	2前		1			1	l	l		1
	日本語Ⅳ	2後		1			1	l	l		1
	日本事情I	1前		2			1	l	l		1
	日本事情Ⅱ	1後		2			ļ				1
	小計(60科目)	L					ļ				
	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2		2	4	l	l		7
全	コミュニティ・プランナー実践論	2後		2		1	4	l	l		7
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前		2		1	4	l	l		6
共	グローバルインターンシップ	1・2休		2			1	l	l		1
通	学外研修	1・2休		2			1	l	l		1
科	産学連携講座 I	1-2通		l	1	0	1	l	l		1
目	産学連携講座Ⅱ	1・2通			1		0				1
	小計(7科目)										
	. —									. —	

専門基礎科目	事地地地ビミ地デ応キイ法経マ社数キ消ゲ地多キイキ・ 構活性を強減域ジロ域ー用ヤン学営ク会理ヤ費ー理変ヤンヤ計 標活性会・策スを語す統プとの場合を関いている概学とととによるでは、といるでは、といるでは、といるでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	14後後前前前前前前前後後後後後前前前前前後 - 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1	2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 1 1 2		1	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	専門基礎科目	事地地地ビラ地デ応キイ法とフセスを 業活活会では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2	0 1 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	1	0	1 0 1 1 1 0 1 3 5 1 1 1 1 3 1 1 1 1 3 5 3 1
専門科目	小地地国都行社地都地コ地地地行社地計環水災交景環災地防経マ会金経ビ販会経人経ロマei企現ブリ税C民公商建知建構材建生ユ水町域域土市政会域市方□域域域政会域量境資害通観境害区災営一計融営ネ売計営的営ジーゲ業代ラス務S法法築的築造料築活ニ理と資社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	   2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 2 3 3 3 3		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1 1			科	小地地国都行社地都地コ地地地行社地計環水災交景環災地防経マ会金経ビ販会経人経ロマビ企現プリ税C民公商建知建構材建生ユ水川域域土市政会域市方三域域域政会设置境資害通観境害区災営一計融営水元計営的営ジージ業代ランク系R法法築的築造料築活ニュ理公資社・と学的交計自二産環福評起分経心源の計工衛の街で学論組ス促学財資情ステネ会企ンク会・会・法財史力学計環ニ学や源会域化、支援・対策を開発・工権の経済・大学・大派画治テ業境祉価業析済理利科画学生科区画略テ概・織セ進・務源報ティス計業イネ計経・会・法財史力学計環ニ学・経済・対・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・経済・	222333333344444423333333333442222222333333		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 0 1 1 1 1 1 1 0 0 1 1 0 0	1 1 1	1 1		1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

専門科目	構造力学順構建かに 建構を主技術 建構を発力学のでは を受けるできる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	1			1 1 1 1 1 1 1 1
	小計(70科目)	-							
卒業研究	地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 小計(4科目)	3前 3後 4前 4後 -	2 2 2 4		5 5 5 5	1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	
	合計(161科目)	-							

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目について、地域政策コースは20単位、地域科学コースは

716単位の履修が必要となる。 関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない

・、 全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論、コミュニティ・プランナーフィールド ワーク演習、加えて他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超

んるもの については関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

専門科	構造力学Ⅱ 建築工機構造 施築工技設備 建造出力学演習 地盤エリアデザイン 建築コスト	3 後後後後後前前		2 2 2 2 1 2 2 2		1		1 1 1 1 1
専門科目	建築設備 構造力学演習 地盤工学	3後 3後 3後		2 1 2	0	1		1 1 2 1 1 1 1
	小計(70科目)							
卒業研究	地域創生演習 I 地域創生演習 II 卒業研究 I 卒業研究 I 小計(4科目)	3前 3後 4前 4後	2 2 2 4		4 4 4	5 5 5 5	 0 0 0	
合計	(165科目)	-						

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目について、地域政策コースは20単位、地域科学コー スは

716単位の履修が必要となる。 関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない

・、 全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論、コミュニティ・プランナーフィールド ワーク演習、加えて他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超

へのもの については関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

【平成29年度】

		配	į	单位数	ţ	車	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任 ·
ட்		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1								1
	社会の中で生きる キャリアデザイン I	1前 1後	1			1					
	スタートアップ・セミナー	1仮 1前	1 2			1	2	1			1
	アカデミック・セミナー	1後	2			i.	2	i i			2
	地域フィールドワーク	1前	2			3	2	•			į
	情報化社会と技術	1後	2								
	データサイエンス入門	1前	2								
	English Reading Skills I	1前	1								4
	English Self-Expression I English Reading Skills II	1前 1後	1								
	English Self-Expression II	1後	1								
	English for Academic Purposes I	2前	i								į
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								
	English for Academic Purposes II	2後		1							
	Extensive Listening	2後		1							
	Practical English	2前		1							
	中国語 I 中国語 II	1・2前 1・2後		1							
	韓国語 I	1・2前		1							
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							
	ベトナム語 Ι	1・2休		1							
	ベトナム語 Ⅱ	1・2休		1							
	Global Studies I	1・2前		2							
	Global Studies II Intercultural Communication	1・2後		2							
	全学自由ゼミ	1·2前 1·2休		2							
基	日本の歴史と文化	1・2前		2							
盤教	世界の歴史と文化	1・2後		2							
育	東北の歴史と文化	1・2後		2							
科	音楽	1・2前		2							
目	美術	1・2後		2							
	アートサイエンス概論 総合芸術	1前 1集中		1							
	健康科学	1・2前		2							
	スポーツ科学	1・2前		1							-
	スポーツ実技	1・2前		1							
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							-
	現代社会と哲学	1・2前		2							
	人と宗教 心理学	1·2前 1·2前		2							
	現代社会の諸相	1・2後		2			1				
	憲法	1・2後		2			•				
	社会と経済	1・2後		2							
	数理科学	1・2前		2							
	生命科学	1・2前		2							
	環境科学入門 地球と宇宙	1·2後 1·2後		2			1				
	数学概論	1・2版		2			l				ľ
	物理概論	1・2前		2							
	化学概論	1 - 2前		2							
	生物概論	1 - 2前	1	2							
	基礎統計学	1後	2				1				
	日本語 I 日本語 II	1前 1後		1							
	日本語Ⅲ	1伎 2前		1							
	日本語Ⅳ	2後		1							
	日本事情 I	1前		2							
	日本事情Ⅱ	1後		2							
	小計(60科目)	-		L							_
	コミュニティ・ブランナー概論及び演習	2前		2		1					
全学	コミュニティ・プランナー実践論コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	2後		2		1					
子共	グローバルインターンシップ	3前 1·2休		2		1					
通	学外研修	1・2休		2							-
科		-,,		_							
目											
	小計(5科目)	_									

【平成30年度】

	花30年度】	配	<u> </u>	单位数	女 文	専	<b>厚任教</b>	[員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分		华次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼扣
	宮城大学の知の体系	1前	2	<i>3</i> (		1	,,,,				2
	大学での学び入門	1前	1								1
	社会の中で生きる キャリアデザイン I	1前	1			1	1				3
	スタートアップ・セミナー	1後 1前	1 2			1					1 5
	アカデミック・セミナー	1後	2			i	2				5
	地域フィールドワーク	1前	2			3	4				5
	情報化社会と技術	1後	2				1				5
	データサイエンス入門	1前	2				1				4
	English Reading Skills I	1前	1								6
	English Self-Expression I	1前	1								4
	English Reading Skills II English Self-Expression II	1後 1後	1								5
	English for Academic Purposes I	2前									5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								4
	English for Academic Purposes II	2後	•	1							1
	Extensive Listening	2後		1							- 1
	Practical English	2前		1							1
	中国語 I	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2前		1							1
	韓国語 I 韓国語 II	1·2後 1·2後		1							1
	ギロ品 I ベトナム語 I	1・2依		1							
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies II	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
基	全学自由ゼミ	1・2休		1		1					2
盤	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
教	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
育	東北の歴史と文化 音楽	1·2後 1·2前		2							1
科	美術	1・2削		2							2
目	アートサイエンス概論	1前		1							9
	総合芸術	1集中		i							8
	健康科学	1・2前		2							
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学 人と宗教	1・2前 1・2前		2							1
	ハと示教 心理学	1・2前		2							2
	現代社会の諸相	1・2後		2							1
	憲法	1・2後		2							1
	社会と経済	1・2後		2							1
	数理科学	1・2前		2							1
	生命科学	1・2前		2							1
	環境科学入門	1・2後		2			4				2
	地球と宇宙 数学概論	1·2後 1·2前		2			1				3
	物理概論	1・2前		2							3
	化学概論	1・2後		2							2
	生物概論	1・2後		2							3
	基礎統計学	1後	2				1				3
	日本語 I	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語皿	2前		1							1
	日本語IV 日本事情 I	2後		1							1
	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	1前 1後		2							1
	小計(60科目)	- (友									<del> </del>
	フトロー (OUイキロ) コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2		2	4				6
全	コミュニティ・プランナー実践論	2後		2		2	4				6
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前		2		2	4				6
共	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1
通	学外研修	1・2休		2							2
科	産学連携講座 I	1・2通			1	1	١				1
目	産学連携講座Ⅱ	1-2通			1		1				2
	小計(7科目)										

専門基礎科目	インター 大法経マクー 大法経マクー 大学営ロの調計学 をでする。 大会では、 、 大会では、 、 大会では、 大会では、 大会では、 大会では、 大会では、 大会では、 大会では、 大会では、 大きな 、 大会では、 、 大会では、 、 大きな 、 、 大きな 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1後後後前前前前前前後後後後後前前前 201 201 201 201 201 201 201 201 201 201	2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1		1	0	1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	専門基礎科目	事地域社域が大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大	1後後前前前前前後後後後後前前前前 201 201 201 201 201 201 201 201 201 201	2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	2 2 2 2 2 2 2 2	0 1 0 1 1 0 0 1 1	1 1 1 1 1	1	0	1 0 1 1 0 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
	多変量解析 キャリア開発 II インターンシップ II キャリア開発 III	3前 3前 3前 3後	1	2	2				1 1		多変量解析 キャリア開発 Ⅱ インターンシップ Ⅱ キャリア開発Ⅲ 小計(24科月)	3前 3前 3前 3後	1	2	2 1 1	1			1 3 1
■ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	会計学概論 金融論	2223333333344444233333333344222223333333		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1 1			専門科目	小地地国都行社地都地コ地地地行社地計環水災交景環災地防経マ会金経ビ販会経人経ロマービ企現プリ税C民公商建知建構材建生ユ水水のでは、「大型では、大型では、「大型では、大型では、「大型では、大型では、「大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、	   222333333344444423313333334442222233333333		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1 1		1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

	構造力学Ⅱ	3後		2					1
I				_					
	建築一般構造	3後		2					-
	施行技術	3後		2					1
	建築設備	3後		2					1
専	構造力学演習	3後		1					1
門門	地盤工学	3後		2		1			
科	インテリアデザイン	4前		2					1
目	建築コスト	4前		2					1
1 "	耐震設計法	4前		2					1
	ファシリティマネジメント	4前		2					1
	サスティナブルデザイン	4前		2	1				
	測量	4前		2		1			1
	小計(70科目)	-							
**	地域創生演習 I	3前	2		4	4	1	0	
卒業	地域創生演習 Ⅱ	3後	2		4	4	1	0	
莱	卒業研究 I	4前	2		4	4	1	ō	
研究	卒業研究Ⅱ	4後	4		4	4	1	Ö	
九	小計(4科目)	_							
	合計(163科目)	-							

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単 位(年間))

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目について、地域政策コースは20単位、地域科学コー

16単位の履修が必要となる。

関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない

、 全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論、コミュニティ・プランナーフィールド ワーク演習、加えて他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超

へるのい については関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

	構造力学Ⅱ	3後		2					-1
									!
	建築一般構造	3後		2					1
	施工技術	3後		2					1
	建築設備	3後		2					1
<b>+</b>	構造力学演習	3後		1					1
専門	地盤工学	3後		2		1			
	インテリアデザイン	4前		2					1
科目	建築コスト	4前		2					1
l H	耐震設計法	4前		2					1
	ファシリティマネジメント	4前		2					1
	サスティナブルデザイン	4前		2	1				
	測量	4前		2		1			1
	小計(70科目)	-							
*	地域創生演習 I	3前	2		4	5	1	0	
卒業	地域創生演習Ⅱ	3後	2		4	5	1	0	
研	卒業研究 I	4前	2		4	5	1	0	
究	卒業研究Ⅱ	4後	4		4	5	1	0	
九	小計(4科目)	-							
合計	†(165科目)	-							
44 34	無併及が屋板七汁								

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。 基幹科目は自コースの基幹科目について、地域政策コースは20単位、地域科学コー スは

16単位の履修が必要となる。

関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できない

全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論、コミュニティ・プランナーフィールド ワーク演習、加えて他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超 えるもの

へのもい 「こついては関連科目としてみなすことができる。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を

黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている</u>箇所は**太字の赤字**としてください。

- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)

#### 【平成29年度】

- ・カリキュラムセンター教員の異動により、「大学での学び入門」の担当者を変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」の担当者を変更 ・「キャリアデザイン I」については、専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更
- ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任4」に追加
- (「教授1」「准教授2」「講師1」) ・少人数教育実施のため、「アカデミック・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任4」に追加 (「教授1」「准教授2」「講師1」)
- ・学外での演習を伴うため、 「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任0」から「兼任5」に追加 (「教授3」「准教授2」)
- ・複数クラス開講のため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼任1」から「兼任5」に追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため担当者を変更、また、複数クラス開講のため、「データサイエンス入門」の担当者を「兼任1」か ら「兼任5」へ追加
- ・新規教員採用に伴う担当者変更,産休による担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため,「English Reading Skills I」は「兼任5」 から「兼任4」へ減
- ・産休による担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため,「English Self-Expression I」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- ・新規教員採用に伴う担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため,「English Reading SkillsII」は「兼任5」から「兼任3」へ減
- ・産休による担当者変更,クラス数の滅に伴う担当者の滅のため,「English Self-Expression II」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- 時間割編成に伴い、「中国語 I 」は、担当者を変更
- ・「中国語Ⅱ」は、履修の順序性を考慮し、配当学期を「1・2前」から「1・2後」へ変更、また、時間割編成に伴い担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「韓国語 I 」は、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- ・「全学自由ゼミ」は、事業構想学研究科 副研究科長へ担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「日本の歴史と文化」は、担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、 「東北の歴史と文化」は、担当者を変更
- 時間割編成に伴い、「音楽」は、担当者を変更
- ・オムニバス科目への変更に伴い、「美術」は、「兼任1」から「兼任3」へ担当者を追加
- ・複数領域にまたがる芸術等講義科目「アートサイエンス概論」を追加開講(「兼任9」)
- 芸術等科目の実習科目「総合芸術」を追加開講(「兼任8」)
- 時間割編成に伴い。 「健康科学」は、担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「現代社会と哲学」は、担当者を変更 ・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」は、担当者を変更
- ・時間割編成に伴い、「心理学」は担当者を変更
- ・「現代社会の諸相」は「兼担1」から「専任1(准教授1)」へ変更
- 新規専任教員採用に伴い、「憲法」は担当者を変更
- ・ 新規専任教員採用に伴い, 「数理科学」は担当者を変更
- ・オムニバス科目への変更に伴い、「環境科学入門」は担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「地球と宇宙」は「兼担1」から「専任1(准教授1)」へ変更
- ・「数学概論」は,新規専任教員採用に伴い担当者を変更,また,複数クラス開講のため担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加
- ・複数クラス開講のため、「物理概論」は、担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「化学概論」は,履修の順序性を考慮し,配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更,また,時間割編成に伴い,担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「生物概論」は配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- ・複数クラス開講のため、「基礎統計学」は、担当者を「兼任1」から「専任1 (准教授1)」「兼任3」へ追加・留学生対象科目のため、「日本事情 I 」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- ·留学生対象科目のため、「日本事情Ⅱ」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- 「事業構想学概論」は, 「専任1(教授1)」から「兼担1」へ変更
- ・クラス数の滅に伴い、「地域活性化とビジネス」は担当者を「華任1」から「兼任0」へ減・クラス数の滅に伴い、「地域活性化とビジネス」は担当者を「専任1(教授1)」から「専任0」へ減・物部助教退職に伴い、「地理情報分析」は、高橋准教授へ担当者を変更(「助教1」から「准教授1」)
- ・専任教員の変更に伴い,「地域創生演習Ⅰ」は,担当者を「教授5」→「教授4」,「准教授1」→「准教授4」,「助教1」→「助教0」へ 変更 ・専任教員の変更に伴い、「地域創生演習Ⅱ」は、担当者を「教授5」→「教授4」、「准教授1」→「准教授4」、「助教1」→「助教0」へ
- 変更
- ・専任教員の変更に伴い、「卒業研究 I 」は、担当者を「教授 5 」→「教授 4 」、「准教授 1 」→「准教授 4 」、「助教 1 」→「助教0」へ変更
- ・専任教員の変更に伴い,「卒業研究Ⅱ」は,担当者を「教授5」→「教授4」,「准教授1」→「准教授4」,「助教1」→「助教0」へ変更

### 【平成30年度】

- ・学群長変更により、「宮城大学の知の体系」の担当者を「吉田俊子」から「原玲子」へ変更
- ・少人数教育実施のため、「社会の中で生きる」の担当者を藤澤由和、石田祐、菅原謙、三好俊文、仲宗根卓
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため,「スタートアップ・セミナー」の担当者を佐々木秀之,石内鉄平,舟引敏明,徳永幸之,山本ま ゆみ、伊藤真市、内田直仁、弓谷行宏に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を佐々木秀之、石内鉄平、舟引敏明、徳永幸之、山本まゆ み、伊藤真市、内田直仁、弓谷行宏に変更
- 学外での演習を伴うため、 「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春,風見正三,平岡善浩,佐々木秀之,舟引敏明,千葉克己,安齋由貴 子, 大熊恵子, 高橋信人, 石田祐, 風間逸郎, 中沢峻に変更
- ・クラス数の見直しのため、「情報化社会と技術」の担当者を茅原拓朗、富樫敦、須栗裕樹、秋月治、萩原潤、高橋信人に変更
- ・クラス数の見直しのため、「データサイエンス入門」の担当者を三浦幸平、富樫敦、須栗裕樹、萩原潤、石内鉄平に変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Reading Skills I」の担当者を「兼任4」から「兼任6」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、 「English Self-Expression I」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加
- 「English Reading Skills II」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加 クラス数の見直しのため、
- 「English Self-Expression II」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加「English Self-ExpressionII」の担当者を「兼任5」から「兼任4」へ減 クラス数の見直しのため、
- クラス数の見直しのため、
- クラス数の見直しのため、 「English for Academic Purposes II」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減「Extensive Listening」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減「Practical English」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減
- クラス数の見直しのため、
- クラス数の見直しのため、
- クラス数の見直しのため、 「全学自由ゼミ」の担当者を藤澤由和、三好俊文、川村保に変更
- ・クラス数の見直しのため, 「美術」の担当者を「兼任3」から「兼任2」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加・クラス数の見直しのため、「心理学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「現代社会の諸相」の担当者を「石田祐」から「菅原謙」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「化学概論」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加・クラス数の見直しのため、「生物概論」の担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- 学外での演習を伴うため、 「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大 熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・学外での演習を伴うため,「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三,郷古雅春,平岡善浩,桂晶子,河西敏 幸,高橋信人,大熊恵子,佐々木秀之,千葉克己,石田祐,安齋由貴子,中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・学生に有益な産学連携科目である。「産学連携講座 I 」を追加開講(専任1、兼任1) ・学生に有益な産学連携科目である。「産学連携講座 I 」を追加開講(専任1、兼任1)
- ・少人数教育実施のため、「地域活性化とビジネス」の担当者を風見正三、石田祐へ変更・クラス数の見直しのため、「地域政策概論」の担当者を「専任2」から「専任1」へ減
- ・専任教員の変更に伴う担当者の変更「地域調査法」の担当者を「兼任1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅠ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、内田直仁、鈴木優、庄司貞雄へ変更
- ・少人数指導教育実施のため、「マクロ経済学」の担当者を糟谷昌志、板明果へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「社会調査法」の担当者を精谷昌志へ変更 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「数理計画」の担当者を徳永幸之へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更
- ・H29年度に高橋信人准教授に変更したが、誤って「講師」欄に数値を記載していたため、修正
- キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を風見正三、高貝浩也へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため,「インターンシップⅡ」の担当者を藤澤由和,石内鉄平,内田直仁,鈴木優,庄司貞雄へ変更
- キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発III」の担当者を風見正三、高貝浩也へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域資源論」の担当者を佐々木秀之、三好俊文へ変更 ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域社会学」の担当者を「兼任1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・少人数教育実施のため、「地域分析学」の担当者を石内鉄平、板明果へ変更・高力教授の退職に伴い、「マーケティング」の担当者を都世蘭、高山純人へ変更
- 高力教授の退職に伴い。 「販売促進」の担当者は後任が未定
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、 「地域創生演習Ⅰ」の担当者を風見正三,藤澤由和,佐々木秀之,石田祐,舟引敏明,郷古雅春,千 葉克己、板明果、高橋信人、石内鉄平へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域創生演習Ⅱ」の担当者を風見正三、藤澤由和、佐々木秀之、石田祐、舟引敏明、郷古雅春、千 葉克己、板明果、高橋信人、石内鉄平へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「卒業研究Ⅰ」の担当者を風見正三、藤澤由和、佐々木秀之、石田祐、舟引敏明、郷古雅春、千葉克 己、板明果、高橋信人、石内鉄平へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため,「卒業研究Ⅱ」の担当者を風見正三,藤澤由和,佐々木秀之,石田祐,舟引敏明,郷古雅春,千葉克 己, 板明果, 高橋信人, 石内鉄平へ変更

#### 【令和元年度】

- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインI」の担当者を田邉信之、宮崎良徳へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、 川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川 井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
- 時間割編成に伴い、 「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊 恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川島滋和、中沢峻へ変更

- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression I」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明へ変更・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
- ・時間割輪成に行む、「出場にあいる日本によりである。」の「正当日というに、いった。 ・クラス数の見直しのため、「中国語 I」、「中国語 II」の担当者を兼任1から兼任2へ追加 ・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を田場合之、金子浩一、郷古雅春、佐々木秀之、中田千彦、鈴木優へ変更
- ・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を「兼任9」から「兼任7」へ減・クラス数の見直しのため、「総合芸術」の担当者を「兼任8」から「兼任6」へ減・クラス数の見直しのため、「総合芸術」の担当者を「兼任3」から「兼任2」へ減

- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更

- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 I 」の担当者を「専任(教授)1」から「専任(教授)0」へ減 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 II 」の担当者を「専任(准教授)1」、「兼任2」から「専任(准教授)0」、「兼任1」へ減
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインII」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップI」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小 地沢将之へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、 「キャリア開発Ⅰ」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
- ・金子孝一の退職に伴い、「消費者心理学」の担当者を勅使河原晃司へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更、クラス数の見直しのため、「多変量解析」の担当者を「専任(教授)2」から「兼任1」へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発II」の担当者を田邉信之、高月浩也、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅡ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小 地沢将之へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、 「キャリア開発Ⅲ」の担当者を田邉信之、高貝浩也、庄司貞雄へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「都市と文化」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更
- ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地方自治」の担当者を「兼任1」から「専任(准教授)1」へ変更・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「交通計画」の担当者を「専任(教授)1」から「兼任1」へ変更
- ・岩堀恵祐の退職に伴い、「環境衛生工学」の担当者を西哲夫へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「地区・街区計画」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「マーケティング」の担当者を大嶋淳俊、高山純人へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「ビジネスプロセスマネジメント」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、後任未定となっていた「販売促進」は高山純人が担当
- ・新規教員の採用に伴い、「会計学」の担当者を坂本眞一郎から絹村信俊へ変更 ・新規教員の採用に伴い、「経営情報管理」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
- ・金子孝一の退職に伴い、「マーケティングリサーチ」の担当者を勅使河原晃司へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「eビジネス」の担当者を藤原正樹から大嶋淳俊へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「企業会計」の担当者を坂本眞一郎から絹村信俊へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「民法」の担当者を篠塚功照から仲宗根卓へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「公法」の担当者を稲村健太郎から仲宗根卓へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「商法・会社法」の担当者を坂本眞一郎から仲宗根卓へ変更 ・時間割編成に伴い、「建築法規・環境法規」の担当者を佐藤和裕から増田豊文へ変更
- ・少人数教育実施のため、「材料学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・少人数教育実施のため、「ユニバーサルデザイン」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- 時間割編成に伴い、 「施工技術」の担当者を福地一彦から横山泉へ変更
- ・少人数教育実施のため、「インテリアデザイン」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- 「サスティナブルデザイン」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更 ・新規教員の採用に伴い、
- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 授業科目数

			Ī	设置時	の計画							変更	状況				備考
必	修		選択	5	自由 計(A) 必修 選		R	自	由	計		1					
36	科目	1	125	科目	0	科目	161	科目	36	科目	127 [	科目 2]	2	科目 2]	165 [	科目 4]	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

# 3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内			7	3					備考
(1)	Σ	区 分		専	用	共	用		共用する 学校等の				āt		備考
	校	舎敷均	t		66, 769 m			-			-			66, 769 m²	
校	運	動場用地	<u>h</u>		26, 661 m			-			-			26, 661 m²	
地	小	ā-	t		93, 430 m			-			-			93, 430 m²	
等	7	· の 他	<u>t</u>		598, 964 m			-			-		5	98, 964 m <sup>2</sup>	
	合	ī.	ł		692, 394 m			-			-		6	92, 394 m <sup>2</sup>	
				専	用	共	用		共用する 学校等の				<del>ill</del>		
(2) 校		舎			60, 137 m			-			-			60, 137 m²	
					, 137m²)	(	- )	(		)			0, 137m <sup>2</sup>		
	_			講義室	演	習室	実験実習	<u>室</u>	情報	処理学習		話	等学習:		施設改修のため(29)(30) ラーニング・コモンズ新設に伴
(3) 教	室	等		28 25 28 27	7 室	35 <del>36</del> 室	37 3	1 33 32 室	/ 1-b r	14 TM S	4 6 室	/ Auto	n. 144 B		う施設利用見直しのため(30) 施設利用の実態に合わせた見直 しのため(元)
					<b>东亚学</b>	第の夕称		1	(補助	助職員 	人)	数	助職員	1人)	CO/E® (JC)
					事業構想学群 事	『等の名称 	学類	+		室 14 1	6	ЯX		室	施設利用方法の見直しのため
(4) 専任	E教員研究	室				地域創生学類		1		14 4				室	(29) 施設利用方法の見直しのため
					事業構想学群 価			+		15 14				室	(元)
				図書		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1							
(5)	新設学 の名		(	うち外国書〕	〔うち	外国書〕	電子ジャー	ナル	視聴的	党資料	機械	・器具	標	本	
	074	ተጥ			<del>m</del>	種	〔うち外国	書〕		点		点		点	
_				128, 080 [17, 246]	2, 398	(453) (460)		3 (5, 527) 3 (5, 087)	5, 1	260					
				131, 373 (16, 93	39) 3, 268	<del>(630)</del> <del>(996)</del>	<del>16, 172</del>	(13, 595) (15, 700)	5, 1 5, 1	1 <del>30</del> 084					蔵書見直しのため(29)(30)(元)
図	事業構想	想学群		(127, 265 (17, 0)	(2, 396	[453])	(6	858 (5 527) )	(5,						
書・				(126, 018 (16, 85 - (123, 805 (16, 55 - (101, 654 (15, 91	<del>(61</del>	3) ) (3, 250 5) ) -(756) )	-(16.	,538 (5,087) ) 172 (13,595) ) 000 (15,700) )		<del>)99)</del> <del>)05)</del> <del>722)</del>	(	)	(	)	電子ジャーナルについては、タ
設 =					2, 398	(453)		3 (5, 527)	5, :						イトル数の数え方について再検 討したため。(H29学術基盤実態 調査より)
νrs				128, 080 [17, 24 131, 373 [16, 93	39) 3, 268	(460) (630) (996)	<del>16, 172</del>	3 (5, 087) (13, 595) (15, 700)	5, 5, 1	1 <del>30</del>					四月豆 ひ リノ
	計	-		(127, 265 (17, 0	(2, 396	(453))		. 858 (5, 527)	(5,	180)					
				(126, 018 (16, 85 (123, 805 (16, 55 (101, 654 (15, 91	(2, 390 [45 (61	3) (3, 250 5) )	-(6 -(16,	, 538 (5, 527) ) , 538 (5, 087) ) 172 (13, 595) ) 000 (15, 700) )	-(5, 4 -(4, 1	)99) )05)	(	)	(	)	
					-(4, 111	(756)			(4,	<del>722)</del>			_		
(G) M	書	600		面	積		閲覧座席	5 数	010	収	納	可能	: <del>m</del>	数	
(6) 🗵		館			3,	136m²			318 304 300					274, 889	大学全体 レイアウト見直しのため (29) (元)
				面	積			体育館以	外のスポ-	_ −ツ施設の	概要				(20) (30)
(7) 体	育	館					テニスコー					リアルホ	ール		
					4, 8	397mi	トレーニン								大学全体
			区	分	開設年度	完成年度	区	分	開設和	前年度	開設	年度	完	成年度	
															数昌11 坐た11 II の本は数点を増
(8)	経費の見	教員	1 人当	り研究費等	231 <del>247</del> 千円	24	7千円 図書購	入費	6	6, 728千円		64, 426	6	6, 728千円	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しの ため(29)
	積り										56	<del>, 728</del> 千円			図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29)
経費の	見	共同	II FI	究 費 等	51,000千円	51, 000	0千円 設備購	1 典	Ε.	1,776千円		41, 639		1 776 <b>エ</b> ጦ	設備購入費は平成29年度予算編
積り及 維持方	び 法	77 F		孔 黄 寺	第2年次	l	第3年次	第4年	<u> </u>		51 5 年次	<del>, 776</del> 千円	第6:		成に伴うもの(29)
の概	字生 1	I 人当り 付金	-	県内 818千円				A7 T		<i>*</i> 77	- 1%	_	A1 0 .		
	-		県	外 1,100千円		5千円	535千円		535千円						
		学生納·	付金以外の	の維持方法の概念	サ 大学の維	持運営に当たっ	て、学生納付金で	下足する経済	費について	は, 宮城!	県の運営	費交付金	等を充当	<b>áする</b> 。	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の
  - 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4. 既設大学等の状況

大学の名称	宮城	大学								備考
ステッコが	L -7%						定員変更			<u>ин **7</u>
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 (AC期間 の学科の み)	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
事業構想学部			, ,		<b>#</b> 4			平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 学生募集停止
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業 計画 学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザ イン 情報 学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
食産業学部								平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	平成29年度より 学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
看護学群					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護 学)	1. 04	-	平成9年度	—	平成29年度より 看護学科から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
<u>事業構想学群</u>					学士			平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
事業プランニング学類	4	60	-	240	字 <sub>工</sub> (事業 プラン ニング 学)	1. 05	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除
<u>地域創生学類</u>	4	60	-	240	学士 (地域 創生 学)	1. 05	-	平成29年度	同上	き、事業構想学群としての学群一 括入試のため、学群全体を各学類 で按分して記載しており、2年次 進級時に学類を決定して収容す
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値 創造 デザイ ン学)	1. 06	-	平成29年度	同上	3.
<u>食産業学群</u>								平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産 業学)	1. 04	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除 き、食産業学群としての学群一括 入試のため、学群全体を各学類で
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産 業学)	1. 04	-	平成29年度	同上	大試のため、学科室体を各字類で 按分して記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容する。

大学の名称	宮城	大学大学	院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入 学定 員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所 在 地	
看護学研究科 看護学専攻	年	,	年次	,	<i>t</i> - 1	倍			宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士 (看護 学)	0. 83	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護 学)	0. 75	-	平成22年度	同上	
事業構想学研究科 事業構想学専攻									宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業 構想 学)	0. 53	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業 構想 学)	0. 67	-	平成20年度	同上	
食産業学研究科 食産業学専攻									宮城県仙台市太白区旗立2丁目2番1号	
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産 業学)	0. 60	-	平成21年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産 業学)	0. 42	-	平成25年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)( $\underline{AC対象学部等含む}$ )について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - 場合を含めより。履修工の区方としてコース・等数を設けている場合は含めません。 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上 の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

### 5 教員組織の状況

### <事業構想学群 地域創生学類>

### (1)一① 担当教員表

		担当教員表は届出時】	[亚:	龙29∶	<b>年度</b> 】	[ <u>w</u> =	戊30:	<b>年度</b> 】	「全	和元年	度】
専任・	リドサスト		専任・	% Z 9 :		専任・	, J U		専任・	かいして	1
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	<b>風見 正三</b> (57) < 平成29年4月 >	専	教授	<b>風見 正三</b> (57) < 平成29年4月 >	専	教授	<b>風見 正三</b> (58) <平成29年4月>	専	教授	風見 正三 (59) 〈平成29年4月〉
		地域創生演習 I 地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業報所究 I 卒業報研究 I 卒業研究の I の体系 地域フィールドワーク ココ 演え ユニティ・ブランナー 実践論 ココニティ・ブランナーフィー 地域或政策を はな政策を はな政策を はないない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない			地域劇生演習 I 地域創生演習 I 地域創生演習 I 中東			キャリアデザイン  「キャリア開発II キャリア開発II キャリア開発II 地域製生演習 I 地域製生演習 I 中卒宮城大学のルル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			一兼担 田邉信之に記載 一兼担 田邉信之に記載 一兼担田 田邉信之に記載 一兼担田 田邉信之に記載 地域部生演習 I 年年 中央 で
専	教授	精谷 昌志 (49) <平成29年4月>	*	教授	藤澤 由和 (48) <平成29年4月>	*	教授	藤澤 由和 (49) <平成29年4月>	*	教授	藤澤 由和 (50) <平成29年4月>
								社会の中で生きる 全学学機構座 I 地域調査法 インターンシップ I インターンシップ I 地域社会学			社会の中で生きる 全学自由ゼミ 産学連携課度 I 地域調査法 インターンシップ I インターンシップ I 地域社会学
		地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I			地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 本等研究 I 種谷 昌志			地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I			地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I
		応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法	兼担	教授	(49) <平成29年4月> 応用統計処理 地域福祉政策 社会調査法			→専 石内鉄平に記載 →兼担 糟谷昌志に記載 →兼担 糟谷昌志に記載			
専	教授	多変量解析   徳永 幸之   (57)   <平成29年4月 >	*	准教授	多変量解析 佐々木 秀之 (41) 〈平成29年4月〉	*	准教授	<ul><li>→兼担 精谷昌志に記載</li><li>佐々木 秀之 (42)</li><li>(47)</li><li>(47)</li><li>(47)</li></ul>		准教授	佐々木 秀之 (43) 〈平成29年4月〉
		地域創生演習 I 地域創生演習 I 空楽研究 I 卒楽研究 I			地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 地域フィール・ピーク コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー 地域方 地域前生演習 I 地域前生演習 I 年来研究 I			一学群共通科目による担当変更 一学群共通科目による担当変更 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー疾論 フミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドガラ 地域割生演習 I 地域割生演習 I 卒業研究 I を学自由ゼミ
		社会の中で生きる	*	教授	藤澤 由和 (48) <平成29年4月> 社会の中で生きる			→再掲			
		事業構想学概論 地域政策概論 数理計画 多変量解析 国主・地域計画 交通計画 地域社会・産業とデザイン	兼担	教授	値水 幸之 (57) <平成29年4月> 事成29年4月> 事成39年 地域改改 報論 表理計画 多更量解析 国土・地域計画 交通計画 地域社会・企業とデザイン			→兼担 徳永幸之に記載 →専 舟引敏明に記載 →兼担 徳永幸之に記載 →兼担 徳永幸之に記載 →専 舟引敏明に記載 →専 舟引敏明に記載 →兼担 徳永幸之に記載			
専		舟引 敏明	専	教授	舟引 敏明	専	教授	舟引 敏明 (60)マ戌29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミッグ・セミナー 地域政策振動 国土地域計ルドワーク 地域別生演習 I 地域製団生演習 I 平卒来砂	専	教授	舟引 (61) 敏明 (61) な明 (7年成29年4月> 一学群共通科目による担当変更 地域政策振論 国立・地域計画 地域別生演習 I 地域副生演習 I 卒業研究 I 行政学
		11以子 都市と文化 都市計画 地区・街区計画 サスティナブルデザイン			17 以子 最親工学 都市と文化 都市計画 地区・街区計画 サスティナブルデザイン			17 以子 最親工学 都市と文化 都市計画 地区・街区計画 サスティナブルデザイン			

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任 兼担 兼任	1 ・	氏 名 (年 齡) (玄就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別		担当授業科目名	の另	1	担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名
_	ML 170	郷古 雅春	-	*** 1	郷古 雅春	<u> </u>	AL 110	郷古 雅春	-	A/L 110	郷古 雅春
専	教授	(57) <平成29年4月>	専	教技	(57) <平成29年4月> <b>地域フィールドワーク</b>	専	教授	(58) <平成29年4月> <= 〒・ディ・プランナー素論及 び漢音 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習 地域フィールドワーク	専	教授	(09) 〈平成29年4月> コミュニティ・プランナー製造及 び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習 地域フィールドワーク
		地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 平 卒業域産業 政策 水資害で 地水資害の科学 (水) 水 水 理			地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 地域産業政策 水資源利岸 災害の科学 (水) 水理学			地域創生演習 I 地域朝生演習 I 卒卒業成長 I 卒卒業研究 I 地域資源和学 水街書の科学 (水) 水理学			地域創生演習 I 地域部生演習 I 平案研究 I 平素研究 I 中本域源和学 收害和用学 议害 1 次理学 自由ゼミ
専	准教授	千葉 克己 (46) 〈平成29年4月〉	専	准教	千葉 克己 受 (46) <平成29年4月>	専	准教授	千葉 克己 (47) <平成29年4月>	専	准教授	千葉 克己 (48) 〈平成29年4月〉
		≤ 平成29平4月>			← 平成29年4月>			コミュニティ・ブランナー振動及び演習コミュニティ・ブランナー実践論コミュニティ・ブランナーフィー			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー コミュニティ・プランナー概論及 び波響 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー
		地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 交業研究 I 災地盤 エ学 測量			地域フィールドワーク 地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I 交装の科学 (土) 地盤エ学 測量			ルドワーク演習 地域マイールドワーク 地域創生演習 I 地東創生演習 I 卒業業研究 I 平実書の科学(土) 地組工学 測量			ルドワーク演習 地域刺生演習 I 地域劇生演習 I 地域歌生演習 I 卒業研究 I 交響
専	講師	板 明果 (43)	専	講自	板 明果	専	講師	板 明果 (44)	専	講師	板明果
		《平成29年4月》  地域創生演習 I  地域朝代第 I  中業研究 I  平業の経済学  地域分析学			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 地域創生演習 I 地域新研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I マ地域が研究 I マ地域分析学			< 平成29年4月>     一学群共通科目による担当変更一学群共通科目による担当変更地域創生演習 I 地域軟研究 I 平字業の民済学地域外析学			
		計量経済学 物部 寛太郎			計量経済学 高橋 信人			計量経済学 高橋 信人 (41)			計量経済学 高橋 <b>信人</b>
専	助教	(38) <平成29年4月>	*	准數	受 (40) <平成29年4月>	*	准教授	(41) <平成29年4月>	專	准教授	(42) <平成29年4月>
		地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 平理情報分析			地域割生演習 I 地域割生演習 I 本東研究 I 本東研究 I 本東研究 I 地理情報分析			地域フィールドワーク 情報と対策 地域と技術 地球と学生 基礎統計学 コミュニティ・プランナー報論及 プラミュニティ・プランナーラ政論 コミュニティ・プランナーフィー ル域が創生演習 I 本来表研究 I 本地理情報分析			一兼担 森本素子に記載 情報化社会と技術 地球と宇宙 基礎統計学 コミュニティ・プランナー製輸及 び渡習 コミュニティ・プランナーフィー ルドリーク演習 地域創生演習 I 卒業研究 I 本理情報分析
兼担	准教授	石田 祐 (37) <平成29年4月>	*	准教	石田   祐 5 (37)   <平成29年4月>	*	准教授	石田 祐 (38) <平成29年4月>	*	准教授	石田 祐 (39) <平成29年4月>
		C. I Mark 1 1732			S. Martinia			社会の中で生きる 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー疾動及 び渡音 コミュニティ・ブランナー コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク 地域割生演音 I 本業所覧 I 本業所覧 I			社会の中で生きる 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー家論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習 地域別生演習 I 本域割生演習 I 本案例 I
		現代社会の諸相地方自治			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 現代社会の簡相 地方自治			李 <mark>森研究II 一学群共通科目による担当変更 一学群共通科目による担当変更 一業担 菅原謙に記載 地方自治</mark>			<b>卒業研究Ⅱ</b> 地方自治
		行政評価 防災計画	$\vdash$	$\perp$	行政評価 防災計画			行政評価 <u>防災計画</u> <b>石内  </b>			行政評価 防災計画 石内 鉄平
						*	准教授		*		
								地域分析学 地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I 卒業研究 I			地域分析学 地域創生演習 I 地域創生演習 I 本業研究 I 卒業研究 I

_											
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	吉田 俊子 (53) <平成29年4月>	兼担	教授	吉田 俊子 (53) <平成29年4月>	兼担	教授	原 玲子 (62) 〈平成30年4月〉	兼担	教授	原 玲子 (63) <平成30年4月>
		宮城大学の知の体系			宮城大学の知の体系			宮城大学の知の体系			宮城大学の知の体系
兼担	教授	西川 正純 (57)	兼担	教授	西川 正純 (57)	兼担	教授	西川 正純 (58)	兼担	教授	西川 正純 (59)
		<平成29年4月> 宮城大学の知の体系			<平成29年4月> 宮城大学の知の体系			<平成29年4月> 宮城大学の知の体系			<平成29年4月> 宮城大学の知の体系
***	44. 195	木村 和彦 (55)	****	40, 500	蒔苗 耕司			D-9924 1 427/4427 14-7/4			DAMA J AND THE JULY
兼担	教授	<平成29年4月>	兼担	教授	(52) 〈平成29年4月〉						
		大学での学び入門			大学での学び入門			→兼担 蒔苗耕司に記載 →兼担 蒔苗耕司に記載			
			*	教授	藤澤 由和 (48)						
		スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更			
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	兼担	教授	藤原 正樹 (64)			于研入题刊自己6000000			
		全学自由ゼミ			〈平成29年4月〉 全学自由ゼミ			→専 藤澤由和に記載			
		川村保			宮崎 良徳			宮崎 良徳			宮崎 良徳
兼担	教授	(59) <平成29年4月>	兼任	講師	(49) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	(50) <平成29年4月>	兼任	講師	(51) 〈平成29年4月〉
		キャリアデザイン I			キャリアデザインI			キャリアデザインI キャリアデザインⅡ			キャリアデザイン I キャリアデザイン I
		茅原 拓朗			茅原拓朗			キャリア開発 I 茅原 拓朗			キャリア開発 I 茅原 拓朗
兼担	教授	(48) <平成29年4月>	兼担	教授	(48) <平成29年4月>	兼担	教授	(49) <平成29年4月>	兼担	教授	(50) <平成29年4月>
		情報化社会と技術			情報化社会と技術 三浦 幸平			情報化社会と技術 三浦 幸平			情報化社会と技術 三浦 幸平
			兼担	准教授	(39) <平成29年4月>	兼担	准教授	(40) <平成29年4月>	兼担	准教授	(41) <平成29年4月>
		データサイエンス入門			データサイエンス入門			データサイエンス入門 数理科学			データサイエンス入門 数理科学
								数学板論 基礎統計学			数学板論 基礎統計学 スタートアップ・セミナー
		MATTHEW WILSON						m# #			アカデミック・セミナー
兼担	教授	(44) <平成29年4月>	兼担	准教授	川井 一枝 (58) <平成29年4月>	兼担	准教授	川井 一枝 (59) <平成29年4月>	兼担	准教授	川井 一枝 (60) <平成29年4月>
		< 十成29年4月 /						.,,,,,			スタートアップ・セミナーアカデミック・セミナー
		English Reading Skills I English Reading Skills II			English Reading Skills I English Reading Skills II			English Reading Skills I English Reading Skills II			English Reading Skills I English Reading Skills I
		Engiron Rodding Office 2	兼担	教授	MATTHEW WILSON (44)						
			末担	叙按	<平成29年4月>						
		English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I
						兼担	教授	MATTHEW WILSON (45) <平成29年4月>	兼担	教授	MATTHEW WILSON (46) <平成29年4月>
		English Self-Expression I English Self-Expression II			English Self-Expression I English Self-Expression II			English Self-Expression I English Self-Expression II			English Self-Expression I English Self-Expression II
		English Self-ExpressionIII  English for Academic PurposesII			English Self-ExpressionⅢ English for Academic PurposesⅡ			English Self-Expression Ⅲ →クラス数見直し			English Self-Expression Ⅲ
		Extensive Listening Practical English			Extensive Listening Practical English			→クラス数見直し →クラス数見直し			
兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (59)	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (60)	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (61)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> English Self-Expression I
		Global Studies I			日本事情 I 日本事情 I Global Studies I			日本事情 I 日本事情 I Global Studies I			日本事情 I 日本事情 I Global Studies I
		Global Studies II Intercultural Communication			Global Studies II Intercultural Communication			Global Studies II Intercultural Communication			Global Studies II Intercultural Communication
		グローバルインターンシップ <u>学外研修</u>			グローバルインターンシップ 学外研修			グローバルインターンシップ 学外研修			グローバルインターンシップ <del>学外研修</del>
兼担	教授	長澤 治夫 (64)	兼担	教授	長澤 治夫 (64)	兼担	教授	武田 和久 (59)	兼担	教授	<b>武田 和久</b> (60)
		<平成29年4月> 健康科学			<平成29年4月> 健康科学			<平成30年4月> 健康科学			<平成30年4月> 健康科学
兼任	=# AT	長澤 治夫 (65)	the for	講師	長澤 治夫 (65)	****	***	風間 逸郎	****	40, 100	風間 逸郎
末世	講師	<平成30年4月>	兼任	神師	<平成30年4月>	兼担	教授	(44) <平成30年4月>	兼担	教授	(45) 〈平成30年4月〉
		健康科学			健康科学			健康科学 地域フィールドワーク			<b>健康科学</b> →兼担 齊藤奈緒に記載
兼担	教授	真覚 健 (58) <平成29年4月>	兼担	教授	真覚 健 (58) <平成29年4月>	兼担	教授	真党 健 (59) <平成29年4月>	兼担	教授	真党 健 (60) <平成29年4月>
		健康科学			<b>心理学</b> 健康科学		L	<b>心理学</b> 健康科学			<b>心理学</b> 健康科学
兼担	教授	山田 嘉明 (61)	兼担	教授	真党 <b>住</b> (58)	兼担	教授	山田 <u></u> 事明 (62)	兼担	教授	山田 <b>嘉明</b> (63)
사기르	7人1文	<平成29年4月>	本性	44.130	<平成29年4月>	水吐	4A1X	<平成29年4月>	本型	***	<平成29年4月>
		原田 茂樹			<b>心理学</b> 原田 茂樹			<b>心理学</b> 原田 茂樹	-		<b>心理学</b> 原田 茂樹
兼担	教授	(54) <平成29年4月>	兼担	教授	(54) <平成29年4月>	兼担	教授	(55) <平成29年4月>	兼担	教授	(56) <平成29年4月>
		環境科学入門			環境科学入門			環境科学入門			環境科学入門

### 1				1		ı				100.00	_	1
## 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼任		(年 齢)	兼任	職名	(年 齢)	兼任	職名	(年 齢)	兼任	職名	
### 100 CHAPTER   PART   PART			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
1	**+0		_	** +0	#A +∞		*+-	444-410		*+-	MA- 435	
1	兼担	教授		<b></b>	教授		末担	教授		兼担	教授	
## 20			日本語 II 日本語 II			日本語II 日本語II			アカデミック・セミナー English Reading Skills I 日本語 I 日本語 I 日本語 II			日本語 II 日本語 II
## 1				兼担	教授	(59)						
## 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20						日本事情 I	11					
## 20 00 (				l	1		1 -					## #3
### 200 (100	兼担	教授		兼担	教授	(52)	兼担	教授	時田 初り (53) <亚成29年4日>	兼担	教授	(54)
## 20 10						大学での学び入門	11		大学での学び入門			大学での学び入門
## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ##				l	1		1 -					富樫 敦
#2 00	兼担	教授	(60) <平成29年4月>	兼担	教授	<平成29年4月>	兼担	教授	<平成29年4月>	兼担	教授	<平成29年4月>
開催 使え (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)						データサイエンス入門			データサイエンス入門			データサイエンス入門
## 100 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00			田邉 信之			田邉 信之	1 -					
	兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	(62)
製造			金融論 経営財務			金融論 経営財務			金融論 経営財務			金融論 経営財務 金学自由ゼミ キャリアデザインI キャリアデザインエ キャリア開発I キャリア開発エ
取扱	兼担		(63)	兼担	教授	(63)	兼担	教授	(64)			
## 章			地域活性化とビジネス			地域活性化とビジネス	11					→ 美田 鎌公日士 <i>に</i> 記載
本部	# /-		金子 孝一	the let	=# AT	金子 孝一	the let	=# AT	金子 孝一			本但 相音目心に記載
満食者と理学	兼仕	아무 아내	<平成31年4月>	兼仕	講師	<平成31年4月>	兼仕	講師				
世分本人モデル後   大男			消費者心理学			消費者心理学						→兼任 勅使河原晃司に記載
数数			ビジネスモデル論			ビジネスモデル論			ビジネスモデル論			→兼任 勅使河原晃司に記載 →兼担 糟谷昌志に記載
	<b>新</b> 坦			- 毎 - 田	粉塪		- 毎 坦	教培		<b>善</b> 坦	粉塪	
大の資産管理論   大の資産管理論   大の資産管理論   技術 品彦   大の資産管理論   技術 品彦   技術 表彦   大の資産管理論   技術 表彦   技術 表彦   大の資産管理論   技術 表彦   大の資産管理的   技術 表彦   大の資産管理的   技術 表彦   大の資産・日本   大の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方	N IE			X.IE	70.10		N/IE	70.12		N/IE	70.10	<平成29年4月>
兼担 数据 (51) (51) (52) (72) (74) (73) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74			人的資源管理論			人的資源管理論	l		人的資源管理論			
本理   本理   本理   本理   本理   本理   本理   本理	兼担			兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	福永 晶彦 (53)
経営戦略論   接営戦略論   接営戦略論   接営戦略論   接営戦略論   接営戦略論   接営戦略論   接代企業論   接営戦略論   接代企業論   接受戦略論   接代企業論   接受戦略論   接代企業論   接受戦略論   接代企業論   接受戦略論   接代企業論   接受戦略論   接代企業論   接受戦略論   接代企業論   接代企業論   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受戦略   接受战略   接入   接入   接入   接入   接入   接入   接入   接							]					
素担   数長   表担   表担   表担   表担   数長   (55)   (〒成29年4月 > 〒・マルアデザイン田   インターングラフ   〒・マルアデザイン田   インターングフ   〒・マルアデザイン田   インターングフ   〒・マルアデザイン田   インターングフ   〒・マルアデザイン田   インターングフ   〒・マルアデザイン田   日本・リア開発田   インターングフ   〒・マルアデルグ   東担   表表   表担   表担   本しア開発田   日本・リア開発日   インターングフ   日本・リア開発日   インターングフ   日本・リア開発日   日本・リアディング   日本・リアディング   日本・リアディング   日本・リアディング   日本・リアディングラー   日本・リアディング   日本・リアディングラー   日本・リアディングランナー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングラー   日本・リアディングランナー   日本・リアディングラー   日本・リアディングー   日本・リア・ファングー			経営戦略論			経営戦略論			経営戦略論			経営戦略論
本中以7字ザイン  インターンシップ1			高力 美由紀			高力 美由紀			<b>坑八正未</b> 調			· 以10年来論
# 中リアデザイン	兼担	教授		兼担	教授							
# 中リア開発 1			キャリアデザインⅡ			キャリアデザインⅡ						
インターンシップ			キャリア開発 I			キャリア開発I			→専 風見正三に記載			
<ul> <li>販売促進</li> <li>販売促進</li> <li>東担 を使 (中成20年4月)</li> <li>東田 (48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(48)</li> <li>(49)</li> <li< td=""><td></td><td></td><td>インターンシップⅡ</td><td></td><td></td><td>インターンシップⅡ</td><td></td><td></td><td>→専 藤澤由和に記載</td><td></td><td></td><td></td></li<></ul>			インターンシップⅡ			インターンシップⅡ			→専 藤澤由和に記載			
東担         教授         本額         本									後任未定			→兼担 高山純人に記載
マーケティング   東海 由和							兼担	准教授	(60)			
#担 教授 (48)	$\vdash$						<b>∤</b>			-		→兼担 大嶋淳俊に記載
大型	兼担		(48)		教授	(48) <平成29年4月>	]					
地域調査法   地域社会学						社会の中で生きる スタートアップ・セミナー			→学群共通科目による担当変更			
地域社会学						アカデミック・セミナー			→学群共通科目による担当変更 →再掲			
兼担     教授     (59)       《平成29年4月>     (60)       建築計画 インテリアデザイン ファシリティマネジメント 平岡 善浩 (50)     連築計画 インテリアデザイン ファシリティマネジメント 平岡 善浩 (50)     ファシリティマネジメント 平岡 善浩 (50)     中間 善浩 (50)       ※担     教授			地域社会学			地域社会学	┨╟		→再掲			++ L 5:17
東美計画	兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	(61)
建築計画			< 平成Z9年4月 >			< 半 放 2 9 年 4 月 >	1		<平成29年4月>			スタートアップ・セミナー
東担     ファシリティマネジメント       教授     中図 善浩 (50) 〈平成29年4月〉       **担     教授 (50) 〈平成29年4月〉       **地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー家協設 び演習 コミュニティ・ブランナー家協設 ファンリティマネジメント 平岡 善浩 (50) 〈平成29年4月〉 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー家協設 ファンリティマネジメント 平岡 善浩 (50) 〈平成29年4月〉 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー家協設 フィールドワーク演習 材料学 ー学群共通科目による担当変更 ー学群共通科目による担当変更 ー学群共通科目による担当変更												<b>アカデミック・セミナー</b> 建築計画
兼担     教授     (50)       〈平成29年4月>     ***       ***地域フィールドワーク     ***       ***は関ライールドワーク     コミュニティ・ブランナー振論及び演習       コミュニティ・ブランナー実践論コミュニティ・ブランナーの演習     コミュニティ・ブランナーフィールドワークコミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習       オキ学・一学群共通科目による担当変更一学群共通科目による担当変更一学群共通科目による担当変更			ファシリティマネジメント			ファシリティマネジメント	1 L		ファシリティマネジメント			ファシリティマネジメント
地域フィールドワーク	兼担	教授	(50)	兼担	教授	(50)	兼担	教授	(51)	兼担	教授	(52)
コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習 材料学 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー アカデミック・セミナー			<平成29年4月>						地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー振論及			地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー振論及
ルドワーク演習												コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー
スタートアップ・セミナー 一学群共通科目による担当変更 アカデミック・セミナー 一学群共通科目による担当変更									ルドワーク演習			ルドワーク演習
						アカデミック・セミナー			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更			
建築史 建築史 建築史 建築史 ユニパーサルデザイン			建築史									

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		т д	専任・		E 9
兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名
		北辻 政文			北辻 政文			北辻 政文			北辻 政文
兼担	教授	(56) <平成29年4月>	兼担	教授	(56) <平成29年4月>	兼担	教授	(57) <平成29年4月>	兼担	教授	(58) 〈平成29年4月〉
		材料学			材料学			材料学			材料学
		<u>測量</u> 河西 敏幸	-		<u>測量</u> 河西 敏幸			測量 河西 敏幸	-		測量 河西 敏幸
兼担	教授	(49) <平成29年4月>	兼担	教授	(49) <平成29年4月>	兼担	教授	(50) 〈平成29年4月〉	兼担	教授	(51) 〈平成29年4月〉
		1 1 77-2			31777			コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ <u>・</u> プランナーフィー
					アートサイエンス振論			ルドワーク演習 アートサイエンス振論			ルドワーク演習 アートサイエンス振論
		スポーツ科学			<b>総合芸術</b> スポーツ科学			<b>総合芸術</b> スポーツ科学			<b>総合芸術</b> スポーツ科学
		スポーツ実技 体を動かす楽しみ			スポーツ実技 体を動かす楽しみ			スポーツ実技 体を動かす楽しみ			スポーツ実技 体を動かす楽しみ
兼担	准教授	佐々木 秀之 (41)	*	准教授	佐々木 秀之 (41)						
		<平成29年4月>			<平成29年4月> 地域フィールドワーク			→再掲			
					スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			→再掲 →再掲			
		地域資源論 社会起業論			地域資源論 社会起業論			→再掲 →再掲			
		内田 直仁			内田 直仁			内田 直仁			内田 直仁
兼担	准教授	(46) <平成29年4月>	兼担	准教授	(46) <平成29年4月>	兼担	准教授	(47) <平成29年4月>	兼担	教授	(48) <平成29年4月>
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			スタートアップ・セミナー			→学群共通科目による担当変更
								アカデミック・セミナー インターンシップ I			→学群共通科目による担当変更 →兼担 大嶋淳俊に記載
		CSR・経営倫理			CSR・経営倫理			インターンシップⅡ CSR・経営倫理			→兼担 大嶋淳俊に記載 CSR・経営倫理
		法学概論 会計学概論			法学概論 会計学概論			法学概論 会計学概論			法学概論 会計学概論
		税務会計 金子 浩一	-		税務会計 金子 浩一			税務会計 金子 浩一			税務会計
兼担	准教授		兼担	准教授	(44)	兼担	准教授	(45)	兼担	教授	金子 浩一 (46)
		<平成29年4月> 社会と経済			<平成29年4月> 社会と経済			<平成29年4月> 社会と経済			<平成29年4月> 社会と経済
		ミクロ経済学			ミクロ経済学			ミクロ経済学			ミクロ経済学
		ゲーム理論			ゲーム理論			ゲーム理論			ゲーム理論 <b>全学自由ゼミ</b>
兼担	准教授	小島(栗田) さつき (41)	兼任	講師	莉々 紀子 (40)	兼担	准教授	小島(栗田) さつき (42)	兼担	准教授	小島(栗田) さつき (43)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
		English Reading Skills I	-	<b>.</b>	English Reading Skills I CRAIG MCDONALD			English Reading Skills I			English Reading Skills I
			兼任	講師	(44) <平成29年4月>						
		English Self-Expression I			English Self-Expression I 小島(栗田) さつき			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
			兼担	准教授	(41)						
		English Reading Skills II			<平成29年4月> English Reading Skills II			English Reading Skills I			English Reading Skills II
		Engiron Rodding Oktivon	兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44)			LINGTON ROUGHING ORTHOR			Engiron Roading Oktito 2
		English Self-ExpressionI	兼任	Bid tah	<平成29年4月>			→ 本た CDAIC MCDONALD(= 言) 中に			
		Liigiisii seii-Expressionii			English Self-Expression II 小島(栗田) さつき			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
			兼担	准教授	(41) <平成29年4月>						
		English for Academic Purposes I			<平成29年4月> English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I
		English For Academic Purposes I  English Self-ExpressionIII			English Self-ExpressionII			English for Academic Purposes I →兼任 CRAIG MCDONALDに記載			English Self-Expression II
		English for Academic Purposes II			English for Academic Purposes II			English for Academic Purposes II			English for Academic Purposes I
L		Extensive Listening Practical English		L	Extensive Listening Practical English		L	→兼担 曾根洋明に記載 →兼担 曾根洋明に記載		L	
兼担		曾根 洋明 (54)	兼担	准教授	曾根 洋明	兼担	准教授	曾根 洋明 (55)	兼担	准教授	曾根 洋明 (56)
		<平成29年4月>			マースター マースタートアップ・セミナー			<平成29年4月> →学群共通科目による担当変更			<平成29年4月>
		English Reading Skills I			アカデミック・セミナー English Reading Skills I			→学群共通科目による担当変更 English Reading Skills I			English Reading Skills I
		English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II			English Self-Expression I English Reading Skills II			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載 English Reading SkillsⅡ			English Reading Skills I
		English Self-ExpressionⅡ			English Self-Expression II			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			English Self-Expression I
		English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I
		English Self-ExpressionIII  English for Academic PurposesII			English Self-ExpressionIII  English for Academic Purposes II			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載 →兼担 小島さつきに記載			
		Extensive Listening			Extensive Listening			Extensive Listening			Extensive Listening
		Practical English 山本 まゆみ			Practical English 山本 まゆみ			Practical English 山本 まゆみ			Practical English 山本 まゆみ
兼担	准教授		兼担	准教授	(57)	兼担	教授	(58)	兼担	教授	(59)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー
		世界の歴史と文化			世界の歴史と文化			<b>アカデミック・セミナー</b> 世界の歴史と文化			<b>アカデミック・セミナー</b> 世界の歴史と文化
		日渡 祐二			日渡 祐二			日渡 祐二			日渡 祐二
兼担	准教授	(45) <平成29年4月>	兼担	准教授	(45) <平成29年4月>	兼担	教授	(46) <平成29年4月>	兼担	教授	(47) <平成29年4月>
		生命科学			生命科学			生命科学			生命科学
ш		生物概論	<u> </u>	L	生物概論	<u> </u>		生物概論		<u> </u>	生物概論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	土岐 謙次 (48)	兼担	准教授	土岐 謙次 (48)	兼担	准教授	土岐 謙次 (49)	兼担	教授	土岐 謙次 (50)
N. J.		≪平成29年4月> 美術	38.1					〈平成29年4月〉 →学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 <b>一サイエンス概論</b> <b>参合案</b> 美術	38.1		マ平成29年4月> アートサイエンス概論 総合芸術 美術
兼担	准教授	高橋 信人	*	准教授	高機 信人 (40) 《平成29年4月》 情報化社会と技術 基礎統計学			→ 再掲 → 再掲			
兼担	准教授	地球と宇宙 原田 鉱一郎 (50) <平成29年4月>	兼担	准教授	<b>地球と宇宙</b> 原田 鉱一郎 (50) <平成29年4月>	兼担	准教授	→再掲 原田 鉱一郎 (51) <平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>
兼担	准教授		兼担	教授	基礎統計学 物理概論 笠原 幹 (52)	兼担	准教授	基礎計学 物理概論	兼担	准教授	基礎統計学 物理概論 <b>菰田 俊</b> 一 (49)
		< 平成29年4月 > 化学概論 萩原 潤			<平成29年4月>       化学概論       萩原 潤			<平成29年4月>       化学振論       萩原 潤			<平成29年4月>       化学振論       萩原 潤
兼担	准教授	(45) <平成29年4月> 基礎統計学	兼担	准教授	(45) <平成29年4月> 情報化社会と技術 データサイエンス入門 基礎統計学	兼担	准教授	(46) <平成29年4月> <b>情報化社会と技術</b> データサイエンス入門 基礎統計学	兼担	准教授	(4/) <平成29年4月> 情報化社会と技術 データサイエンス入門 基礎統計学
兼担	准教授	白川 愛子	兼担	教授	石川 伸一 (43) 〈平成29年4月〉 健康科学	兼担	教授	石川	兼担	教授	石川 伸一 (45) 〈平成29年4月〉 健康科学
						兼担	准教授	白川 愛子 (55) <平成29年4月> 健康科学	兼担	准教授	白川 養子 (56) 〈平成29年4月〉 健康科学
兼担	講師	佐藤 麗 (41) <平成29年4月>	兼担	講師	佐藤 麗 (41) <平成29年4月>	兼担	講師	佐藤 麗 (42) <平成29年4月>	兼担	講師	佐藤 麗 (43) <平成29年4月>
		English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II			一学群共通科目による担当変更 一学群共通科目による担当変更 English Reading Skills I English Reading Skills I			English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II
		English for Academic Purposes I English Self-ExpressionIII MATTHEW NALL			English for Academic Purposes I English Self-ExpressionII			English for Academic Purposes I →兼任 MATTHEW NALLに記載 MATTHEW NALL			English for Academic Purposes I  English Self-Expression  **TTTT*** Additional Control of the Co
兼担	助教	(33) <平成29年4月> English Reading Skills I	兼担	助教	MATTHEW NALL (33) <平成29年4月> English Reading Skills I	兼担	助教	(34) <平成29年4月>	兼担	助教	MATTHEW NALL (35) <平成29年4月>
		English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I			English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I			English Self-Expression I English Self-Expression I →兼担 佐藤麗に記載			English Self-Expression I English Self-Expression II
		English Self-ExpressionⅢ 藤原 正樹 (66)			English Self-ExpressionⅢ 藤原 正樹 (66)			English Self-ExpressionⅢ 藤原 正樹			English Self-ExpressionⅢ
兼任	講師	< 平成31年4月 > 経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント	兼任	講師	< 平成31年4月 >	兼任	講師	(66) < 平成31年4月 >			→兼担 大嶋淳俊に記載 →兼担 大嶋淳俊に記載
兼任	講師	eビジネス 坂本 眞一郎 (66) <平成31年4月>	兼任	講師	eビジネス 坂本 眞一郎 (66) <平成31年4月>	兼任	講師	eビジネス 坂本 眞一郎 (66) <平成31年4月>			<u>→兼担 大嶋淳俊に記載</u>
		商法・会社法 会計学 企業会計 叢 莉蔓			商法・会社法 会計学 企業会計			商法·会社法 会計学 企業会計			→兼担 仲宗根卓に記載 →兼担 絹村信俊に記載 →兼担 絹村信俊に記載
兼任	講師	(48) <平成29年4月> 中国語 I	兼任	講師	西貝 定行 (50) <平成29年4月> 中国語 I	兼任	講師	西貝 定行 (51) 〈平成29年4月〉 中国語 I	兼任	講師	西貝 定行 (52) 〈平成29年4月〉 中国語 I
		中国語Ⅱ 黄 考善	-		中国語工 黄 考善	-		<b>中国語Ⅱ</b> 黄 考善	-	-	中国語工
兼任	DITT DE IF	(49) <平成29年4月>	兼任	講師	(49) <平成29年4月>	兼任	講師	(50) <平成29年4月>	兼任	講師	黄 考善 (51) 〈平成29年4月〉
		韓国語 I 韓国語 I			韓国語 I 韓国語 II	L		韓国語 I 韓国語 I			韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	VU THUY MINH CHAU	兼任	講師	VU THUY MINH CHAU (43) <平成29年4月>	兼任	講師	VUONG THI DOAN THU (47) <平成30年4月>	兼任	講師	VUONG THI DOAN THU (48) <平成30年4月>
	L	ベトナム語 I ベトナム語 II			ベトナム語 I ベトナム語 II			ベトナム語 I ベトナム語 I		L	ベトナム語 I ベトナム語 I
兼任	講師	伊藤 大介 (43) <平成29年4月>	兼担	准教授	三好 俊文 (41) 〈平成29年4月〉	兼担	准教授	三好 俊文	兼担	准教授	三好 俊文
		日本の歴史と文化 東北の歴史と文化			日本の歴史と文化 東北の歴史と文化			日本の歴史と文化 東北の歴史と文化 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 地域資源論			日本の歴史と文化 東北の歴史と文化 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 地域資源論 ファブ・セミナー アカデミック・セミナー
兼任	講師	<b>佐藤 寿一</b> (56) <平成29年4月>	兼任	講師	波部 勝彦 (71) 《平成29年4月》	兼任	講師	渡部 勝彦 (72) <平成29年4月>			
		音楽			音楽			音楽 アートサイエンス振論 総合芸術			→兼任 日比野裕幸に記載 <del>アートサイエンス振論</del> <del>総合芸術</del>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 駿 (33) <平成29年4月>	兼担	准教授	普原 糠 (52) <平成29年4月>	兼担	准教授	普原 謙 (53) <平成29年4月>	兼担	准教授	管原 謙 (54) 〈平成29年4月〉
		現代社会と哲学			現代社会と哲学			現代社会と哲学社会の中で生きる現代社会の蓄相			現代社会と哲学社会の中で生きる現代社会の諸相
兼任	講師	木村 敏明 (50)						現代社会の責任			現代仕受の間伯
		<平成29年4月> 人と宗教			人と宗教			人と宗教			人と宗教 スタートアップ・サミナー アカデミック・セミナー
兼任	講師	<b>曽我 洋介</b> (39) <平成29年4月>	兼担	講師	仲宗根 卓 (35) <平成29年4月>	兼担	講師	仲宗根 卓 (36) 〈平成29年4月〉	兼担	講師	<b>仲宗根 卓</b> (37) 〈平成29年4月〉
		憲法			憲法			憲法 社会の中で生きる			憲法 社会の中で生きる 商法・会社法 民法
兼任	講師	<b>小野 秀壽</b> (63) <平成29年4月>	兼担	准教授	三浦 幸平 (39) <平成29年4月>						公法
		数理科学 数学概論			数理科学数学根據			→再掲 →再掲 			
兼担	教授	岩堀 惠祐 (65) <平成31年4月>	兼担	教授	岩堀 恵祐 (65) <平成31年4月>	兼担	教授	岩堀 惠祐 (65) <平成31年4月>	兼任	講師	西 哲夫 (63) <平成31年4月>
		環境衛生工学 直子 真岐			環境衛生工学 庄子 真岐			環境衛生工学   庄子 真岐			環境衛生工学 庄子 真岐
兼任	講師	(40) <平成31年4月>	兼任	講師	(40) <平成31年4月>	兼任	講師	(40) <平成31年4月>	兼任	講師	(40) <平成31年4月>
兼任	講師	地域交流論 厳 爽 (47)	兼任	講師	<u>地域交流論</u> 厳 爽 (47)	兼任	講師	<u>地域交流論</u> 厳 爽 (47)	兼任	講師	地域交流論 厳 爽 (47)
米江	語即	< 平成31年4月 > 環境心理・行動学	末江	西西印	< 平成31年4月 > 環境心理・行動学	米任	西西印	< 平成31年4月 > 環境心理・行動学	末江	西西川	<平成31年4月> 環境心理・行動学
兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)	兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)	兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)	兼任	講師	苦瀬 博仁 (67)
		< 平成31年4月 > ロジスティクス			< 平成31年4月 > ロジスティクス			<平成31年4月> ロジスティクス			<平成31年4月> ロジスティクス リスクマネジメント
兼任	講師	<u>リスクマネジメント</u> 酒井 茂孝 (66)	兼任	講師	<u>リスクマネジメント</u> 酒井 茂孝 (66)	兼任	講師	<u>リスクマネジメント</u> 酒井 茂孝 (66)	兼任	講師	<u>ガスラマボンアンド</u> 酒井 茂孝 (66)
		<平成32年4月> ブランディング			<平成32年4月> ブランディング			<平成32年4月> ブランディング			<平成32年4月> ブランディング
兼任	講師	<b>篠塚 功照</b> (44) <平成31年4月>	兼任	講師	<b>篠塚 功照</b> (44) <平成31年4月>	兼任	講師	<b>篠塚 功照</b> (44) <平成31年4月>			
兼任	講師	民法 稲村 健太郎 (40) <平成31年4月>	兼任	講師	民法       稲村 健太郎       (40)       <平成31年4月>	兼任	講師	民法       稲村 健太郎       (40)       <平成31年4月>			<u>→兼担 仲宗根卓に記載</u>
		公法 佐藤 和裕	-		<u>公法</u> 佐藤 和裕			<u>公法</u> 佐藤 和裕			→兼担 仲宗根卓に記載
兼任	講師	(49) <平成31年4月>	兼任	講師	(49) <平成31年4月>	兼任	講師	(49) <平成31年4月> 建築法規・環境法規			
兼任	講師	建築法規・環境法規 鈴木 康夫 (68)	兼任	講師	<u>建築法規・環境法規</u> 鈴木 康夫 (68)	兼任	講師	鈴木 康夫	兼任	講師	→兼任 増田豊文に記載 鈴木 康夫 (68)
		<平成32年4月> 知的財産管理			<平成32年4月> 知的財産管理			<平成32年4月> 知的財産管理			<平成32年4月> 知的財産管理
兼任	講師	波谷 純一 (73) <平成31年4月>	兼任	講師	渋谷 純一 (73) <平成31年4月>	兼任	講師	渋谷 純一 (73) <平成31年4月>	兼任	講師	<ul><li>渋谷 純一</li><li>(73)</li><li>&lt;平成31年4月&gt;</li></ul>
		構造力学 I 権代 由範	-		構造力学 I 権代 由範			構造力学 I 権代 由範			構造力学 I 権代 由範
兼任	講師	(36) <平成31年4月 >	兼任	講師	(36) <平成31年4月 >	兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師	<平成31年4月>
並げ	±46±	構造力学Ⅱ 菅原 正則 (45)	the for	き並んす	構造力学Ⅱ 菅原 正則 (45)	gir Jer	講師	構造力学Ⅱ 菅原 正則 (45)	sk Ir	講師	構造力学Ⅱ 菅原 正則 (45)
兼任	講師	< 平成31年4月 > 生活環境工学	兼任	講師	< 平成31年4月 > 生活環境工学	兼任	再帥	< 平成31年4月 > 生活環境工学	兼任	蔣帥	< 平成31年4月 > 生活環境工学
兼任	講師	<u>エロ環境エナ</u> 松本 年史 (67)	兼任	講師	<u> </u>	兼任	講師	<del>工程 및 工工                                </del>	兼任	講師	松本年史
		<平成31年4月> 構造力学演習 建築一般構造			<平成31年4月> 構造力学演習 建築一般構造			<平成31年4月> 構造力学演習 建築一般構造			<平成31年4月> 構造力学演習 建築一般接達
兼任	講師	建築一般構造 福地 一彦 (66)	兼任	講師	<u>建築一般構造</u> 福地 一彦 (66)	兼任	講師	<u>建築一般構造</u> 福地 一彦 (66)	兼任	講師	
		<平成31年4月> 施工技術			<平成31年4月> 施工技術			<平成31年4月> 施工技術			<平成31年4月> 施工技術
兼任	講師	齊藤 智之 (66)	兼任	講師	齊藤 智之 (66)	兼任	講師	齊藤 智之 (66)	兼任	講師	齊藤 智之 (66)
		<平成31年4月> 建築設備			<平成31年4月> 建築設備			<平成31年4月> 建築設備			<平成31年4月> 建築設備

									_		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	]		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
* /T	=# AT	橋本 陽介 (33)	the Irr	=# AT	橋本 陽介 (33)	* 17	÷# AT	橋本 陽介 (33)	****	71. 46.	橋本 陽介 (33)
兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師	<平成31年4月>	兼担	助教	<平成31年4月>
		ユニバーサルデザイン 増田 豊文	<b>1</b>		ユニバーサルデザイン 増田 豊文			ユニバーサルデザイン 増田 豊文			ユニバーサルデザイン 増田 豊文
兼任	講師	(59)	兼任	講師	(59)	兼任	講師	(59)	兼任	講師	
		<平成32年4月> 建築コスト	41		< 平成32年4月 > 建築コスト			< 平成32年4月 > 建築コスト			<平成31年4月> 建築コスト
		井川 望	┨┠		井川 望			井川 望			建築法規・環境法規 井川 望
兼任	講師	(61)	兼任	講師	(61)	兼任	講師	(61)	兼任	講師	(01)
		< 平成32年4月 > 耐震設計法	41		<平成32年4月> 耐震設計法			<平成32年4月> 耐震設計法			<平成32年4月> 耐震設計法
		長改訂法	1 🔭	准教授	石田 祐						版表改訂法
				准包贷	(37) <平成29年4月> 地域創生演習 I			→再掲			
					地域創生演習 I 地域創生演習 I 卒業研究 I			→再掲			
			┨┡		卒業研究 Ⅱ			→再掲 →再掲			
			兼担	准教授	三浦 幸平 (39) <平成29年4月>						
					基礎統計学			→再掲			Internal Control
						兼担	教授	安齋 由貴子 (59)	兼担	教授	安寮 由貴子 (60)
					地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> →兼担 木村三香に記載
								コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
			1					コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
			兼担	准教授		兼担	教授	大熊 恵子 (49)	兼担	教授	
					<平成29年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク
								コミュニティ・プランナー振動及 び演習			コミュニティ・プランナー概 <b>論</b> 及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
			兼担	准教授	三好 俊文 (41)	兼任	講師	中沢 🝁 (30)	兼任	講師	中沢 峻 (31)
					<平成29年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク			<平成30年4月> 地域フィールドワーク
								コミュニティ・プランナー板論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
			兼担	講師	仲宗根 卓 (35)						
					<平成29年4月> 地域フィールドワーク			→兼担 風間逸郎に記載			
			兼担	教授	須栗 裕樹 (53)	兼担	教授	須栗 裕樹 (54)	兼担	教授	<b>須栗 裕樹</b> (55)
					<平成29年4月> 情報化社会と技術			<平成29年4月> 情報化社会と技術			<平成29年4月> 情報化社会と技術
			┨┠		データサイエンス入門 秋月 治			データサイエンス入門 秋月 治			データサイエンス入門 秋月 治
			兼担	教授	(62) <平成29年4月>	兼担	教授	(63) <平成29年4月>	兼担	教授	(64) <平成29年4月>
			J L		情報化社会と技術 データサイエンス入門	L		情報化社会と技術 →クラス見直しで担当変更	L		情報化社会と技術
			兼担	教授	中田 千彦 (48)	兼担	教授	中田 千彦 (49)	兼担	教授	中田 千彦 (50)
					<平成29年4月> アートサイエンス振論			<平成29年4月> アートサイエンス概論			<平成29年4月> アートサイエンス振論
			J L		総合芸術	L		総合芸術	L		総合芸術 全学自由ゼミ
			兼担	教授	鹿野 護 (44)	兼担	教授	<b>鹿野 護</b> (45)	兼担	教授	應野 護 (46)
			┧┕		<平成29年4月> アートサイエンス概論			<平成29年4月> アートサイエンス概論			<平成29年4月> アートサイエンス概論
			兼担	教授	笠原 <b>神</b> (52)	兼担	教授	笠原 <b>神</b> (53)	兼担	教授	笠原 神 (54)
					<平成29年4月> 環境科学入門			<平成29年4月> 環境科学入門			<平成29年4月> 環境科学入門
			┪┝─		神宮宇 寛	l <del> </del>	<u> </u>	化学概論 神宮字 寛	<u> </u>		化学概論 神宮宇 寛
			兼担	教授	(48) <平成29年4月>	兼担	教授	(49) <平成29年4月>	兼担	教授	(50) <平成29年4月>
			┨┝		物理概論 波部 勝彦	l <del> </del>		物理概論			物理概論
			兼任	講師	(71) <平成29年4月>						
			J L		アートサイエンス振論 総合芸術			→再掲 →再掲			
			兼任	講師	相澤 富美江 (52)	兼任	講師	相澤 富美江 (53)	兼任	講師	相澤 富美江 (54)
					<平成29年4月> アートサイエンス概論			<平成29年4月> アートサイエンス概論			<平成29年4月> アートサイエンス振論
$\vdash \vdash$			$+ \vdash$		総合芸術 高山 登			総合芸術 高山 登	-		総合芸術
			兼任	講師	(72) <平成29年4月>	兼任	講師	(73) <平成29年4月>			
					アートサイエンス振動 美術			<b>アートサイエンス概論</b> →兼担 土岐謙次に記載			アートサイエンス概論
$\vdash$			<b>┤├</b> ─		会会 表情   一	<del> </del>		総合芸術	-		<del>総合芸術</del> 青野 文昭
			兼任	講師	(49) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	(50) <平成29年4月>	兼任	講師	(51) 〈平成29年4月〉
					アートサイエンス振論 美術			アートサイエンス振論 美術			アートサイエンス振論 美術
			J ∟		総合芸術	<u> </u>	1	総合芸術	L		総合芸術

	1							T			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	<b>波辺 献一郎</b> (66) <平成29年4月> アートサイエンス <b>収論</b>	兼任	講師	<b>波辺 鯱一郎</b> (67) <平成29年4月> アートサイエンス振論	兼任	講師	<b>波辺 験</b> 一郎 (68)   <平成29年4月>   アートサイエンス振動
			兼任	講師	総合芸術 上野 晴夫 (62) <平成29年4月>	兼任	講師	総合芸術 上野 晴夫 (63) <平成29年4月>	兼任	講師	総合芸術  上野 晴夫 (64)   <平成29年4月>
			兼任	講師	数学振输 里見 宗久 (66) <平成29年4月>	兼任	講師	数学振論 里見 宗久 (67) <平成29年4月>	兼任	講師	数学概論 里見 宗久 (68) <平成29年4月>
					数学概論	兼担	教授	数学振論 MARGARET CHANG	兼担	教授	数学概論 MARGARET CHANG (56)
						<b>米担</b>	W.1X	(55) <平成30年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II	3K12L	#X 1X	(NO) <平成30年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II
						兼担	准教授	鈴木 優	兼担	准教授	鈴木 優 (35)
								○ 平成30平4月 / 産学連携課座 II インターンシップ I インターンシップ II			マ
						兼担	教授	川村 保 (60)	兼担	教授	全学自由ゼミ 川村 保 (61)
								〈平成30年4月〉 全学自由ゼミ 学外研修 産学連携講座 I		-	〈平成30年4月〉 全学自由ゼミ 学外研修 産学連携課座 I
						┨		産学連携講座 I	-		産学連携講座 I 桂 晶子
						兼担	准教授	桂 晶子 (50) <平成30年4月> コミュニティ・プランナー概論及 び演習	兼担	准教授	(51) <平成30年4月> コミュニティ・プランナー振論及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
						兼担	教授	<b>糟谷 昌志</b> (50)	兼担	教授	<b>糟谷 昌志</b> (51)
								<平成29年4月> マクロ経済学 地域福祉政策			<平成29年4月> マクロ経済学 地域福祉政策
								社会調査法 多変量解析			社会調査法 多変量解析 ビジネスモデル論
						兼担	教授	<b>徳永 幸之</b> (58)	兼担	教授	億永 幸之 (59)
								<平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			< <u>マ成29年4月&gt;</u> →学群共通科目による担当変更  →学群共通科目による担当変更
								事業構想学板論 数理計画 多変量解析			事業構想学板論 數理計画 多変量解析
						兼担	准教授	交通計画 伊藤 真市 (57)	兼担	准教授	交通計画 伊藤 真市 (58)
								〈平成30年4月〉 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			
						兼任	講師	島山 喜彦 (63)	兼任	講師	島山 喜彦 (64)
								<平成30年4月> English Reading Skills I English Reading Skills II English for Academic Purposes I			<平成30年4月> English Reading Skills I English Reading Skills II English for Academic Purposes
						兼任	講師	注	兼任	講師	上司 貞雄 (61) <平成30年4月>
								$  $			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任(予定)年月>  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
								兼担	教授	小林 仁 (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58)
								兼担	教授	岩井 孝尚 (52) 〈平成31年4月〉 生物報論
								兼担	教授	日原 広一 (63) <平成31年4月> インターンシップI
								兼担	准教授	< 平成31年4月> 都市と文化 地区・街区計画 サスティナブルデザイン インターンシップ I
								兼担	教授	< 平成31年4月> マーケティング 経営情報管理 ビジネスプロセスマネジメント eビジネス インターンシップ I
								兼担	講師	インターンシップI 精行 信使 (39) <平成31年4月> 全計学 企業会計 インターンシップI インターンシップI
								兼任	講師	王 效紅 (52) <平成31年4月> 中国語 I
								兼任	講師	中国語工 日比野 裕幸 (57) マア成31年4月> 音楽
								兼任	講師	勅使河原 晃司

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、**匿可時又は届出時から変更となっている箇所は太宇の赤宇としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、<u>それぞれの年度の5月1日時点の選年齢</u>を記入してください。
  ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

#### 【平成29年度】

```
【下版23十成】
・専任教員の変更に伴い、「地域創生演習I」、「地域創生演習I」、「卒業研究I」、「卒業研究I」の担当を、糟谷昌志教授から藤澤由和教授へ変更
・「応用統計処理」、「地域福祉政策」、「社会調査法」、「多変量解析」は、糟谷昌志教授の専任教員配置の見直しにより、専任から兼担へ変更
・専任教員の変更に伴い、「地域創生演習I」、「地域創生演習I」、「卒業研究I」、「卒業研究I」の担当を、徳永幸之教授から佐々木秀之准教授へ変更
全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」の担当を、徳永幸之教授から藤澤由和教授へ変更
「事業構想学概論」、「地域政策概論」、「数理計画」、「多変量解析」、「国土・地域計画」、「交通計画」は、徳永幸之教授の専任教員配置の見直しにより、専任から兼担へ変更
 ・クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading Skills I」、「English Self-Expression I」、「English Reading SMITHEW NALL助教担当分については実施せず
・時間割編成に伴い、「中国語I」。「中国語I」の担当を、素莉臺講師から、西貝定行講師へ変更
・新規専任教員採用に伴い、「日本の歴史と文化」、「東北の歴史と文化」の担当を、伊藤大介講師から、三好俊文准教授へ変更
・時間割編成に伴い、「音楽」の担当を、佐藤寿一講師から渡部勝彦講師へ変更
・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」の担当を、在藤駿講師から言原謙准教授へ変更
・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」の担当を、本村敏明講師から菅原謙准教授へ変更
・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」の担当を、本村敏明講師から菅原謙准教授へ変更
・新規専任教員採用に伴い、「大学学校」の担当を、本村歌明講師から中宗長卓講師へ変更
・新規専任教員採用に伴い、「本理科学」、「数学概論」の担当を、当野秀壽講師から三清幸平准教授を変更
・事任教員の変更に伴い、「地域創生演習 I」、「地域創生演習 I」、「卒業研究 I」、「卒業研究 I」、「卒業研究 I」の担当を、石田祐准教授へを変更・専任教員の変更に伴い、「地域利学」の担当に、三浦幸平准教授を追加
・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、三京投資と追加
・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、三京投資と追加
・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、一部が表授を追加・・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、東京教授を追加・複数クラス開講のため、「情報化社会と技術」、「データサイエンス入門」の担当に、秋月治教授を追加
・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、中田干彦教授担当
・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、中田干彦教授担当
・追加開講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、康部議第書師知当
・追加開講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、高山登講師担当
・追加開講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、高山登講師を追加
・追加開講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、高山登講師を追加
・追加開講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、高山登講師を追加
・追加明講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、高山登講師を追加
・追加明講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、憲知文昭講師を追加
・追加明講科目の、「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、憲知文昭講師を追加
                                                                                                                                                          「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」の担当を、石田祐准教授へ変更
```

#### 【平成30年度】

```
「宮城大学の知の体系」の担当者を原玲子、風見正三、西川正純へ変更
め、「社会の中で生きる」の担当者を藤澤由和、石田祐、菅原謙、三好俊文、仲宗根卓
 ・学群長変更により,「宮
・少人数教育実施のため,
 ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を佐々木秀之、石内鉄平、舟引敏明、徳永幸之、山本まゆみ、伊藤真市、内田直仁、弓谷行宏へ
・全学群で共通科目として授業を実施するため,「アカデミック・セミナー」の担当者を佐々木秀之,石内鉄平,舟引敏明,徳永幸之,山本まゆみ,伊藤真市,内田直仁,弓谷行宏へ変
・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、安齋由貴子、大熊恵子、高橋信人、石田祐、風間
海郎 山沢峡へ変更
・クラス数の見直しのため、
                               「情報化社会と技術」の担当者を茅原拓朗、富樫敦、須栗裕樹、秋月治、萩原潤、高橋信人へ変更
                              「情報化社会と技術」の担当者を茅原拓朗、富樫敦、須樂裕樹、秋月治、萩原潤、高橋信人へ変更「データサイエンス入門」の担当者を三浦幸平、富樫敦、須樂裕樹、萩原潤、石内鉄平へ変更「English Reading Skills I」の担当者を小島さつき、曾根洋明、佐藤麗、川井一枝、弓谷行宏、畠山喜彦へ変更「English Self-Expression I」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English Reading Skills II」の担当者をWilson、内all、Macdonald、Changへ変更「English Reading Skills II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English For Academic Purposes II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English for Academic Purposes II」の担当者をWilson、Nall、Macdonald、Changへ変更「English for Academic Purposes II」の担当者をWilson、か更
  クラス数の見直しのため、
クラス数の見直しのため、
  クラス数の見直しのため、
    ラス数の見直しのため、
  クラス数の見直しのため,
  クラス数の見直しのため、
クラス数の見直しのため、
                              「Extensive Listening」の担当者を曾根洋明へ変更「Practical English」の担当者を曾根洋明へ変更「全学自由ゼミ」の担当者を藤澤由和、三好俊文、川村保へ変更
  クラス数の見直しのため、
  クラス数の見直しのため、
クラス数の見直しのため、
```

```
クラス数の見直しのため、「美術」の担当者を土岐謙次、青野文昭へ変更
   クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を真覚権、石川伸一、武田和久、風間逸郎、白川愛子へ変更
クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を真覚権、石川伸一、武田和久、風間逸郎、白川愛子へ変更
クラス数の見直しのため、「心理学」の担当者を山田嘉明、真覚健へ変更
   ・学外での演習を伴うため、「コミ
石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
  学外での演習を伴うため。
                                             「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田
      安齋由貴子、中沢峻へ変更
・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三,郷古雅春,平岡善浩,桂晶子,河西敏幸,高橋信人,大熊恵子,佐々木秀之,千
葉克己,石田祐,安齋由貴子,中沢峻へ変更
 ・学外での演習を伴うたの、「コミューナイ・ノフンアーノィールトソーク演旨」の担当日を風元正二、200日18日、「10日日は、京東己、石田祐、安齋由貴子、中沢峡へ変更・2 泊加開講科目の「産学連携講座 I」は、藤澤由和教授、川村保教授が担当・追加開講科目の「産学連携講座 I」は、高大学・企業の担当者を発見、正元、石田祐、変更・2 カース数の見直しのため、「地域記性化とビジネス」の担当者を風見正三、石田祐へ変更・クラス数の見直しのため、「地域政策概論」の担当者を飛引歌明へ変更・タラス数の見直しのため、「地域政策概論」の担当者を飛引歌明へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインII」の担当者を展見正三、宮崎良徳へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインII」の担当者を藤澤由和へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップ I」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、内田直仁、鈴木優、庄司貞雄へ変更・クラス数の見直しのため、「マクロ経済学」の担当者を積谷昌志、板明果へ変更・ラス数の見直しのため、「マクロ経済学」の担当者を積谷昌志、板明果へ変更・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「社会調査法」の担当者を描谷昌志へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I」の担当者を風見正三、高員活也へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I」の担当者を感見正三、高員活也へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I」の担当者を属見正三、高員活也へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 II」の担当者を展見正三、高員活也へ変更・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 II」の担当者を極原中に、高良浩也へ変更・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域社会学)の担当者を体々木秀之、三好後文へ変更・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域社会学」の担当者を体々本秀之、三年、日本の表現を述し、本本で
   マ山教教の変化にアリニョネ変を少にが、「やるは五子」の担当者を極いれて、
少人教教育実施のため、「地域分析学」の担当者を右内鉄平、板明果へ変更
高力教授の退職に伴い、「マーケティング」の担当者を都世蘭、高山純人へ変更
高力教授の退職に伴い、「販売促進」の担当者は次年度までに補充予定(今年度は開講せず支障なし)
  ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「地域創生演習 I 」の担当者を風見正三、藤澤由和、佐々木秀之、石田祐、舟引敏明、郷古雅春、千葉克己、板明果、高橋信人、石内鉄平へ
変更
  ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため,「地域創生演習Ⅱ」の担当者を風見正三,藤澤由和,佐々木秀之,石田祐,舟引敏明,郷古雅春,千葉克己,板明果,高橋信人,石内鉄平へ
  ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「卒業研究I」の担当者を風見正三、藤澤由和、佐々木秀之、石田祐、舟引敏明、郷古雅春、千葉克己、板明果、高橋信人、石内鉄平へ変更
  ・専任教員の変更に伴う担当者変更のため、「卒業研究Ⅱ」の担当者を風見正三、藤澤由和、佐々木秀之、石田祐、舟引敏明、郷古雅春、千葉克己、板明果、高橋信人、石内鉄平へ変更
   【令和元年度】
                 教育担当者が実施するため、
                                                              「キャリアデザインI」の担当者に田邉信之を追加
  ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
   全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
   時間割編成に伴い
                                 「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川
島滋和、中沢峻へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionI」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionII」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionII」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
・ウラス数の見直しのため、「中国語IJ」、「中国語II」の担当者に王效紅を追加
・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を田邉信之、金子浩一、郷古雅春、佐々木秀之、中田千彦、鈴木優へ変更
・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡跡勝彦から日比野裕幸へ変更
・ウラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を中田千彦、庭野護、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を中田千彦、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
・クラス数の見直しのため、「常給芸術」の担当者を中田千彦、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・ブランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
 ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴
子、中沢峻、小林仁へ変更
       ラス数の見直しのため、
                                              「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石
田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
   新規教員採用に伴い、「公法」が12日1日で11日で11日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日では、12日
                                                                                                                                   、
「兼任」、「講師」から「兼担」、「助教」へ変更
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - **盟可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。
    ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
    なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設 置基準上の必要専任教 員数	うち、完成年度時にお ける設置基準上の必要 教授数
8	4
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) -② 専任教員数【大学】

		設置時の計画	<u> </u>			現在	(報告時) <i>0</i> .	)状況	
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	1	1	1	8	4	5	1	n	10
(5)	(1)	(1)	(1)	(8)	,	3		Ü	10
	現在(報告日	時)の完成年	F度時の状況	,		現在(報告	寺)の完成年	度時の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)
4	5	1	0	10	4	5	1	0	10
[△1]	[4]	[0]	[△1]	[2]	[△1]	[4]	[0]	[Δ1]	[2]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: $\triangle$ 1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: $\triangle$ 1)

- (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)		ち、定年を延長して
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
    [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由					
			必修	地域創生演習 I	(1)						
			必修	地域創生演習 Ⅱ	1	1					
1	助教	物部 寛太郎	必修	卒業研究I	1)	一 一身上の都合による退職のため就任辞退(29 		りため就任	迁辞退(29)		
			必修	卒業研究Ⅱ	1						
			選択	地理情報分析	1						
		合計	(D)			後任補充状況の集計(E)					
	就任を辞退した教員数 担当科目数の合計(a)+(b)+			† (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)				)		
			必修	4 科目	必修 4	科目	<b>公修</b>	0 科目	必修	0	科目
	1	1	選択	1 科目	選択 1	科目 違	選択	0 科目	選択	0	科目
	'	^	自由	0 科目	自由 0	科目	由	0 科目	自由	0	科目
			計	5 科目	計 5	科目	計	0 科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
  - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -② 専仟教員辞仟の理由及び後仟補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
	該当なし							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)		
		音計	(F)			後世補工仏流の集計 (G)		
	辞任	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	1	† (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	

- (注) · 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計	十数 (a)	)	②の合計	ł数(b)	)	③の合計	†数(c	)	
		必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
1	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

#### (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号 職	. 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
	該当なし								
			É	計			後任補充状況の集計		
	辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)					
	該当なし								

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の番号 1 については、退職は一身上の都合(家庭の事情)によるものであり、真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職 を認めた。学生に対しては、平成27年4月5日に実施したオリエンテーションで専任教員を発表しており、今年度については当該教員の開講科目が 存在しないため教育上の支障は発生しない。(29)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履行状況	今後の の実施計画
設 置 時 (H28年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (H29年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況調 査 時(H30年)	該当なし	履行中	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

# 7 その他全般的事項

## 〈事業構想学群 地域創生学類〉

## (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

### ① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学のカリキュラムマネジメントは、平成29年度以降カリキュラムセンターがその中心を担っている。カリキュラムセンターは教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、成績評価に関するガイドラインの策定、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営等を行っている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

<カリキュラムセンター運営会議>

平成30年度は11回開催

第1回 平成30年4月11日

第2回 平成30年4月25日

第3回 平成30年5月23日

第4回 平成30年6月27日

第5回 平成30年7月25日

第6回 平成30年9月26日

第7回 平成30年10月31日

第8回 平成30年11月28日 第9回 平成30年12月21日

第10回 平成31年1月30日

第11回 平成31年2月27日

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

平成30年度

第1回 平成30年4月11日

1 平成30年度カリキュラムセンターの年度計画及び運営体制等について

第2回 平成30年4月25日

1 平成29年度 年度計画確定実績について

2 平成29年度後期 授業改善計画作成について

第3回 平成30年5月23日

- 1 学修状況可視化システムalaginの可視化指標について
- 2 平成30年度FD・SDの実施について
- ・ハフ・・ス・ファンスパーフランス 3 奈良県立大学連携プログラム及び産学連携講座について
- 4 科目ナンバリングについて
- 5 科目名称の英語表記について

第4回 平成30年6月27日

- 1 認証評価における指摘事項に対する改善状況について
- 2 授業評価・授業改善について
- 3 ミドル・ミクロFDの実施計画について
- 4 学修行動調査について
- 5 奈良県立大学連携プログラムの派遣学生について
- 6 東北大学 新任教員・大学教員準備 プログラムにおける授業参観への協力について

### 第5回 平成30年7月25日

- 1 全学SD・FDプログラムの詳細と役割分担について
- 2 シラバスの記載項目について
- 3 ルーブリック作成マニュアルについて
- 4 平成29年度後期学群教育改善計画について
- 5 ミドル・ミクロFDの企画について(研究科・追加分)
- 6 産学連携講座(東北電力)の非常勤教員任用について

#### 第6回 平成30年9月26日

- 1 科目ナンバリングについて
- 2 科目分類名及び科目名(学群専門)の英語表記について
- 3 食産業学群カリキュラムの資格取得について
- 4 教職課程の変更について

### 第7回 平成30年10月31日

- 1 カリキュラムセンターの運営方針について
- 2 自己点検・評価報告について 3 各学群にもはまれる。
- 3 各学群における科目ナンバリングの検討結果について
- 4 H30年度計画進捗・予算執行状況とH31年度計画策定・予算作成について

### 第8回 平成30年11月28日

- 1 学則・履修規程の改正について
- 2 H30前期学群教育改善計画について
- 3 H31シラバス作成について
- 4 食産業学研究科ミドルFD企画について
- 5 実学教育充実のための教育プログラム企画募集について
- 6 H30年度計画進捗とH31年度計画策定・予算作成について
- 7 研究科の授業評価について
- 8 H31履修ガイドについて

#### 第9回 平成30年12月21日

- 1 卒業時の学修成果の測定について
- 2 H30年度暫定実績とH31年度計画について
- 3 H30年度最終補正予算及びH31年度当初予算要求について
- 4 H30前期学群教育改善計画について
- 5 研究科の授業評価について
- 6 H31履修ガイドについて
- 7 学則・履修規程の改正について
- 8 GPAの取扱いに関する要綱について
- 9 H30年度SD·FD実施報告書の作成について

### 第10回 平成31年1月30日

- 1 卒業時の学修成果の測定について
- 2 学則・履修規程の改正について
- 3 nigalaによるH30後期授業評価の実施について
- 4 GPA制度の取扱いに関する要綱について
- 5 研究科の授業評価(教育評価)について
- 6 H31科目担当教員について
- 7 ミドルFD企画の追加について

### 第11回 平成31年2月27日

- 1 実学教育充実のための教育プログラム企画について
- 2 食産業学研究科博士後期課程のDP・CPについて
- 3 食産業学群の資格要件について
- 4 H31奈良県立大学連携プログラムin奈良・宮城について
- 5 H31全学SD・FDについて

# ② 実施状況

- a 実施内容
- b 実施方法
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - ○全学SD・FD
    - SD「内部質保証システムの確立と効果的運用に向けて」
    - FD「確かの教育評価制度の構築に向けた、ルーブリックに関する基礎理解」
    - ・平成30年8月7日(火)開催
    - ·役員3/4名, 教員121/133名, 事務職員47/59名, 合計171/196名参加
    - ・学外講師による講演、学内講師による講演
  - 〇看護学群FD「ルーブリックの作成と活用における課題」
    - ·平成30年8月8日(水)開催
    - 学群教員43/45名出席
    - ・グループワーク方式で実施
  - 〇事業構想学群FD「ルーブリック作成の実践」
    - ·平成30年9月12日(水)開催
    - 教授会構成員26名出席
    - ・全学FDを踏まえての具体の議論

- 〇食産業学群FD「地域フィールドワークの技法」
  - 平成30年9月10日(月)開催
  - 学群教員34名出席
  - ・地域フィールドワークでのアクティブラーニング実践によるケーススタディ
- 〇基盤教育群FD「脱ゆとり教育による教育環境の変化を踏まえた教養教育の改善」
  - · 平成31年2月18日(月)開催
  - ·教員4名参加
  - ・高大接続に焦点を当てた基盤教育のあり方について
- 〇看護学研究科 F D 「修士論文作成における指導方策について」
  - ・平成30年11月7日(水)開催
  - •研究科教員22/23名出席
  - ・グループワーク方式で実施
- 〇事業構想学研究科FD「大学院における自治体枠による募集の活用と時間割の配置等について」
  - · 平成30年7月11日(水)開催
  - 教授会構成員27/31名出席
  - ・大学院における夜間開講や基礎教育についての改善について
- 〇食産業学研究科FD「学群と研究科の接続性について」
  - ·平成30年12月25日(火)開催
  - ·研究科教員30/33名出席
  - ・外部講師を招聘して他大学の事例から、学群と大学院の接続性について検討
- 〇カリキュラムセンターFD「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)を踏まえた高等教育 政策の動向について」
  - ·平成31年2月27日(水)開催
  - ・カリキュラムセンター教職員12名出席
  - ・学外講師による講演と質疑応答
- 〇スチューデントサービスセンターFD「配慮が必要な学生の特徴と対応の理解」
  - 平成30年12月25日(火)開催
  - ·教職員27名参加
  - ・保健室、学生相談室職員から利用状況と要配慮学生の対応について情報共有
- 〇アドミッションセンターFD「高大接続改革に伴う外部英語検定試験の入試活用に向けた勉強会」
  - · 平成30年10月4日(木)開催
  - •関係教職員7名参加
  - ・学外講師による各大学での外部検定試験の導入事例の紹介と対応に関する意見交換
- OアドミッションセンターFD「主体性評価にどのように取り組むか」
  - ·平成30年12月5日(水)開催
  - ·関係教職員16名参加
  - ・学外講師による主体性評価導入のためのメソッド講習、質疑応答
- 〇アドミッションセンター、スチューデントサービスセンター、カリキュラムセンター共催FD

「新入生アセスメント結果報告」

- · 平成30年9月4日(金)開催
- 関係教職47名参加
- ・外部講師による講演と質疑応答
- 〇キャリア・インターンシップセンター F D 「若い人材育成の重要性を踏まえた高等学校キャリア教育 の現状と課題について」
  - 平成31年1月9日(水)開催
  - 関係教職員18名参加
  - ・学外講師による高等学校でのキャリア教育の事例検討、質疑応答
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

平成30年度前期末(7月~8月)および後期末(2月~3月)にウェブ上でアンケートを実施した。

- b 教員や学生への公開状況, 方法等
  - ・授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
  - ・授業評価結果を受け、各学群の教育課程における授業改善に向けた実施計画を学群長が作成。
  - ・上記の計画に基づき、令和元年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
  - ・授業評価アンケートの回答率の向上を図るとともに、学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域創生学類は、人間の行動原理、社会システムの挙動等に関する基本的理論を踏まえ、少子高齢化、人口減少、震災復興など地 域社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源も活用することで地域課題の解決に取り組める人材を育成することを目的として いる。

初年度は, 新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を展開し、偏りなく幅広い教養を身につけるとともに、 |年後期には「学類配属」の指針となる学群共通の専門基礎科目として「事業構想学総論」「地域活性化とビジネス」「地域社会・産 業とデザイン」の3科目を開講するとともに、2年次進級時の「学類配属」を決定した。

2年目となる平成30年度は、学類での専門的な学びを学生自らが掘り下げ、2年後期には自らの専門性を踏まえたコース選択を行い、

ディプロマ・ポリシーで掲げる能力を着実に身につけているところである。 3年目となる令和元年度は、ゼミ配属となった指導教員の下で「地域創生演習Ⅰ・Ⅱ」といった科目を通してゼミでの学びが本格 化する。ここでの学びをより充実させられるよう,平成30年度に新設したラーニングコモンズ等を積極的に活用するとともに,引続 き学習環境の整備を行っていく

全学のカリキュラムマネジメントは、引き続きカリキュラムセンターが学群・学類と連携しながらその中心を担い、科目担当教員 宝子のカサキュラムマネクメントは、引き続きカサキュラムセンダーか子辞・子類と連携しなからその中心を担い、科目担当教員には「成績評価に関するガイドライン」を示すなど、成績評価の厳格化に向けた取組としている。また、3つのポリシーに基づいた「カリキュラムマップ」を学生向けに提示するとともに、学生の授業評価に基づく授業改善計画書の提出・改善を継続して実施している。加えて、令和元年度の本格を書き自由し、学生の学校成果を可視化するためのツール導入の準備を進めており、その基礎資料した。 となるWeb上の授業評価の回答率を向上させる取組に着手している。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて不断の見直しを行い、着実に取組を進めて いるところである。

#### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表 (予定) 時期

- ・本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その 前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末 (25年3月) に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- ・令和元年度に第3期認証評価を受審予定であり,現在自己点検・評価報告書を(財)大学基準協会に 提出したところである。

#### b 公表方法

・本学ウェブサイトにて公表している。 http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html

# ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合 していることが認定された。
- ・令和元年度に第3期認証評価を受審予定である。

## (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

# (5) 情報公表に関する事項

# 〇 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表 (予定) の有無 ( 有 )・ 無 )

- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2017年5月31日~現在)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人宮城大学

- (2) 大 学 名 **宮城大学**
- (3) 大学の位置

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( ) 書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

# (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ニシガキ マサル) <b>西垣 克</b> (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) <b>川上 伸昭</b> (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) <b>西垣 克</b> (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) <b>川上 伸昭</b> (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(カザミ ショウゾウ) <b>風見 正三</b> (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)
  - 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 <u>を追加してください。</u>
  - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄 5年以上の場合には、欄を設けてください。) ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
  - 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	ν <del>μ</del> -75
事業構想学群 価値創造 デザイン学類 学士(価値 創造デザイン学)	工学関係	年 4	人 80	年次 人 -	320	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

  - を異さるまとに場合は、「備考」に基定的の人気、変要キャスを取る十分を取る中では、「一番と記入してください。
    ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
    ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
    ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成	2	7 年	度	2	P成 2	2 8	3年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和元	年度	平均入学定員	開設年度から報 告年度までの平	
区	分	春季入	学	その他	の学期	春	季入学	ź i	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	均入学定員超過 率	Er fill
Α	、 入学定員	(	(		, ,		,	•	, Y		. 人 80 (-)		入 30 -)	人 8 (-				入学時は、一部の選抜区分を除き、事業構想 学群としての学群一括入試のため、学群全体 を各学類で按分して記載しており、2年次進
		[			]		[		]		[6]		6]	[6				級時に学類を決定して収容する。 なお, 入 学時に学類が決定している学生は, AO入試区
										286	-	361	-	295	-			分入学者8名, 外国人留学生入試区分2名の計 10名である。(29)
	志願者数	( [	)	( r	)	(	)	)	( ) г 1	(-) [6]	(-) [-]	(-) [5]	(-) [-]	(-) [4]	(-) [-]			記載については前年と同様であり、入学時に 学類が決定している学生は、AO入試区分入学
-		L	1	L		L		+		196	- [-]	257	- [-]	206	- [-]			者8名, 外国人留学生入試区分1名の計9名で
	受験者数	(	)	(	)	(	)	)	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1.06倍	-倍	ある。(30) 記載については前年と同様であり、入学時に
		[	]	[	]	[	]	1	[ ]	[4]	[-]	[5]	[-]	[4]	[-]			学類が決定している学生は、A0入試区分入学 者9名、外国人留学生入試区分1名の計10名で
	合格者数	,		,	,	,	,	. 1	, ,	86 (-)	(-)	87	(-)	91 (-)	- (-)			有9名, 外国人由子主人試区が1名の計10名である。(元)
	口俗名数	[	1	Γ	1	ſ	í	Ί.	( ) [ ]	[2]	[-]	(-) [1]	[-]	[1]	(-) [-]			
			Ť	_		Ē		Ť		84	-	85	-	87	-			
E	3 入学者数	(	)	(	)	(		)	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
1	学定員超過率	L	J	L	J	L			L J	[2]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]			
_^	字正貝超迥平 B/A									1	. 05	1.	06	1.	08			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
  - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - ・ [ ]内には、 $\underline{\mathbf{MYE}}$ の状況について内敷で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	7 年度	平成 2	8 年度	平成2	9 年度	平成 3	0 年度	令和力	元年度	備考
学 :	年	春季入学	その他の学期									
						84	-	85	-	87	-	1年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、事業構想学群と しての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載してお
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[2]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]	り、2年次進級時に学類を決定して収容する。
		( )	( )	( )	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)		なお、入学時に学類が決定している学生は、AO入試区分入学者8名、 外国人留学生入試区分2名の計10名である。(29)
								82	-	85	-	記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生 は、AO入試区分入学者8名、外国人留学生入試区分1名の計9名であ
	2 年次			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[2]	[-]	[1]	[-]	<b>ర</b> . (30)
				( )	( )	( )	( )	(0)	(-)	(4)	(-)	記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、AO入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分1名の計10名であ
										77	-	る。(元)
	3年次					[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[1]	[-]	
						( )	( )	( )	( )	(0)	(-)	
	4 年次			/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
								( )	( )	( )	( )	
	·					8	34	1	67	2	49	
	計	[	]	[	]	[:	2]	[3	3]	[;	3]	
		(	)	(	)	(-	-)	(	0)	(!	5)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
   ・ [ ]内には、留学生の状況について内敷で記入してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
   ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
   ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。

  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、 $\underline{\mathbf{64E}}$ の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

## (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		<b>之</b> 4.7月尚 田 占
	在学者数(b)	退学者数(a)	- w		者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	12 <b>1</b> = 1 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
十成20十段	0 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成29年度	210 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成30年度	209 人	2 人	平成28年度	0 人	0 人	
十成30千度	209 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	・他の教育機関への進路再考(2)
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
令和元年度	215 人	2 人	平成29年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			平成30年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

### 【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b)	· =	0	=	#DIV/0! %
【平成28年度】				
平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	· =	0	=	#DIV/0! %
【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	· =	210	=	0 %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	· =	209	=	0.95 %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	=	2 215	=	0.93 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

# 2 授業科目の概要

<事業構想学群 価値創造デザイン学類>

# (1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】	【認	可以	又	は届	Ж	時】
------------	----	----	---	----	---	----

£i 🗆		配业	-	単位数 選	自	教	准准	損等 講	助助	<u></u> 助	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	. —			教				兼
	京は土労の知の仕る	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	宮城大学の知の体系 大学での学び入門	1前 1前	2								3
	社会の中で生きる	1前	1								1
	キャリアデザインI	1後	1								1
	スタートアップ・セミナー	1前	2								1
	アカデミック・セミナー	1後	2								1
	地域フィールドワーク	1前	2								1
	情報化社会と技術	1後	2			1					
	データサイエンス入門	1前	2			1					_
	English Reading Skills I English Self-Expression I	1前 1前	1								5 5
	English Reading Skills I	1後	1								5
	English Self-Expression II	1後	1								5
	English for Academic Purposes I	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic Purposes II	2後		1							3
	Extensive Listening	2後		1							3
	Practical English	2前		1							3
	中国語I	1・2前		1							1
	中国語 I 韓国語 I	1·2前 1·2後		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語 I	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies Ⅱ	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
<b>.</b>	全学自由ゼミ	1・2休		1							1
基盤	日本の歴史と文化 世界の歴史と文化	1·2前 1·2後		2							1
教	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
育科	音楽	1・2前		2							1
B	美術	1・2後		2			1				ı .
	ht de 7 1 117										_
	健康科学 スポーツ科学	1・2前		2							3
	スポーツ実技	1 · 2前 1 · 2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学	1・2前		2							1
	現代社会の諸相	1・2後		2							1
	憲法	1・2後		2							1
	社会と経済	1・2後		2							1
	数理科学 生命科学	1・2前		2							1
	生 前科字 環境科学入門	1·2前 1·2後		2 2							1
	地球と宇宙	1・2後		2							1
	数学概論	1・2前		2							1
	物理概論	1・2前		2							1
	化学概論	1・2後		2							1
	生物概論	1・2後		2							1
	基礎統計学	1後	2								1
	日本語Ⅰ	1前		1							1
	日本語 II 日本語 II	1後		1							1
	日本語以	2前 2後		1							1
	日本事情 I	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
	小計(58科目)	Ê		Ė							Ė
	コミュニティ・ブランナー概論及び演習	2前		2							1
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						1
全		3前			2				l		1
全学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習			-							
学共	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1
学				2							1

# 【令和元年度】

£0 -											
		配		单位数			任教				兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	
巨刀		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	宮城大学の知の体系	1前	2	1)(	Ш	汉	汉	lili	狄	Т	担 3
	大学での学び入門	1前	1			1					0
	社会の中で生きる	1前	1			'					5
	キャリアデザイン I	1後	1								2
	スタートアップ・セミナー	1前	2			1					7
	アカデミック・セミナー	1後	2			l i					7
	地域フィールドワーク	1前	2			l i					12
	情報化社会と技術	1後	2			1					5
	データサイエンス入門	1前	2			0					5
	English Reading Skills I	1前	1								6
	English Self-Expression I	1前	1								5
	English Reading Skills I	1後	1								5
	English Self-Expression I	1後	1								4
	English for Academic Purposes I	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic Purposes II	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1							1
	中国語 I	1・2前		1							2
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	韓国語 I	1 - 2前		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語 I	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies II	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
基	全学自由ゼミ	1・2休		1		1	1				4
盤	日本の歴史と文化 世界の歴史と文化	1·2前 1·2後		2							1
教	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
育科	音楽	1・2板		2							1
目	美術	1・2側		2		1	0				1
	アートサイエンス概論	1前		1		3	0				4
	総合芸術	1集中		i		2	ŏ				4
	健康科学	1・2前		2		_					5
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2後		1							1
	現代社会と哲学	1・2前		2							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学	1・2前		2							2
	現代社会の諸相	1・2後		2							1
	憲法	1・2後		2							1
	社会と経済	1・2後		2							1
	数理科学	1・2前		2							1
	生命科学	1・2前		2							1
	環境科学入門	1・2後		2							2
	地球と宇宙	1・2後		2							1
	数学概論	1・2前		2							3
	物理概論	1・2前		2							2
	化学概論	1 - 2前		2							2
	生物概論	1 - 2前		2							3
	基礎統計学	1後	2								4
	日本語Ⅰ	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	2前		1							1
	日本語IV 日本事情 I	2後		1							1
	日本事情Ⅱ	1前		2							1 1
	小計(60科目)	1後				-					$\vdash$
	/ハ吉丁 ( DU介斗 日 ) コミュニティ・ブランナー概論及び演習	2前		2		1					12
	コミュニティ・ブランナー実践論	2後		_	2	l i					11
全学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前			2	i i					10
共	グローバルインターンシップ	1・2休		2	-	Ī .					1
通	学外研修	1・2休		2							1
科目	産学連携講座 I	1・2通			1						i
-	産学連携講座Ⅱ	1・2通			1		0				1
	小計(7科目)										

寅	エンタテイレメントデザイン 風土・伝統デザイン グラフィックデザイン演形・プロダットデザイン造形・プロダットデザイン 感性デザインを性デザイン を性デザインは告いデザインは をはいアフロダットデザイン演習 デザインマネネジメント 知的財産管理	4前前前前後後後後前前前 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 1		2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	1 1 1		1 1 1 1 1
専門科目	知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I 生活環境で大化 生活環境で大化 生活環境でデザイン演習 I 環境心理・行動学 景語環境デザイン演習 I 様語環境デザイン演習 I 構造力学 I	4前後後後前前前後後後前 333333333333333333333333333		2 2 2 2 2 2 3 2 2 3 2	2 1 3 3			1 1 1 1 1
	は 対 対 対 学 画 国 国 支 主 ・ 地 も は き の 力 学 は 造 力 一 般 は 造 力 一 般 は 造 力 一 般 は で に も は さ 力 一 般 は で に も は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま ま は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	3前前前後後後後後後 3前前前後後後後後後後		2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1			1 1 1 1 1 1 1 1
	注案放哺 都市計画 災害の科学(水) 地盤工学 耐震設計法 建築コスト 地区・街区計画 ファシリティマネジメント サスティナブルデザイン	3後後後前前前前前 4前 4前 4前		2 2 2 2 2 2 2 2 2	1			1 1 1 1 1
卒	測量 小計(57科目) 卒業研究サーベイ 卒業研究 I	4前 - 3後 4前	2 4	2	6	1 1	1 1	2

		_					_		_	_
	事業構想学概論	1後	2							1
	地域活性化とビジネス	1後	1							2
	地域社会・産業とデザイン	1後	1		1					0
										v
	価値創造デザイン学基礎	2前	2		3					
	情報と環境	2前	2		1					
	色彩と形態	2前	2		1	0				
						-				
	価値創造デザイン演習I	2前	2		2	0				
_	応用情報処理	2前	2							1
専	応用統計処理	2前	2							1
門	キャリアデザインⅡ	2前	1							3
基										-
礎	インターンシップ I	2前	2			1				6
	身体と認識	2後	2		- 1					
科	伝統と文化	2後	2		2	0				
目	素材と加工	2後	2		2	Ō				
	価値創造デザイン演習Ⅱ		_		_					
		2後	2		1	1		0		
	数理計画	2後	2							1
	キャリア開発 I	2後	1							3
	構造と機能	3前	2		2	0				
	キャリア開発Ⅱ		1		_	_				3
	_	3前	'							_
	インターンシップ Ⅱ	3前		2		1				6
	キャリア開発Ⅲ	3後	1							3
	小計(21科目)									
<b>—</b>	メディアプログラミング	2後	<del></del>	2		1		_	$\vdash$	$\vdash$
					0			0		
	ウェブプログラミング	2後		2	1			0		
	情報構造と可視化	2後		2						1
	感性情報デザイン演習 I	2後		2	1	1		0		
	ユニバーサルデザイン	3前		2	i i	-		1		1
	インタフェースデザイン					4		_		' '
		3前		2	0	1		0		
	コンピュータグラフィクス	3前		2	1					
	ウェブデザイン	3前		2	1			0		
	感性情報デザイン演習 Ⅱ	3前		3	i i	1		ō		1
	エクスペリエンスデザイン	3後		2	i	•		· ·		' '
								_		
	感性情報デザイン演習Ⅲ	3後		3	3	- 1		0		2
	情報サービスデザイン I	3前		2						2
	フィジカルコンピューティング	3前		2	0	1				
	音響・映像デザイン				1					4
		3前		2	'					1
	情報サービスデザインⅡ	3後		2						2
	空間情報コンピューティング	3後		2	1					
	エンタテインメントデザイン	4前		2						1
	風土・伝統デザイン			2	•	•				'
		3前			2	0				
	グラフィックデザイン	3前		2	1	0				1
	造形・プロダクトデザイン演習 I	3前		3	2	0				
	インテリアデザイン	3前		2	1					1
	造形・プロダクトデザイン	3後		2	1	0				•
						v				
	感性デザイン評価法	3後		2	1					
	編集・広告デザイン	3後								
				2	1					
	造形・プロダクトデザイン演習 Ⅱ					0				
		3後		3	1 <b>2</b>	0				1
	デザインマネジメント	3後 4前		3 2		0				1
	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント	3後 4前 4前		3 2 2		0				1
車	デザインマネジメント	3後 4前		3 2		0				
専門	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント	3後 4前 4前 4前		3 2 2 2	2	0				1
門	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論	3後前 4前 4前 2後		3 2 2 2 2	2	0				1
門科	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史	3後前前 4前前後後 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		3 2 2 2 2 2	2 1					1
門	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I	3後前前4 4前前後後後 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		3 2 2 2 2 2 2	2	0				1 1
門科	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建生活環境デザイン演習 I 生活環境工学	3後前前前後後後 4前前後後後 3前		3 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1					1 1 1
門科	デザインマネジメントプロジェクトマネジメント知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境でサイン演習 I	3後前前4 4前前後後後 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		3 2 2 2 2 2 2	2 1					1 1
門科	デザインマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建生活環境デザイン演習 I 生活環境工学	3後前前前後後後前前 200 300 300 300 300 300 300 300 300 300		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3	1				1 1 1 0
門科	デザインマネジメントプロジェクトマネジメント知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I 生活環境でサイン演習 I 生活環境で化 生活環境デザイン演習 I	3後前前前後後後前前前 200 300 300 300 300 300 300 300 300 300		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3	2 1	1				1 1 1 0 1
門科	デザインマネジメントプロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I 生活環境工学 都市と文化 生活環境デザイン演習 I 環境心理・行動学	3後前前前後後後前前前後 200 300 300 300 300 300 300 300 300 300		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3	1				1 1 1 0 1 1
門科	デザインマネジメントプロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I 生活環境工学 都市と文化 生活環境デザイン演習 I 環境心理・行動学 景観工学	3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1
門科	デザインマネジメントプロジェクを管理 生活環境デザイン概論 生活環境・デザイン演習 生活環境・デザイン演習 生活環境・デザイン演習 生活環境・アザイン演習 生活環境・アザイン演習 環境・ロッ学 生活環境・アザイン演習 最初で学 生活環境・アザイン演習 生活環境・アザイン演習 生活環境・アザイン演習 II	3後前前前後後後前前前後 200 300 300 300 300 300 300 300 300 300		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3	1				1 1 1 0 1 1
門科	デザインマネジメントプロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメント 知的財産管理 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン演習 I 生活環境工学 都市と文化 生活環境デザイン演習 I 環境心理・行動学 景観工学	3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1
門科	デザインマネジメントプロジェクを管理 生活環境デザイン機論 建生活環境・デザイン演習 I 生活環境でデザイン演習 I 生活環境でデザイン演習 I 生活環境にデザイン演習 I 環境、工学 都市となデザイン演習 I 環境、工学 最近、工学 構造、工学 構造力学 I	3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1
門科	デザイントプロジェクを プロジェクを管理 生活環境デザイン 機論 建生活環環環境・デザイン 演習 生活環境はデザイン 演習 I 生活環境・ビークを 生活環境・ビークで 生活環境・ビークで 要は、デザイン 演習 I は、デザイン 演習 I は、デザイン 演習 I は、デザイン 演習 I は、デザイン 演習 I は、デザイン 演習 I は、デザイン 演習 I 材料	3 4 4 4 4 4 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1
門科	デザイントントプロジェクを デザインクをデザインを を表する。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	344前前後後後前前前後後後前前前 3333333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1
門科	デザイントントプロジェクを がリントの 対すなを理せをでする。 を表する。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	3後前前後後後前前前後後後前前前前 333333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1
門科	デザンント 知の大学を表示する。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	344前前後後後前前前後後後前前前 3333333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1
門科	デザイントントプロジェクを がリントの 対すなを理せをでする。 を表する。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	3 4 4 1 4 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1
門科	デプロジオリストント 知会 は では できない できない は できない できない できない できない できない できない できない できない	3 4 4 4 1 4 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプロシート では、	3後前前前後後後前前前後後後前前前前後後 33333333前前前後後		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプロシストントント 大力	3後前前後後後前前前後後後前前前後後後 3333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生発素を がロジ財現・ ママで管ザイン・ アプロ的防環史 境環環と境地で ママで管ザイン・ 大変・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3後前前後後後前前前後後後前前前後後後後 333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプロシストントント 大力	3後前前後後後前前前後後後前前前後後後 3333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプリカ生建生生都生環景生構材建国災構構建建施 でプリカリーでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	3後前前後後後前前前後後後前前前前後後後後 3333333前前前前後後後後 33333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建 インクをデザージリー ママで管ザインクをデザーが行っているでは、 ママで管ザイン学・では、 ママで管ザイン学・では、 ママで管ザイン学・では、 ママで管ザイン学・では、 でカカーと、 大きのカーと、 大きのカーと、 大きのカーと、 大きのカーと、 大きのか。 大きの。 大きのを たり。 大きのを たり。 大きのを たり。 大きのを との。 たりを とのを との。 とのを との。 とのを との。 とのを との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。	3 4 4 4 4 4 4 4 2 4 2 4 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都生ででいいる。 ママ管デザーン財境・デザーンが環境とでは、 ママで管デザイン・ では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 6 6 6 6 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災がいいたが、 では、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	3 4 4 4 4 4 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都生ででいいる。 ママ管デザーン財境・デザーンが環境とでは、 ママで管デザイン・ では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 6 6 6 6 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災がいいたが、 では、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	34 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐ザロが防環史境環と境理ではカントでで、デ境なデザーがは、大きなで、大きなでで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きな	34 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建 がいめ活築建造活活市環境観環力学計・のカカー法技設計の工設コ マヤ管デ ザダルエ境力学計・のカカー法技設計の工設コ マヤ管デ ザダル・ボール・カー・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボー	34 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地が口が防環と境ででは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大	3444前後後後前前前後後後前前前後後後後後後後前前前後後後前前前後後後前前前後後後前前前前		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 1 1	1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファントトトト 論 『 『学 『 画 上 智造境 水	34 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3	1 1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地が口が防環と境ででは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大	3444前後後後前前前後後後前前前後後後後後後後前前前後後後前前前後後後前前前後後後前前前前		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 1 1	1 1 1 1				1 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファサウ的活染度環境によりでする。 マハ産デザーの的環央境環と境心工境力学計・のカカー法技設計の工設コ、街テナイン財境・デ境化デザーの域や計・のカカー法技設計の工設コ、街テナインをデザーンででででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	34444444444444444444444444444444444444		3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 1 1	1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0
門科	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地アナル門がいりでは、 ボロットでは、 ボロいがが、 ・ ボロいがが、 ボロいがががががががががががががががががががががががががががががががががががが	34444422333333333333333333333333333333		3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 1 1	1 1 1 1				1 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0 0 0
門科目	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファステント、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	34444444444444444444444444444444444444		3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3 1 1	1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0
門科目	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地アナルトントントントントントントントントントントントントントントントントントントン	34444422233前前後後後前前前前前後後後後後後後後後前前前前前後後後後後後後後後前前前前前後後後後	2	3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3 1 1	1 1 1 1 1 1 2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0
門科目	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファサルットントトトーニー (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	3444 d m m m m m m m m m m m m m m m m m	2 4	3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 1 3 3 3 1 1 1 7 7 7 7	1 1 1 1 1		0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0
門科目	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地アッカ測小卒卒がいめ活築建環では、 インク産デーデ境に工境力学計・のカカー法技設計の工設コペーラーをです。 マト産デーデ境化デザーででは、 マト産デーデ境化では、 マト産デーデルイ・イン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルー	34444422233前前後後後前前前前前後後後後後後後後後前前前前前後後後後後後後後後前前前前前後後後後		3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 3 3 3 1 1	1 1 1 1 1 1 2		-		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0
門科目	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地アッカ測小卒卒がいめ活築建環では、 インク産デーデ境に工境力学計・のカカー法技設計の工設コペーラーをです。 マト産デーデ境化デザーででは、 マト産デーデ境化では、 マト産デーデルイ・イン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルーン・ルー	3444 d m m m m m m m m m m m m m m m m m	4	3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 1 3 3 3 1 1 1 7 7 7 7	1 1 1 1 1 1 2 2 2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0
門科目	デプ知生建生生都生環景生構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファサルットントトトーニー (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	3444 d i i i i i i i i i i i i i i i i i	4	3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 1 3 3 3 1 1 1 7 7 7 7	1 1 1 1 1 1 2 2 2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0

#### 卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※感性情報デザインコースは感性情報デザイン基幹科目24単位必修。 感性情報デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から12単位を選択す

る。 生活環境デザインコースは生活環境デザイン基幹科目20単位必修。 生活環境デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から16単位を選択す

♥>。 全学共通科目のコミュニティ・ブランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

#### 卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※感性情報デザインコースは感性情報デザイン基幹科目24単位必修。 \_ 感性情報デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から12単位を選択す

る。 生活環境デザインコースは生活環境デザイン基幹科目20単位必修。 生活環境デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から16単位を選択す

。。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。 【平成29年度】

		配	-	单位数			₹任教   *#				兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	宮城大学の知の体系 大学での学び入門	1前 1前	2			1					3 0
	社会の中で生きる	1前	1			'					1
	キャリアデザイン I	1後	1								1
	スタートアップ・セミナー	1前	2			1	1				6
	アカデミック・セミナー 地域フィールドワーク	1後	2			1	1				6 9
	情報化社会と技術	1前 1後	2			1					4
	データサイエンス入門	1前	2			Ö					5
	English Reading Skills I	1前	1								4
	English Self-Expression I	1前	1								2
	English Reading Skills II English Self-Expression II	1後 1後	1								3 2
	English for Academic Purposes I	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic Purposes II	2後		1							3
	Extensive Listening Practical English	2後 2前		1							3
	中国語 I	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2後		1							1
	韓国語I	1・2前		1							1
	韓国語 Ⅱ ベトナム語 I	1·2後 1·2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies II	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2前		2							1
基	全学自由ゼミ 日本の歴史と文化	1·2休 1·2前		1							1
盤	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
教育	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
科	音楽	1・2前		2							1
目	美術 アートサイエンス概論	1・2後		2			1				2
	総合芸術	1前 1集中		1		2					6
	健康科学	1・2前		2		•	•				3
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ 現代社会と哲学	1·2後 1·2前		1							1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学	1・2前		2							1
	現代社会の諸相	1・2後		2							1
	憲法 社会と経済	1·2後 1·2後		2							1
	数理科学	1・2前		2							1
	生命科学	1・2前		2							1
	環境科学入門	1・2後		2							2
	地球と宇宙 数学概論	1·2後 1·2前		2							1 3
	物理概論	1・2前		2							2
	化学概論	1 - 2前		2							1
	生物概論	1 - 2前		2							1
	基礎統計学 日本語 I	1後	2	4							4
	日本語Ⅱ	1前 1後		1			ĺ				1
	日本語皿	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ日本事情Ⅱ	1前		2							1
	日本事情 II 小計(60科目)	1後 -		2							1
	フトロー (OOイキロ) コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							1
全	コミュニティ・プランナー実践論	2後		-	2						1
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前			2		ĺ				1
共 通	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1
科	学外研修	1・2休		2							1
目											
	小計(5科目)										

【平成30年度】

<u> </u>	₹成30年度】			五 /十 米	h-	-	5 /T #/	口生	Δ #11.	<b>*</b>	兼
<b>41</b> D		配	必	単位数選	自	教	准	損等 講	助	助	任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	选	Н	叙	教	舑	БЛ	ΕVJ	·
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
	宮城大学の知の体系	1前	2								3
	大学での学び入門	1前	1			1					0
	社会の中で生きる	1前	1								5
	キャリアデザイン I	1後	1								1
	スタートアップ・セミナー	1前	2								8
	アカデミック・セミナー 地域フィールドワーク	1後 1前	2			1					8 11
	情報化社会と技術	1後	2			1					6
	データサイエンス入門	1前	2			0					5
	English Reading Skills I	1前	1								6
	English Self-Expression I	1前	1								4
	English Reading Skills II English Self-Expression II	1後	1								5 4
	English for Academic Purposes I	1後 2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	i								4
	English for Academic Purposes I	2後	·	1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1			Ì				1
	中国語 I 中国語 II	1・2前		1							1
	中国語 I	1 · 2後 1 · 2前		1			Ì				1
	韓国語Ⅱ	1・2後		i			Ì				1
	ベトナム語 I	1・2休		1			Ì				1
	ベトナム語 Ⅱ	1・2休		1							1
	Global Studies I	1・2前		2							1
	Global Studies II Intercultural Communication	1·2後 1·2前		2							1
	全学自由ゼミ	1・2前		1							3
基	日本の歴史と文化	1・2前		2							1
盤教	世界の歴史と文化	1・2後		2							1
育	東北の歴史と文化	1・2後		2							1
科目	音楽	1・2前		2			١.				1
н	美術 アートサイエンス 概論	1·2後 1前		2		2	1				1 6
	総合芸術	1集中		l i		1	Ιi				6
	健康科学	1・2前		2		•	•				5
	スポーツ科学	1・2前		1							1
	スポーツ実技	1・2前		1							1
	体を動かす楽しみ 現代社会と哲学	1·2後 1·2前		1 2							1 1
	人と宗教	1・2前		2							1
	心理学	1・2前		2							2
	現代社会の諸相	1・2後		2							1
	憲法	1・2後		2							1
	社会と経済	1・2後		2			Ì				1
	数理科学 生命科学	1·2前 1·2前		2			Ì				1
	環境科学入門	1・2後		2							2
	地球と宇宙	1・2後		2							1
	数学概論	1・2前		2							3
	物理概論	1・2前		2			Ì				3
	化学概論 生物概論	1 - 2前 1 - 2前		2							2
	基礎統計学	1後	2								4
	日本語 I	1前	-	1							1
	日本語Ⅱ	1後		1			Ì				1
	日本語皿	2前		1							1
	日本語IV 日本事情 I	2後 1前		1 2							1 1
	日本事情Ⅱ	1制		2							1
	小計(60科目)	· (X									$\vdash$
	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2		1					11
全	コミュニティ・ブランナー実践論	2後			2	1					11
学	コミュニティ・ブランナーフィールドワーク演習	3前			2	1					11
共通	グローバルインターンシップ 学外研修	1・2休		2			Ì				1
科	字外研修 <b>産学連携講座</b> I	1・2休 1・2通		۷	1		ĺ				2
目	産学連携講座Ⅱ	1・2通			i		1				2
	小計(7科目)										
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										

	事業構想学概論	1後	2							1
	地域活性化とビジネス	1後	1							1
	地域社会・産業とデザイン	1後	1		1					0
	価値創造デザイン学基礎 情報と環境	2前	2		3					
	TF報C環境 色彩と形態	2前	2		1	4				
	一色杉CIN 恐 価値創造デザイン演習 I	2前 2前	2		1	1				
	応用情報処理	2前	2		٠.	'				1
専	応用統計処理	2前	2							1
門	キャリアデザイン Ⅱ	2前	1							1
基	インターンシップ I	2前	2							1
礎	身体と認識	2後	2		1					
科	伝統と文化	2後	2		1	1				
目	素材と加工	2後	2			1				
	価値創造デザイン演習 II 数理計画	2後	2		2			1		
	数理計画  キャリア開発 I	2後 2後	2							1
	構造と機能	3前	2		1	1				'
	キャリア開発Ⅱ	3前	1		'	'				1
	インターンシップ I	3前	ľ	2						1
	キャリア開発Ⅲ	3後	1	_						1
	小計(21科目)	-								
	メディアプログラミング	2後		2	0			1		
	ウェブプログラミング	2後		2				1		
	情報構造と可視化	2後		2				١.		1
	感性情報デザイン演習 I	2後		2	1			1		
I	ユニバーサルデザイン	3前		2			l	4		1
	インタフェースデザイン コンピュータグラフィクス	3前		2	1			1		
I	コンヒュータクラフィクス	3前		2	1		l	1		
I	リンエノテ ザイン 感性情報デザイン演習 Ⅱ	3前 3前		2	1		l	1		
I	※注情報 アッイン 演音 II エクスペリエンスデザイン	3削 3後		2	1		l	'		
I	感性情報デザイン演習Ⅲ	3後		3	2		l	1		
	情報サービスデザインI	3前		2	-			'		2
I	フィジカルコンピューティング	3前		2	0		l			_
I	音響・映像デザイン	3前		2	1		l			
	情報サービスデザインⅡ	3後		2	-					2
	空間情報コンピューティング	3後		2	1					
	エンタテインメントデザイン	4前		2						1
	風土・伝統デザイン	3前		2	1	1				
	グラフィックデザイン	3前		2		1				1
	造形・プロダクトデザイン演習 I	3前		3	1	1				
	インテリアデザイン	3前		2	1					
	造形・プロダクトデザイン	3後		2		1				
	感性デザイン評価法	3後		2	1					
	編集・広告デザイン	3後		2	1					
	造形・プロダクトデザイン演習 II デザインマネジメント	3後 4前		3	1	1				4
	プロジェクトマネジメント			2						1
	知的財産管理	4前 4前		2						1
専門	生活環境デザイン概論	2後		2	2					'
科	建築史	2後		2	1					
目	生活環境デザイン演習Ⅰ	2後		2	3					
	生活環境工学	3前		2	Ů					1
	都市と文化	3前		2						1
	生活環境デザイン演習 Ⅱ	3前		3	3					
I	環境心理·行動学	3後		2			l			1
I	景観工学	3後		2			l			1
	生活環境デザイン演習Ⅲ	3後		3	3	l		l		
I	構造力学 I	3前		2			l			1
I	材料学	3前		2			l			1
	建築計画	3前		2	1	l		l		4
I	国土・地域計画  災害の科学(土)	3前		2			l			1
I		3前 3後		2			l			1
I	構造力学演習 構造力学演習	3後		1			l			1
	建築一般構造	3後		2		l		l		1
I	建築法規・環境法規	3後		2			l			1
I	施工技術	3後		2			Ī			1
	建築設備	3後		2		l		l		1
I	都市計画	3後		2			l			1
I	災害の科学(水)	3後		2			l			1
	地盤工学	3後		2		l		l		1
I	耐震設計法	4前		2			l			1
I	建築コスト	4前		2			l			1
	地区・街区計画	4前		2						1
I	ファシリティマネジメント	4前		2	1		l			
I	サスティナブルデザイン	4前		2			l			1
	測量 小計(57科目)	4前		2						2
卒	小計(57科目)  卒業研究サーベイ	3後	2		5	1	<del> </del>	1		
業	卒業研究 I	3版 4前	2		5	1		1		
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4後	4		5	1	l	1	ĺ	
研	卒業研究Ⅱ	412								
	卒業研究Ⅱ 小計(3科目)	中区								
研		<b>+</b> 1久								

	T										
	事業構想学概論	1後	2						l l		1
	地域活性化とビジネス	1後	1						l l		2
	地域社会・産業とデザイン	1後	1			1			l l		ō
	価値創造デザイン学基礎								l l		·
		2前	2			3			l l		
	情報と環境	2前	2			1			l l		
	色彩と形態	2前	2			1	0		l l		
	価値創造デザイン演習I					i i			l l		
		2前	2				1		l l		
	応用情報処理	2前	2						l l		1
専	応用統計処理	2前	2						l l		1
門	キャリアデザインⅡ	2前	1						l l		2
									l l		
基	インターンシップ I	2前	2				1		l l		4
礎	身体と認識	2後	2			1			l l		
科	伝統と文化	2後	2			1	1		l l		
B									l l		
Н	素材と加工	2後	2			1	1		l l		
	価値創造デザイン演習 Ⅱ	2後	2			1	- 1		0		
	数理計画	2後	2			-					1
	~~ <del></del>								l l		
	キャリア開発 I	2後	1						l l		2
	構造と機能	3前	2			1	1		l l		
	キャリア開発 Ⅱ	3前	1						l l		2
			٠.	_			4		l l		
	インターンシップ Ⅱ	3前		2			1		l l		4
	キャリア開発Ⅲ	3後	1						l l		2
	小計(21科目)										
		044		_		_	-		_		
	メディアプログラミング	2後		2		0	1		0		
	ウェブプログラミング	2後		2		1			0		
	情報構造と可視化	2後		2					l l		1
	感性情報デザイン演習Ⅰ	2後		2		1	1		0		'
Ī						1			U		
Ī	ユニバーサルデザイン	3前		2					l l		1
	インタフェースデザイン	3前		2		0	1		0		
Ī	コンピュータグラフィクス	3前		2		1	•		•		
Ī									١. ١		
	ウェブデザイン	3前		2		1			1		
Ī	感性情報デザイン演習 Ⅱ	3前		3		1	1		0		1
	エクスペリエンスデザイン	3後		2		i i	•				1
						-	4		_		_
	感性情報デザイン演習Ⅲ	3後		3		3	1		1		1
	情報サービスデザイン I	3前		2							2
	フィジカルコンピューティング	3前		2		0	1		l l		
				_			•		l l		
	音響・映像デザイン	3前		2		1			l l		
	情報サービスデザインⅡ	3後		2					l l		2
	空間情報コンピューティング	3後		2		1			l l		
	エンタテインメントデザイン								l l		
		4前		2					l l		1
	風土・伝統デザイン	3前		2		1	1		l l		
	グラフィックデザイン	3前		2			1		l l		1
	造形・プロダクトデザイン演習 I					4	1		l l		
		3前		3		1	- 1		l l		
	インテリアデザイン	3前		2		1			l l		
	造形・プロダクトデザイン	3後		2			1		l l		
	感性デザイン評価法	3後		2		1			l l		
									l l		
	編集・広告デザイン	3後		2		1			l l		
	造形・プロダクトデザイン演習 Ⅱ	3後		3		1	1		l l		
	デザインマネジメント	4前		2					l l		1
	プロジェクトマネジメント								l l		
		4前		2					l l		1
車	知的財産管理	4前		2					l l		1
門	生活環境デザイン概論	2後		2		2			l l		
科									l l		
17-7	建築史	2後		2		1			l l		
н	生活環境デザイン演習I	2後		2		3			l l		1
	生活環境工学	3前		2					l l		1
	都市と文化	3前		2					l l		1
						_			l l		'
	生活環境デザイン演習Ⅱ	3前		3	1	3	1	i			
Ī	環境心理·行動学	3後				-			1		
Ī	景観工学	3後		2		_					1
1	~~ ~~ ·					-					
	生活環接デザン 、空羽並			2							1
	生活環境デザイン演習Ⅲ	3後		2		3					1
	構造力学 I	3後 3前		2 3 2							1
		3後		2							1
	構造力学 I 材料学	3後 3前 3前		2 3 2 2		3					1
	構造力学 I 材料学 建築計画	3後 3前 3前 3前		2 3 2 2 2							1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画 国土·地域計画	3後 3前 3前 3前 3前		2 3 2 2 2 2		3					1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画	3後 3前 3前 3前		2 3 2 2 2		3					1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画 国土・地域計画 災害の科学(土)	3後前 3前前 3前 3前 3前		2 3 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画 国土・地域計画 災害の科学(土) 構造力学Ⅱ	3後前前前前前 3前前前前後		2 3 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画 国土:・地域計画 災構造力学Ⅱ 構造力学演習	3後前前前前前後後 3000 3000 3000 3000 3000 3000		2 3 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画 国土・地域計画 災害の科学(土) 構造力学Ⅱ	3後前前前前前 3前前前前後		2 3 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学 建築計画 国土:・地域計画 災構造力学Ⅱ 構造力学演習	3後前前前前前後後後 3000 3000 3000 3000 3000 3000		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学画 国土・地域計画 災害の科学 I 横造造力力学演造力力学演造造 建築法規・環境法規	3後前前前前後後後後 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学画 国主・地域計画 災害の科学 II 構造築力力 会議 建築法規・環境法規 施工技術	3後前前前前後後後後後 333333333333333333333333333		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材建工 i 地域計画	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1
	構造力学 I 材料学画 国主・地域計画 災害の科学 II 構造築力力 会議 建築法規・環境法規 施工技術	3後前前前前後後後後後 333333333333333333333333333		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構 村建王 大学 画域計 世子 画域計 世子 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建工等 当学画域計・ 地科学・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構 対 建 国 受 国 世 当 世 当 世 は は は は は は は は は は は は は	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建工等 当学画域計・ 地科学・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建 力学 画域学Ⅱ 画域学Ⅱ 画域学Ⅱ 高造造築築工築市害盤 意造造築築工築市害盤 表 表 表 表 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建 力学 画域学Ⅱ 演造築築工築市害盤震 動域学Ⅱ 演造造築築工築市害盤震 受力力一法技設計の工設 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係	3333333333333333333333333333333333333		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建地 学 画域学I 実計・地科学主等造造築・工築市害盤震築 のカカー、法技設計の工設コイ が関係では、関係では、 は、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策を	3 後前前前前後後後後後後後後前前前前後後後後後後後後後前前前前		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファシリテー 画域学(工管造等等工築市害盤震築工築市害盤震築工・電力力・温・大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3333333333333333333333333333333333333		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建地 学 画域学I 実計・地科学主等造造築・工築市害盤震築 のカカー、法技設計の工設コイ が関係では、関係では、 は、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策をは、対策を	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファナサー 画域学(I 習造策築工築市害盤震築区・サール科学学の地科学学の大投い。 一個	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建地フラー 一学 画域学Ⅱ 演奏 工築市害盤震築 工築市害盤震築 工築市害盤震築 工袋 司 を 対	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構材建国災構構建建施建都災地耐建地下生物・地科学・画域学・工築市害盤震築では、対学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
卒	構材建国災構構建建施建都災地耐建地フラー 一学 画域学Ⅱ 演奏 工築市害盤震築 工築市害盤震築 工築市害盤震築 工袋 司 を 対	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2	2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3	2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	構力学 I 対建主等 (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学)	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
業	構材建国災構構建建施建都災地耐建地アントン 単一 画域学 I 国告选等 変工 築市 害盤震築 区 教学 I 国 画 2 対	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	4	2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 6 6	2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
業研	構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファンナッツを発生を発生を発生をできる。 はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
業	構材建国災構構建建施建都災地耐建地アントン 単一 画域学 I 国告选等 変工 築市 害盤震築 区 教学 I 国 画 2 対	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	4	2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 6 6	2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
業研	構材建国災構構建建施建都災地耐建地ファントン 別・ 日本学	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	4	2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 6 6	2		0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

#### 卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※感性情報デザインコースは感性情報デザイン基幹科目24単位必修。 感性情報デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から12単位を選択す ス

ac。 生活環境デザインコースは生活環境デザイン基幹科目20単位必修。 生活環境デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から16単位を選択す

る。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

#### 卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業 研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※感性情報デザインコースは感性情報デザイン基幹科目24単位必修。 感性情報デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から12単位を選択する。

る。 生活環境デザインコースは生活環境デザイン基幹科目20単位必修。 生活環境デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から16単位を選択す

○○ 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学 外研修は基盤教育科目に参入可能。

# (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を

#### 黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

- · 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

#### 【平成29年度】

- ・カリキュラムセンター教員の異動により、「大学での学び入門」の担当者を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」の担当者を変更
- ・「キャリアデザインI」については、専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更
- ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任6」に追加 (「教授1」「准教授1」)
- ・少人数教育実施のため、「アカデミック・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任6」に追加 (「教授1」「准教授1」)
- ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任1」から「兼任9」に追加 (「教授1」)
- ・複数クラス開講のため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼任0」から「兼任4」に追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため担当者を変更,また,複数クラス開講のため,「データサイエンス入門」の担当者を「兼任0」か ら「兼任5」へ追加(「教授1」から「教授0」へ)
- ・新規教員採用に伴う担当者変更,産休による担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading Skills I」は「兼任 5」 から「兼任41へ減
- ・産休による担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため,「English Self-Expression I」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- ・新規教員採用に伴う担当者変更,クラス数の滅に伴う担当者の減のため,「English Reading SkillsⅡ」は「兼任5」から「兼任3」へ減
- ・産休による担当者変更,クラス数の減に伴う担当者の減のため,「English Self-Expression II」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- 時間割編成に伴い、「中国語I」は、担当者を変更
- ·「中国語II」は、履修の順序性を考慮し、配当学期を「1·2前」から「1·2後」へ変更、また、時間割編成に伴い担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「韓国語 I」は、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- 「全学自由ゼミ」は、事業構想学研究科 副研究科長へ担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「日本の歴史と文化」は、担当者を変更 ・新規専任教員採用に伴い、「東北の歴史と文化」は、担当者を変更

- ・時間割編成に伴い、「音楽」は、担当者を変更 ・オムニバス科目への変更に伴い、「美術」は、「兼任0」から「兼任2」へ担当者を追加
- ・複数領域にまたがる芸術等講義科目「アートサイエンス概論」を追加開講(「兼任6」 「教授2」, 「准教授1」)
- 芸術等科目の実習科目「総合芸術」を追加開講(「兼任6」)
- ・時間割編成に伴い,「健康科学」は,担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「現代社会と哲学」は、担当者を変更 ・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」は、担当者を変更
- ・時間割編成に伴い, 「心理学」は担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「憲法」は担当者を変更 ・新規専任教員採用に伴い、「数理科学」は担当者を変更
- ・オムニバス科目への変更に伴い、「環境科学入門」は担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「数学概論」は、新規専任教員採用に伴い担当者を変更、また、複数クラス開講のため担当者を「兼任 1」から「兼任 3」へ追加
- ・複数クラス開講のため、「物理概論」は、担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「化学概論」は、履修の順序性を考慮し、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更、また、時間割編成に伴い、担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「生物概論」は配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- ・複数クラス開講のため、「基礎統計学」は、担当者を「兼任1」から「兼任4」へ追加
- ・留学生対象科目のため、「日本事情 I 」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- ・留学生対象科目のため、 「日本事情Ⅱ」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- ・クラス数の減に伴い、「地域活性化とビジネス」は担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減・クラス数の減に伴い、「地域社会・産業とデザイン」は担当者を「兼任1」から「兼任0」へ減
- 「価値創造デザイン演習Ⅰ」は、 「教授0」から「教授1」へ追加 ・新規専任教員を追加のため、
- ・「身体と認識」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、 「教授2」から「教授1」へ減
- ・新規専任教員を追加のため、「価値創造デザイン演習Ⅱ」は、「教授1」から「教授2」へ増
- ・「メディアプログラミング」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授1」から「教授0」へ減・「感性情報デザイン演習I」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授2」から「教授1」へ減
- 「教授2」から「教授1」へ減
- ・「インタフェースデザイン」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授2」から ・新規専任教員を追加のため、「ウェブデザイン」は、「教授0」から「教授1」へ追加
- ・「感性情報デザイン演習Ⅱ」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授2」から「教授1」へ減
- 「教授2」から「教授1」へ減
- ・「エクスペリエンスデザイン」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授2」から「教授1」へ、・「感性情報デザイン演習Ⅲ」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授3」から「教授2」へ減
- ・「フィジカルコンピューティング」は、小嶋教授退職、現在後任未定により、「教授1」から「教授0」へ減・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い、「卒業研究サーベイ」は、担当者を「教授6」から「教授5」へ減
- ・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い、「卒業研究 I」は、担当者を「教授6」から「教授5」へ減 ・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴い、「卒業研究 I」は、担当者を「教授6」から「教授5」へ減
- 【平成30年度】
- 学群長変更により 「宮城大学の知の体系」の担当者を「吉田俊子」から「原玲子」へ変更
- ・少人数教育実施のため、「社会の中で生きる」の担当者を「兼任1」から「兼任5」へ追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を佐々木秀之、石内鉄平、舟引敏明、徳永幸之、山本ま ゆみ、伊藤真市、内田直仁、弓谷行宏に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を佐々木秀之、石内鉄平、舟引敏明、徳永幸之、山本まゆ 伊藤真市,内田直仁,弓谷行宏に変更
- ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任9」から「兼任11」へ追加
- クラス数の見直しのため、 「情報化社会と技術」の担当者を「兼任4」から「兼任6」へ追加
- 「English Reading Skills I」の担当者を「兼任4」から「兼任6」へ追加 クラス数の見直しのため、
- 「English Self-Expression I」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加 クラス数の見直しのため、 クラス数の見直しのため、 「English Reading Skills II」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加
- クラス数の見直しのため、 「English Self-Expression II」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加
- クラス数の見直しのため、 「English Self-ExpressionⅢ」の担当者を「兼任5」から「兼任4」へ減
- 「English for Academic Purposes II」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減 クラス数の見直しのため、
- クラス数の見直しのため、 「Extensive Listening」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減

- クラス数の見直しのため, 「Practical English」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減
- クラス数の見直しのため、 「全学自由ゼミ」の担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加
- クラス数の見直しのため、 「美術」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加
- クラス数の見直しのため、 「心理学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「現代社会の諸相」の担当者を「石田祐」から「菅原謙」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「化学概論」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加・クラス数の見直しのため、「生物概論」の担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「基礎統計学」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加
- 学外での演習を伴うため、 「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人,大熊恵子,佐々木秀之,千葉克己,石田祐,安齋由貴子,【特】中沢峻へ変更
- 「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を風見正三,郷古雅春,平岡善浩,桂晶子,河西敏幸,高橋信人,大 ・学外での演習を伴うため、 熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、【特】中沢峻へ変更
- ・学外での演習を伴うため,「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三,郷古雅春,平岡善浩,桂晶子,河西敏 幸,高橋信人,大熊恵子,佐々木秀之,千葉克己,石田祐,安齋由貴子,【特】中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・学生に有益な産学連携科目である。「産学連携講座 I 」を追加開講 (兼任2)・学生に有益な産学連携科目である。「産学連携講座 I 」を追加開講 (専任1, 兼任2)
- ・少人数教育実施のため、「地域活性化とビジネス」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加 ・専任教員採用により、「色彩と形態」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅠ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、内田直仁、鈴木優、庄司貞雄へ変更
- ・小嶋教授の退官に伴い、「身体と認識」の担当者を「小嶋秀樹」から「茅原拓朗」へ変更・少人数教育実施のため、「素材と加工」の担当者を土岐謙次、中田千彦へ変更

- ・クラス数の見直しのため、「価値創造デザイン演習Ⅱ」の担当者を鹿野護、鈴木優へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅰ」の担当者を風見正三、宮崎良徳へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を風見正三、高貝浩也へ変更
- キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップII」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、内田直仁、鈴木優、庄司貞雄へ変更
- 「キャリア開発Ⅲ」の担当者を風見正三、高貝浩也へ変更 キャリア教育担当者が実施するため。
- ・小嶋教授の退官に伴い、「メディアプログラミング」の担当者を「か嶋秀樹」から「鈴木優」へ追加 ・専任教員の採用に伴い、「ウェブプログラミング」の担当者を「鈴木優」から「鹿野護」へ変更
- 専任教員の昇格に伴い,「感性情報デザイン演習 I 」の担当者を「専任(助教)1」から「専任(准教授)1」へ追加
- 「インタフェースデザイン」の担当者を「小嶋秀樹」から「鈴木優」へ追加 ・小嶋教授の退官に伴い。
- 「感性情報デザイン演習Ⅱ」の担当者を蒔苗耕司、鈴木優、須栗裕樹へ追加 ・少人数教育実施のため。
- ・小嶋教授の退官に伴い、「エクスペリエンスデザイン」の担当者を「小嶋秀樹」から「茅原拓朗」へ追加
- ・少人数教育実施のため、「感性情報デザイン演習皿」の担当者を茅原拓朗、鈴木優、鹿野護、蒔苗耕司、須栗裕樹、橋本陽介へ追加
- ・小嶋教授の退官に伴い、「フィジカルコンピューティング」の担当者を「小嶋秀樹」から「鈴木優」へ追加・新規教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 I 」の担当者を「兼任0」から「兼任1」へ追加
- ・専任教員の採用、昇格等に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者を平岡善浩、井上誠、中田千彦、土岐謙次、鹿野護、茅原拓朗、蒔苗耕司、鈴 木優へ変更
- ・専任教員の採用,昇格等に伴い,「卒業研究I」の担当者を平岡善浩,井上誠,中田千彦,土岐謙次,鹿野護,茅原拓朗,蒔苗耕司,鈴木優? 変更
- ・専任教員の採用,昇格等に伴い,「卒業研究Ⅱ」の担当者を平岡善浩,井上誠,中田千彦,土岐謙次,鹿野護,茅原拓朗,蒔苗耕司,鈴木優へ 変更

#### 【令和元年度】

- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインI」の担当者を田邉信之、宮崎良徳へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、 川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川 井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更
- ・時間割編成に伴い、「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊 恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川島滋和、中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼任6」から「兼任5」へ減
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression I 」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明へ変更
- 時間割編成に伴い、 「English Self-ExpressionⅢ」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「中国語 I」、「中国語 II」の担当者を兼任1から兼任2へ追加 ・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を田邉信之、金子浩一、郷古雅春、佐々木秀之、中田千彦、鈴木優へ変更
- 「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更 時間割編成に伴い、
- ・専任教員の昇格に伴い、「美術」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「アートサイエンス概論」の担当者を「専任(准教授)1」、「専任(教授)2」から「専任(准教授)0」、「専任 (教授) 3」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を「兼任6」から「兼任4」へ減
- ・専任教員の昇格に伴い、「総合芸術」の担当者を「専任(准教授)1」、「専任(教授)1」から「専任(准教授)0」、「専任(教授)2」へ変 更
- ・クラス数の見直しのため、「総合芸術」の担当者を「兼任6」から「兼任4」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「物理概論」の担当者を「兼任3」から「兼任2」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- クラス数の見直しのため、 「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、 佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信 人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更

- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座I」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座I」の担当者を「兼任2」から「兼任1」へ減 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座II」の担当者を「専任(准教授)1」、「兼任2」から「専任(准教授)0」、「兼任1」へ減
- ・専任教員の昇格に伴い、「価値創造デザイン演習Ⅰ」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、「専任 (准教授)0」へ変更

- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップI」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小 地沢将之へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「伝統と文化」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、「専任(准教授)0」へ 変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「素材と加工」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、「専任(准教授)0」へ 変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発 I」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「構造と機能」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、「専任(准教授)0」へ 変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を田邉信之、高貝浩也、庄司貞雄へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅡ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小 地沢将之へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅲ」の担当者を田邉信之、高貝浩也、庄司貞雄へ変更
- ・少人数教育実施のため、「ユニバーサルデザイン」担当者を「専任(教授)0」から「専任(教授)1」へ追加・クラス数の見直しのため、「ウェブデザイン」担当者を「専任(教授)1」から「専任(助教)0」へ減
- ·H30に記載誤りがあったため、「感性情報デザイン演習Ⅲ」の担当者を「専任(助教)1」、「兼任1」から「専任(助教)0」、「兼任2」へ変 更
- ・少人数教育実施のため、「音響・映像デザイン」の担当者を「兼任0」から「兼任1」へ追加
- ・専任教員の昇格に伴い、「風土・伝統デザイン」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、「専任(准教 授) 0」へ変更
- ・専任教員の昇格に伴い、「グラフィックデザイン」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- 専任教員の昇格に伴い、 「造形・プロダクトデザイン演習 I 」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、 「専任(准教授)0」へ変更
- ・少人数教育実施のため、「インテリアデザイン」の担当者を「兼任0」から「兼任1」へ追加 ・専任教員の昇格に伴い、「造形・プロダクトデザイン」の担当者を「専任(准教授)1」から「専任(教授)1」へ変更
- 「造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ」の担当者を「専任(教授)1」、「専任(准教授)1」から「専任(教授)2」、 ・専任教員の昇格に伴い、 「専任(准教授)0」へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、「生活環境デザイン演習 I 」の担当者を「専任(准教授)0」から「専任(准教授)1」へ追加
- ・専任教員の採用に伴い、「都市と文化」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更
- ・新規教員の採用に伴い、「生活環境デザイン演習Ⅱ」の担当者を「専任(准教授)0」、「兼任0」から「専任(准教授)1」、「兼任1」へ追加
- ・新規教員の採用に伴い、「生活環境デザイン演習皿」の担当者を「専任(准教授)0」、「兼任0」から「専任(准教授)1」、「兼任1」へ追加
- ・少人数教育実施のため、「材料学」の担当者を「専任(教授)0」から「専任(教授)1」へ追加

- ・時間割編成に伴い、「建築法規・環境法規」の担当者を佐藤和裕から増田豊文へ変更 ・時間割編成に伴い、「施工技術」の担当者を福地一彦から横山泉へ変更 ・専任教員の採用に伴い、「地区・街区計画」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更
- ・専任教員の採用に伴い、「サスティナブルデザイン」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更
- ・専任教員の採用、昇格に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者を平岡善浩、井上誠、中田千彦、土岐謙次、鹿野護、茅原拓朗、蒔苗耕司、鈴木 優、小地沢将之へ変更
- ・専任教員の採用、昇格に伴い、「卒業研究Ⅰ」の担当者を平岡善浩、井上誠、中田千彦、土岐謙次、鹿野護、茅原拓朗、蒔苗耕司、鈴木優、小 地沢将クへ変更
- ・専任教員の採用、昇格に伴い、「卒業研究Ⅰ」の担当者を平岡善浩、井上誠、中田千彦、土岐謙次、鹿野護、茅原拓朗、蒔苗耕司、鈴木優、小 地沢将之へ変更
- (注) · 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

# (2) 授業科目数

		Ī	设置時	の計画							変更	状況				備考
必修		選択	5	自日	±	計(A	4)	必何	多	選	尺	自	由	計		)佣 <i>行</i>
39	科目	103	科目	2	科目	144	科目	<b>39</b>	科目	105 [	科目 2]	4	科目 2]	148 [	科目 4]	

未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を (注) • 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内			蓉	<b>3</b>					備考
(1)	Σ	区 分	,	専	用	共	用		共用する位学校等の				計		備考
	校	舎 敷 :	也		66, 769 m²		-				-			66, 769 m²	
校	運	動場用均	<u>h</u>		26, 661 m²		-				-			26, 661 m²	
地	小		+		93, 430 m²		-				-			93, 430 m <sup>2</sup>	
等	そ	· の fi	<u>t</u>		598, 964 m²		-				-		5	98, 964 m²	
	合	ā	t		692, 394 m²		-				-		6	92, 394 m <sup>2</sup>	
				専	用	共	用		共用する( 学校等の)	也の 専用			āt		
(2) 校		舎			60, 137 m²		-				-			60, 137 m <sup>2</sup>	
				(60,	37m²)	(	- )	(	-	)		(6	0, 137㎡)	)	
				講義室	演	室 室	実験実習	室	情報	処理学習加	<b>拖設</b>	ā	哲学学習	施設	施設改修のため(29)(30) ラーニング・コモンズ新設に伴
(3) 教	室	等		28 25 28 27	室	35 <del>36</del> 室	37 <del>31</del>	· <del>33 32</del> 室	(補助	<b>力職員</b>	4 6 室 人)	(補	助職員		う施設利用見直しのため(30) 施設利用の実態に合わせた見直 しのため(元)
					新設学部	等の名称				室		数			
(4) 声广	E教員研究	安		1	事業構想学群 事	<b>業プランニング</b>	学類			14 4	6			室	施設利用方法の見直しのため (29)
(4) 安日	[教長切み	上至			事業構想学群	地域創生学類				14 1	6			室	施設利用方法の見直しのため (元)
				1	事業構想学群 価値	直創造デザイン	学類			15 <del>1</del> 4	<del>15</del>			室	
	±=== .04	40.66		図 書	学術	雑誌	_		視聴質	資料	機械	器具	標	本	
(5)	新設学 の名		(	〔うち外国書〕	〔うち	<b>小国書</b> 〕	電子ジャー	ナル							
					<del>m</del>	種	[うち外国			点		点		点	
				128, 080 [17, 246 131, 373 [16, 936	2, 398 2, 410 3, 268 6, 031	(460) (630)	6, 538 16, 172	(5, 527) (5, 087) (13, 595) (15, 700)	5, 2 5, 1 5, 0	30					蔵書見直しのため(29)(30)(元)
図書・	事業構想	思字群		(127, 265 [17, 076 (126, 018 [16, 894 (123, 895 [16, 538 (101, 654 [15, 918	(2, 390 L45) (61)	(453) ) 3) ) (3, 250 5) ) (756) )	-(6	858 (5, 527) ) 538 (5, 087) ) 72 (13, 595) ) 100 (15, 700) )	(5, 1 -(5, ( -(4, (	)99) )05)	(	)	(	)	電子ジャーナルについては、タ イトル数の数え方について再検
設備	-1			128, 080 [17, 24 131, 373 [16, 930	2, 398 2, 410	(453) (460) (630)	6, 538 16, 172	(5, 527) (5, 087) (13, 595) (15, 700)	5, 2 5, 1 5, (	260 130					計したため。(H29学術基盤実態 調査より)
	<del>ā1</del>	-		(127, 265 (17, 076 (126, 018 (16, 894 (123, 905 (16, 538 (101, 654 (15, 918	(2, 390 €45	3 <del>) ) (3, 250</del> 5 <del>) )</del>	<del>- (6.</del> <del>- (16. 1</del>	858 (5, 527) ) 538 (5, 087) ) 72 (13, 596) ) 00 (15, 700) )	(5, 1 (5, 0 (4, 0 (4, 1	)99) )05)	(	)	(	)	
				面	積		閲覧座席	数		収	納 ī	可 能	<del>    </del>	数	
(6) 🗵	#10	館			3, 1	36㎡			318 304 300					274, 889	大学全体 レイアウト見直しのため (29) (元)
				面	積			体育館以	外のスポ-	-ツ施設の	概要				
(7) 体	育	館			4 8	97m²	テニスコー	٠,			メモ	リアルホ	ニール		
					٠, ٥		トレーニング	グ室							大学全体
			区	分	開設年度	完成年度	区	分	開設前	前年度	開設	年度	完	成年度	
(8)	経費 の見 積り	教 員	1 人当	り研究費等	231 <del>247</del> 千円	247	7千円 図書購	入費	66	6, 728千円	<del>66,</del>	64, 426 <del>728</del> 千円	6	6, 728千円	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29)
経費の 積り及	び	共同	研研	究 費 等	51,000千円	51, 000	)千円 設備購.	入費	51	, 776千円	51,	41,639 <del>776千</del> 円	5	1,776千円	設備購入費は平成29年度予算編 成に伴うもの(29)
維持方の 概	法	人当り	ĵ	第1年次	第2年次	Ħ	3 年次	第4年	次	第	5年次		第6:	年次	
		付金	県	県内 818千円 外 1,100千円	ı	千円	535千円		535千円			-		-	
		学生納	付金以外	の維持方法の概要	大学の維		て、学生納付金で不	足する経済	費について	は、宮城県	県の運営		等を充当	する。	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の
  - 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4. 既設大学等の状況

大学の名称	宮城	大学								備考
ハナツロが	L -7%						定員変更			<u>ин **7</u>
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 (AC期間 の学科の み)	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
事業構想学部			, ,		<b>#</b> 4			平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 学生募集停止
事業計画学科	4	100	-	400	学士 (事業 計画 学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士 (デザ イン 情報 学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
食産業学部								平成17年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	平成29年度より 学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士 (食産 業学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
看護学群					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			平成9年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	平成29年度より 看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士 (看護 学)	1. 04	-	平成9年度	—	平成29年度より 看護学科から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
<u>事業構想学群</u>					学士			平成29年度	宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
事業プランニング学類	4	60	-	240	字 <sub>工</sub> (事業 プラン ニング 学)	1. 05	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除
<u>地域創生学類</u>	4	60	-	240	学士 (地域 創生 学)	1. 05	-	平成29年度	同上	き、事業構想学群としての学群一 括入試のため、学群全体を各学類 で按分して記載しており、2年次 進級時に学類を決定して収容す
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士 (価値 創造 デザイ ン学)	1. 06	-	平成29年度	同上	3.
<u>食産業学群</u>								平成29年度	宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
食資源開発学類	4	62	-	248	学士 (食産 業学)	1. 04	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除 き、食産業学群としての学群一括 入試のため、学群全体を各学類で
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士 (食産 業学)	1. 04	-	平成29年度	同上	大試のため、字辞室体を各字類で 按分して記載しており、2年次進 級時に学類を決定して収容する。

大学の名称	宮城	大学大学	院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所 在 地	
看護学研究科 看護学専攻	年	,	年次	,	修士	倍			宮城県黒川郡大和町 学苑 1 番地 1	
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修工 (看護 学)	0.83	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (看護 学)	0. 75	-	平成22年度	同上	
事業構想学研究科 事業構想学専攻					hter 1				宮城県黒川郡大和町 学苑1番地1	
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士 (事業 構想 学)	0. 53	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (事業 構想 学)	0. 67	-	平成20年度	同上	
食産業学研究科 食産業学専攻									宮城県仙台市太白区 旗立2丁目2番1号	
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士 (食産 業学)	0. 60	-	平成21年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士 (食産 業学)	0. 42	-	平成25年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)( $\underline{AC対象学部等含む}$ )について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - 場合を含めより。履修工の区方としてコース・等数を設けている場合は含めません。 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上 の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

## <事業構想学群 価値創造デザイン学類>

		担当教員表 は届出時】	【平月	成29	年度】	【平	或30∶	年度】	_【令和	0元年	度】
専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
->//1		担当授業科目名	וית כס		担当授業科目名	- V/Jij		担当授業科目名	יית		担当授業科目名
専	教授	井上 誠 (59) 〈平成29年4月〉	専	教授	井上 誠 (59) 〈平成29年4月〉	専	教授	井上 誠 (60) 〈平成29年4月〉	専	教授	井上 誠 (61) 〈平成29年4月> スタートアップ・セミナー
		卒業研究サーベイ 卒業研究 I 生活環境デザイン概論 建築計画 インテリアデザイン ファシリティマネジメント 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I			卒業研究サーベイ 卒業研究 I 生活環境デザイン概論 建築計画 インテリアデザイン表 生活環境デザイン表習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 II			卒業研究サーベイ 卒業研究 I 年注活環境デザイン概論 建築計画 インテリアデザイン ファシリティマネジメント 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I			アカデミック・セミナー 卒業研究サーベイ 卒業研究I 卒業研究I 卒業研究I 卒業研究I 卒業研究I 生活環境デザイン 概論 建築計画 インテリアディイン 生活環境デザイン 生活環境デザイン 生活環境デザイン 実習Ⅱ 生活環境デザイン 実習習Ⅲ
専	教授	茅原(48) 〈平成29年4月〉 平成29年4月〉 平本業研究リーペイ 卒業研究コ 管報化社会と技術 エクスペリエンン学基礎 音響・デザイジイ 感感性情報がデザイン 原性性を記載 データサイエンス人門	東	教授	茅原 拓朗 (48) 〈平成29年4月〉 卒来研究サーベイ 卒来研究サーベイ 卒来研究 I 年報化社会と 技術 エクスペリエイン 電信響・デザイン ・ 一番 ・ 一 ・ 一 一	専	教授	茅原(49) 〈平成29年4月〉  平成29年4月〉  平森研究サーベイ  卒業研究1  卒業研究1  中業化社会と技術 エクスペリエンスプザ基礎  高哲学デザイン  感性情報デザイン  感性情報影賞  中本報任も認識  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	教授	茅原 拓朗 (50) <平成29年4月> 卒業研究1 卒業研究1 卒業研究1 存機化社会と技術 エカス制造・アイイン 一を発売する。 「大きな、アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・アイン・
		リーテッパエンス入口 感性情報デザイン演習Ⅱ インタフェースデザイン 小嶋 秀樹			小嶋 秀樹			→ 度			
専	教授	(51)	専	教授	(51)  李東研究サーベイ 李東研究 中央東研究 主 李東研究 主 全年東研究 主 後任朱定 後任朱定 後任朱定 後任朱定 後任朱定			→ 専専専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・専・			
専	教授	平岡 善浩 (50) 《平成29年4月》	専	教授	平岡 善浩 (55) <平成29年4月> <mark>地域フィールドワーク</mark>	専	教授	平岡 善浩 (51) <平成29年4月> セポスタールドワーク コミュニティ・プランナー振動及 び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー	専	教授	平岡 善浩 (52) 〈平成29年4月〉 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー概論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク達習
		卒業研究サーベイ 卒業研究 I 価値制度デザイン学基礎 生活環境デザイン概論 建生活環境デザイン 機論 建活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 II			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 卒業研究I 価値創造デザイン概論 生活環境デザイン機論 生活環境デザイン演習I 生活環境デザイン演習I 生活環境デザイン演習II 生活環境デザイン			ルドワーク演習 ・			ルトリーク演言  卒業研究リーペイ 卒業研究I 価値創送・ザイン学基礎 生活環境デザイン概論 建築史 生活環境デザイン次習I 生活環境デザイン次習I 生活環境デザイン次習習I 生活環境デザイン次
専	教授	平成29年4月>     卒業研究サーベイ     卒業研究 I	専	教授	マ	専	教授		専	教授	<ul> <li>講面 耕司 (54)</li> <li>(54)</li> <li>(平成29年4月&gt;</li> <li>大学での学び入門 卒業研究 I 卒業研究 I 中域社会・産業とデザイン 情報と環境</li> <li>感性情報デザイン演習 I 感性情報デザイン演習 I</li> </ul>
専	教授	コンピュータグラフィクス 空間情報コンピューティング 中田 千彦 (51) <平成29年4月>	専	教授	コンピュータグラフィクス 空間情報コンピューティング 中田 千彦	専	教授	コンピュータグラフィクス 空間情報コンピューティング 中田 千彦	専	教授	コンピュータグラフィクス 空間情報コンピューティング 中田 千彦
		平東研究リーベイ 卒業研究I 卒業研究I 年極観測造デザイン学基礎 伝統と文化 構造形・ブロダクトデザイン演習I 造影・ブロダクトデザイン演習I 生活環境デザイン演習I 生活環境デザイン演習I 生活環境デザイン演習I 生活環境デザイン演習II 生活環境デザイン演習II			マース (スティアンス (東京			ステートンス 表演を表情である。			下一下が23年1月22

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>  担当授業科目名
專		土岐 謙次	専	准教授	土岐 謙次	専	准教授	土岐 謙次	専	<b>教授</b>	土岐 謙次
専	助教	(33) (33) (33) (33) (33) (33) (33) (33)	専	助教	鈴木 優	専	准教授	(34) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (	専	准教授	鈴木 優
			*	教授	底野 護 (44) <平成29年4月> アートサイエンス祭論 価値創造デザイン演習 I 価値対応デザイン演習 I ウェブデザイン	*	教授	度野 護 (45) (45) マー成29年4月> アーサイエンスス要論 価値割差デザイン 佐恒割差デザイン 色力を悠性情報デザイン きかまで情報デザイン を性性情報デザイン を性性情報デザイン 産事業研究リ 本年業研究エ	*	教授	鹿野 護
								T. 88.0.2	*	准依授	小地沢 将之
兼担	教授	吉田 俊子 (53) 〈平成29年4月〉 宮城大学の知の体系	兼担	教授	吉田 俊子 (53) (平成29年4月> 宮城大学の知の体系	兼担	教授	原 玲子 (62) <平成30年4月> 宮城大学の知の体系	兼担	教授	京
兼担	教授	西川 正純 (57) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系 木村 和彦	兼担	教授	西川 正純 (57) <mr></mr> (57) <mr></mr> 宮城大学の知の体系 <mr> <b>藤苗 耕司</b></mr>	兼担	教授	西川 正純 (58) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系	兼担	教授	西川 正純 (59) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系
兼担		(55) 〈平成29年4月〉 大学での学び入門	*	教授	(52) 〈平成29年4月〉 大学での学び入門 藤澤 由和						藤澤 由和
		スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	**±	教授	(48) < <u>マ成29年4月&gt;</u> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	兼担	教授	(49) - (平成29年4月> - 一学群共通科目による担当変更 - 一学群共通科目による担当変更 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 産学連携講座 I インターンシップ I インターンシップ I	兼担		(50) <平成29年4月> 社会の中で生きる 全学自由ゼミ 産学連携構座 I インターンシップ I インターンシップ I
兼担	教授	全学自由ゼミ 徳永 幸之 (57)	兼担	教授教授	(64) <平成29年4月> 全学自由ゼミ 藤澤 由和 (48)	-		→兼担 藤澤由和に記載			
2015		(97) 〈平成29年4月> 社会の中で生きる	兼担	教授	(***) (**) (***	兼担	教授	一再掲 <b>徳永 幸之</b> (58) 〈平成29年4月> スタートアップ・セミナー	兼担	教授	<b>徳永 幸之</b> (59) <b>〈平成29年4月〉</b> →学群共通科目による担当変更
		事業構想学概論 地域社会・産業とデザイン 国土・地域計画 数理計画			事業構想学概論 地域社会・産業とデザイン 国土・地域計画 数理計画			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー 事業構想学概論 →兼担 舟引敏明に記載 数理計画			→ 字辞共通科目による担当変更 → 学群共通科目による担当変更 事業構想学概論 数理計画

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
兼担	教授	担当授業科目名  川村 保 (59) <平成29年4月> キャリアデザインI	兼任	講師	担当授業科目名 <b>宮崎 良徳</b> (49) < <u>平成29年4月&gt;</u> キャリアデザインI	兼任	講師	担当授業科目名 <b>宮崎 良徳</b> (50) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> キャリアデザインI キャリアデザインI	兼任	講師	担当授業科目名 <b>宮崎 良徳</b> (51) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> キャリアデザインI キャリアデザインI
兼担	教授	風見 正三 (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57)	兼担	教授	風見 正三 (57) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー概論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習 地域活性化とビジネス	兼担	教授	<u>キャリア開発I</u> 風見 正三 (58) <平成29年4月> 宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー概論及 び言ュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・デランナーフィー ルド域活性化とビジネス キャリアデザインⅡ キャリア開発I	兼担	教授	<u>キャリア開発 I</u> 風見 正三 (59) (<平成29年4月> 宮城大学の知の体系 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー概論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナースト ルドワーク演習 地域活性とビジネス 一業担 田邊信之に記載 一業担 田邊信之に記載
兼担	教授	富樫 敦 (60) <平成29年4月>  応用情報処理 情報サービスデザインⅠ	兼担	教授	<ul> <li></li></ul>	兼担	教授	<平成29年4月> 情報化社会と技術 一会サイエンス入門 応用情報処理 情報サービスデザイン I	兼担	教授	<u>一兼担</u> 田邉信之に記載 窓樫 敦 (62) (52) (62) (52) (62) (72) (64)
兼担	教授	情報サービスデザインI 須栗 裕樹 (53) <平成29年4月> プロジェクトマネジメント 情報サービスデザインI 情報サービスデザインI	兼担	教授	情報サービスデザインⅡ 須実 裕樹 (53) <平成29年4月> 情報化社会と技術 データサイエンス入門 ブロジェクトマネジメント 情報サービスデザインⅡ 情報サービスデザインⅡ	兼担	教授	情報サービスデザインII 須栗 裕樹 (54) <平成29年4月> 情報・社会と技術 データサイエンス入門 プロ報サービスデザインI 情報サービスデザインI 情報特報・デザイン演習I  感性情報デザイン演習I  影性情報デザイン演習I  影性情報デザイン演習II	兼担	教授	情報サービスデザインII 須栗 裕樹 (55) 〈平成29年4月> 情報・センス入門 プロジェクトマネジメント 情報サービスデザインI 情報サービスデザインI 情報特徴・デザインI 素を性権・デザイン漫画I 悪性機様デザイン渡音I 悪性機様デザイン渡音I
兼担	教授	糖谷 昌志 (49) 《平成29年4月》 応用統計処理	兼担	教授	糟谷 昌志 (49) 〈平成29年4月〉 応用統計処理	兼担	准教授	石内 (39) ベ平成30年4月> 応用統計処理 スタートアップ・セミナー データサイエンス入門 産学連携線をII インターンシップII	<b>*</b> 担	准教授	石内 鉄平
兼担	教授	高力 美由紀 (55) <平成29年4月> キャリアデザインⅡ インターンシップ I キャリア開発 I キャリア開発 I キャリア開発 I インターンシップ II	兼担	教授	高力 美由紀 (55) <平成29年4月> キャリアデザインII インターンシップ I キャリア開発 I キャリア開発 I キャリア開発 I インターンシップ II インターンシップ II オンターンシップ II			→兼担 風見正三に記載  →兼担 藤澤由和に記載  →兼担 展見正三に記載  →兼担 風見正三に記載  →兼担 展見正三に記載  →兼担 藤屋見正三に記載			
兼担	教授	MATTHEW WILSON (44) <平成29年4月> English Reading Skills I English Reading Skills I	兼担	准教授	川井 一枝 (58) <平成29年4月> English Reading Skills I English Reading Skills II	兼担	准教授	川井 一枝	兼担	准教授	川井 一枝 (60) 〈平成29年4月〉 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー English Reading Skills I English Reading Skills I
		English for Academic Purposes I	兼担	教授	MATTHEW WILSON (44) <平成29年4月> English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes I			English for Academic Purposes
		English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression III English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English			English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II English Self-Expression II English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English	兼担	教授	<mach style="background-color: blue;"></mach>	兼担		<平成29年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II English Self-Expression II
兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (59) <平成29年4月> Global Studies I Global Studies I Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN (59) (59) (マ東戌29年4月>  日本事情 I 日本事情 I Global Studies I Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修	兼担	教授	IMOTHY PHELAN (60) <平成29年4月>  日本事情 I 日本事情 I Global Studies I Global Studies II Intercultural Communication グローバルインターンシップ 学外研修	兼担		(平成29年4月)> English Self-Expression I 日本事情 I 日本事情 I 日本事情 I 日本事情 I Global Studies I Global Studies I Intercultural Communication ヴローバルインターンシップ 学外研修
兼担	教授	長澤 治夫 (64) <平成29年4月> 健康科学	兼担	教授	<平成29年4月> 健康科学	兼担	教授	武田 和久 (59) 《平成30年4月》 健康科学	兼担	教授	<平成30年4月> 健康科学
兼任	講師	長澤 治夫 (65) 〈平成30年4月〉 健康科学	兼任	講師	長澤 治夫 (65) (75) (65) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	兼担	教授	黒間 逸郎 (44) 《平成30年4月> 健康科学 地域フィールドワーク	兼担	教授	<ul><li>風間 逸郎</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)</li><li>(45)<!--</td--></li></ul>

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	真党 健 (58)	兼担	教授	真党 健 (58)	兼担	教授	真党 健 (59)	兼担	教授	真党 健 (60)
		<平成29年4月>			<平成29年4月> <b>心理学</b>			<平成29年4月> <b>心理学</b>			<平成29年4月> 心理学
		健康科学 山田 嘉明			健康科学 真覚 健			健康科学			健康科学
兼担	教授	(61) 〈平成29年4月〉	兼担	教授	(58) <平成29年4月>	兼担	教授	(62) <平成29年4月>	兼担	教授	(63) <平成29年4月>
		心理学 原田 茂樹			<b>心理学</b> 原田 茂樹	-		<b>心理学</b> 原田 茂樹			<b>心理学</b> 原田 茂樹
兼担	教授	(54)   <平成29年4月>	兼担	教授	(54) <平成29年4月>	兼担	教授	(55) <平成29年4月>	兼担	教授	(56) <平成29年4月>
		環境科学入門			環境科学入門			環境科学入門			環境科学入門
兼担	教授	河西 敏幸 (49)	兼担	教授	河西 敏幸 (49)	兼担	教授	河西 敏幸 (50)	兼担	教授	河西 敏幸 (51)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> コミュニティ・プランナー概論及			<平成29年4月> コミュニティ・プランナー概論及
								び演習 コミュニティ・プランナー実践論			び演習 コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー			コミュニティ・プランナーフィー
					アートサイエンス概論			ルドワーク演習 アートサイエンス概論			ルドワーク演習 アートサイエンス概論
		スポーツ科学			<b>総合芸術</b> スポーツ科学			<b>総合芸術</b> スポーツ科学			<b>総合芸術</b> スポーツ科学
		スポーツ実技 体を動かす楽しみ			スポーツ実技 体を動かす楽しみ			スポーツ実技 体を動かす楽しみ			スポーツ実技 体を動かす楽しみ
兼担	教授	弓谷 行宏 (61)	兼担	教授	弓谷 行宏 (61)	兼担	教授	弓谷 行宏 (62)	兼担	教授	弓谷 行宏 (63)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー			<平成29年4月> →学群共通科目による担当変更
								アカデミック・セミナー English Reading Skills I			→学群共通科目による担当変更 English Reading Skills I
		日本語 I 日本語 IT			日本語 I 日本語 II			日本語 I 日本語 II			日本語 I 日本語 II
		日本語皿日本語Ⅳ			日本語皿日本語Ⅳ			日本語皿日本語Ⅳ			日本語皿 日本語IV
		L Trail	兼担	教授	TIMOTHY PHELAN			L A PELIA			L A PER IV
		日本事情 I	水坦	98.13	(59) <平成29年4月> 日本事情 I			T-19			
		日本事情Ⅱ			日本事情工			→再掲 →再掲			
兼担	教授	金子 孝一 (63) <平成29年4月>	兼担	教授	金子 孝一 (63) <平成29年4月>						
		地域活性化とビジネス			地域活性化とビジネス						
兼任	講師	金子 孝一 (65)	兼任	講師	金子 孝一 (65)						
		<平成31年4月> 地域活性化とビジネス			<平成31年4月> 地域活性化とビジネス						
兼担	教授	舟引 敏明 (59)	兼担	教授	舟引 敏明 (59)	兼担	教授	舟引 敏明 (60)	兼担	教授	舟引 敏明 (61)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月> スタートアップ・セミナー			<平成29年4月> →学群共通科目による担当変更
								アカデミック・セミナー 国土・地域計画 地域フィールドワーク			→学群共通科目による担当変更 国土・地域計画
		都市と文化			<b>地域フィールドワーク</b> 都市と文化			都市と文化			<b>地域フィールドワーク</b> →専 小地沢将之に記載
		都市計画 地区・街区計画			都市計画 地区・街区計画			都市計画 地区・街区計画			都市計画 →専 小地沢将之に記載
		景観工学 サスティナブルデザイン			景観工学 サスティナブルデザイン			景観工学 サスティナブルデザイン			景観工学 →専 小地沢将之に記載
兼担	教授	日原 広一 (61)	兼担	教授	日原 広一 (61)	兼担	教授	日原 広一 (62)	兼担	教授	日原 広一 (63)
		<平成29年4月> グラフィックデザイン			<平成29年4月> グラフィックデザイン			<平成29年4月> グラフィックデザイン			<平成29年4月> グラフィックデザイン
		デザインマネジメント			デザインマネジメント			デザインマネジメント			デザインマネジメント <b>インターンシップ</b> I
-		北辻 政文	-		北辻 政文	-	-	北辻 政文	$\vdash$		<b>インターンシップⅡ</b> 北辻 政文
兼担	教授	(56) <平成29年4月>	兼担	教授	(56) <平成29年4月>	兼担	教授		兼担	教授	
		材料学			材料学			材料学			材料学
兼担	教授	郷古 雅春 (57)	兼担	教授	郷古 雅春 (57)	兼担	教授	郷古 雅春 (58)	兼担	教授	郷古 雅春
VV 1=	301X	<平成29年4月>	NV III	2012	く平成29年4月> 地域フィールドワーク	NV IE	2010	《平成29年4月》 地域フィールドワーク	VV 100	2012	く平成29年4月> 地域フィールドワーク
								ルスフィールドワージ コミュニティ・プランナー概論及 び演習			ルスフィールドラーラ コミュニティ・プランナー概論及 び演習
1								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
1								コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
1		災害の科学 (水)			災害の科学 (水)			災害の科学(水)			災害の科学 (水)
<b>新+</b> D	<b>坐≯</b> +□	石田 祐	<b>*</b> +□	<b>准料</b> +□	石田 祐	* +0	<b>在料</b> 师	石田 祐	**	准教授	全学自由ゼミ 石田 祐
兼担	准教授	(37) <平成29年4月>	兼担	准教授	(37) <平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准叙授	<平成29年4月>
1								社会の中で生きる 地域フィールドワーク			社会の中で生きる 地域フィールドワーク
								コミュニティ・プランナー概論及 び演習			コミュニティ・プランナー概論及 び演習
								コミュニティ・プランナー実践論			コミュニティ・プランナー実践論
								コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
					スタートアップ・セミナー			<b>地域活性化とビジネス</b> →学群共通科目による担当変更			地域活性化とビジネス
L		現代社会の諸相			アカデミック・セミナー 現代社会の諸相			→学群共通科目による担当変更 →兼担 菅原謙に記載		L	
									-		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	金子 浩一 (44) <平成29年4月> 社会と経済	兼担	准教授	金子 浩一 (44) <平成29年4月> 社会と経済	兼担	准教授	金子 浩一 (45) <平成29年4月> 社会と経済	兼担	教授	金子 浩一 (46) <平成29年4月> 社会と経済 全学自由ゼミ
兼担	准教授	小島(栗田) さつき (41) <平成29年4月> English Reading Skills I	兼任	講師	斯々 紀子 (40) <平成29年4月> English Reading Skills I	兼担	准教授	小島(栗田) さつき (42) <平成29年4月> English Reading Skills I	兼担	准教授	小島(栗田) さつき
		English Self-Expression I	兼任	講師	CRAIG MCDONALD (44) <平成29年4月> English Self-Expression I 小島(栗田) さつき			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
		English Reading SkillsⅡ	兼担	准教授	(41) <平成29年4月> English Reading Skills-II CRAIG MCDONALD			English Reading SkillsⅡ			English Reading SkillsⅡ
		English Self-ExpressionⅡ	兼担	准教授	(44) <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> English Self-Expression II 小島(栗田) さつき (41)			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載			
		English for Academic Purposes I English Self-ExpressionIII English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English			<ul> <li>平成29年4月&gt;</li> <li>English for Academic Purposes I</li> <li>English Self-ExpressionⅢ</li> <li>English for Academic Purposes II</li> <li>Extensive Listening</li> <li>Practical English</li> </ul>			English for Academic Purposes I  ·兼任 CRAIG MCDONALDIC記載 English for Academic Purposes II  ·兼担 管根洋明に記載			English for Academic Purposes I  English Self-ExpressionII  English for Academic Purposes II
兼担	准教授	曾根 洋明 (54) <平成29年4月> English Reading Skills I	兼担	准教授	曾根 洋明 (54) 〈平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー English Reading Skills I	兼担	准教授	曾根 洋明 (55) (マ元位29年4月> →学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 English Reading Skills I	兼担	准教授	曾根 洋明 (56) <平成29年4月> English Reading Skills I
		English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I			English Self-Expression I English Reading Skills II English Self-Expression II English Or Academic Purposes I			→兼任 CRAIG MCDONALDIに記載 English Reading Skills II →兼任 CRAIG MCDONALDIに記載 English for Academic Purposes I			English Reading Skills II English Self-Expression II English for Academic Purposes I
		English Self-ExpressionII English for Academic PurposesII Extensive Listening Practical English			English Self-ExpressionIII English for Academic Purposes II Extensive Listening Practical English			→兼任 CRAIG MCDONALDに記載 →兼担 小島さつきに記載 Extensive Listening Practical English			Extensive Listening Practical English
兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	准教授	<平成29年4月>	兼担	教授	山本 まゆみ (58) <平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	兼担	教授	山本 まゆみ (59) <平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー
兼担	准教授	<平成29年4月> 生命科学	兼担	准教授	<平成29年4月> 生命科学	兼担	教授	世界の歴史と文化 日渡 祐二 (46) <平成29年4月> 生命科学	兼担	教授	世界の歴史と文化 日渡 祐二 (47) <平成29年4月> 生命科学
兼担	准教授	生物概論 高橋 信人 (40) <平成29年4月>	兼担	准教授	生物概論 高橋 信人 (40) <平成29年4月>	兼担	准教授	生物概論 高橋 信人 (41) (41) 地域フィールドワーク	兼担	准教授	生物概論 高橋 信人 (42) <平成29年4月> →兼担 森本素子に記載
								コミュニティ・ブランナー振動及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習			コミュニティ・プランナー振動及 び演習 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習
		地球と宇宙 原田 鉱一郎			情報化社会と技術 基礎統計学 地球と宇宙 原田 鉱一郎			情報化社会と技術 基礎統計学 地球と宇宙 原田 鉱一郎			情報化社会と技術 基礎統計学 地球と宇宙 原田 鉱一郎
兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授		兼担	准教授	
兼担	准教授	菰田 俊一 (47) <平成29年4月> 化学概論	兼担	教授	707年 M cm	兼担	准教授	菰田 俊一	兼担	准教授	菰田 俊一
兼担	准教授	萩原 潤	兼担	准教授	萩原 潤	兼担	准教授	萩原 潤	兼担	准教授	萩原 潤
兼担	准教授	基礎統計学 白川 愛子 (54) 〈平成29年4月〉 健康科学	兼担	教授	基礎統計学 石川	兼担	教授	基礎統計学 石川 伸一 (44) 〈平成29年4月〉	兼担	教授	基礎統計学 石川 伸一
		parameters (*) d				兼担	准教授	大学	兼担	准教授	白川 愛子

nter tor		T	+ 11	1	1	+ 17			T 100	1	1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
兼担	准教授	担当授業科目名	兼担	准教授	担当授業科目名  千葉 克己 (46)	兼担	准教授	担当授業科目名 千葉 克己	兼担	准教授	担当授業科目名
<b></b>	准权权	(407) <平成29年4月>	<b>米</b> 坦	/E 4X fx	(49)	<b>米担</b>	准教权	<平成29年4月>  マニニティ・ブランナー振論及び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー	***	准权权	(平成29年4月>) スタートアップ・セミナーフルデミック・セミナーコミュニティ・プランナー振館及び演習コミュニティ・プランナー実践論コミュニティ・プランナーフィーコミュニティ・プランナーフィー
		災害の科学(土) 地盤工学 測量			<ul><li>地域フィールドワーク</li><li>災害の科学(土)</li><li>地盤工学</li><li>測量</li></ul>			ルドワーク演習 地域フィールドワーク 災害の科学(土) 地盤エ学 測量			ルドワーク演習 地域フィールドワーク 災害の科学 (土) 地盤工学 測量
兼担	講師	佐藤 麗 (41) <平成29年4月> English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills I	兼担	講師	<平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II	兼担	講師	佐藤 麗 (42) <平成29年4月> 一学群共通科目による担当変更 一学群共通科目による担当変更 English Reading Skills I	兼担	講師	佐藤 麗 (43) <平成29年4月> English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II
		English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III MATTHEW NALL			English Self-Expression II English for Academic Purposes I English Self-Expression III MATTHEW NALL			English for Academic Purposes I →兼任 MATTHEW NALLに記載 MATTHEW NALL			English for Academic Purposes I  English Self-Expression  MATTHEW NALL
兼担	助教	(33) 《平成29年4月> English Reading Skills I English Self-Expression I English Reading Skills II English Referenssion II English for Academic Purposes I	兼担	助教		兼担	助教	MATHER NALL (34) <平成29年4月> English Self-Expression I English Self-Expression I →兼担 佐藤羅に記載	兼担	助教	MRITICE NALL ((35) <平成29年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II
兼任	講師	English Self-ExpressionⅢ 叢 莉蔓 (48) 〈平成29年4月〉 中国語 I	兼任	講師	English Self-ExpressionⅢ 西貝 定行 (50) 〈平成29年4月〉 中国語 I	兼任	講師	English Self-ExpressionⅢ 西貝 定行 (51) 〈平成29年4月〉 中国語 I	兼任	講師	English Self-ExpressionⅢ 西貝 定行 (52) マ元度29年4月> 中国語 I
兼任	講師	中国語 II 黄 考善 (49) 〈平成29年4月> 韓国語 I	兼任	講師	中国語 I 黄 考善 (49) <平成29年4月> 韓国語 I ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼任	講師	中国語 I 黄 考善 (50) <平成29年4月> 韓国語 I	兼任	講師	<平成29年4月> 韓国語 I
兼任	講師	韓国語 II VU THUY MINH CHAU (43) <平成29年4月> ベトナム語 I ベトナム語 I	兼任	講師	韓国語 I VU THUY MINH CHAU (43) <平成29年4月> ベトナム語 I ベトナム語 I	兼任	講師	韓国語 I VUONG THI DOAN THU (47) <平成30年4月> ベトナム語 I ベトナム語 I	兼任	講師	韓国語 I VUONG THI DOAN THU (48) <平成30年4月> ベトナム語 I ベトナム語 I
兼任	講師	伊藤 大介 (43) 〈平成29年4月〉 日本の歴史と文化 東北の歴史と文化	兼担	准教授	三好 俊文	兼担	准軟授	三	兼担	准教授	三好 俊文 (43) (43) 日本の歴史と文化 東北の歴史と文化 社会の中で生きる 全学自由ゼミ
兼任	講師	佐藤 寿一 (56) 〈平成29年4月〉 音楽	兼任	講師	激都 勝彦 (71) 《平成29年4月》 音楽	兼任	講師	渡部 勝彦 (72) <平成29年4月> 音楽 アートサイエンス概論			スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー  ・兼任 日比野裕幸に記載  アートサイエンス概論
兼任	講師	佐藤 駿 (33) 〈平成29年4月〉 現代社会と哲学	兼担	准教授	管原 謙 (52) 〈平成29年4月〉 現代社会と哲学	兼担	准教授	総合芸術 管原 章 (53) 〈平成29年4月〉 現代社会と哲学 社会の中で生きる 現代社会の前相	兼担	准教授	<ul> <li>総合基情管原 職(54)</li> <li>〈平成29年4月〉 現代社会と哲学 社会の中で生きる 現代社会の諮相</li> </ul>
兼任	講師	本村 敏明 (50) 〈平成29年4月〉 人と宗教			人と宗教			人と宗教			人と宗教 スタートアップ・サミナー アカデミック・セミナー
兼任	講師	曽我 洋介 (39) <平成29年4月> 憲法	兼担	講師	仲宗根 卓 (35) <平成29年4月> 憲法	兼担	講師	仲宗根 卓 (36) 《平成29年4月》 憲法 社会の中で生きる	兼担	講師	仲宗根 卓 (37) <平成29年4月> 憲法 社会の中で生きる
兼任	講師	小野 秀壽 (63) 《平成29年4月》 数理科学 数学概論	兼担	准教授	三浦 幸平 (38) 《平成29年4月》 數理科学 数学概論	兼担	准教授	はエレーマン 三浦 幸平 (40) 〈平成29年4月〉 数理科学 数学振論 データサイエンス入門 基礎執計学	兼担	准教授	<ul><li> 幸平</li><li>(4(1)</li><li>(4下成29年4月&gt;</li><li> 穀理報節</li><li> データサイエンス入門</li><li> 基礎計学</li><li> スセナー</li></ul>
兼任	講師	厳 爽 (47) <平成31年4月> 環境心理・行動学	兼任	講師	厳 爽 (47) 〈平成31年4月〉 環境心理・行動学	兼任	講師	厳 爽 (47) <平成31年4月> 環境心理・行動学	兼任	講師	<b>アカデミック・セミナー</b> 厳 爽 (47) 〈平成31年4月> 環境心理・行動学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 和裕 (49) 〈平成31年4月〉 建築法規・環境法規	兼任	講師	佐藤 和裕 (49) 〈平成31年4月〉 建築法規・環境法規	兼任	講師	佐藤 和裕 (49) (マ R 31年4月 > 建築法規・環境法規			→兼任 増田豊文に記載
兼任	講師	###   (68)   (58)   (4年成32年4月   5	兼任	講師	株式	兼任	講師	### (68) <平成32年4月> 知的財産管理	兼任	講師	鈴木 康夫
兼任	講師	AHD   M   E   E   E   E   E   E   E   E   E	兼任	講師	##2000 ##2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	兼任	講師	#U207年日年 (73) <平成31年4月> 構造力学 I	兼任	講師	渋谷 純一 (73) <平成31年4月> 構造力学 I
兼任	講師	構造カデェ (36) <平成31年4月> 構造力学Ⅱ	兼任	講師	再足フテエ 権代 由範 (36) <平成31年4月> 構造力学Ⅱ	兼任	講師	構造フテェ 権代 由範 (36) <平成31年4月> 構造力学Ⅱ	兼任	講師	権代 由範 (36) <平成31年4月> 構造力学Ⅱ
兼任	講師	信息のチェ   信原 正則 (45)   <平成31年4月>   生活環境工学	兼任	講師	日本の   100	兼任	講師	信息の子 II	兼任	講師	管原 正則 (45) <平成31年4月> 生活環境工学
兼任	講師	松本 年史 (67) <平成31年4月> 構造力学演習	兼任	講師	松本 年史 (67) <平成31年4月> 構造力学演習	兼任	講師	松本 年史 (67) <平成31年4月> 構造力学演習	兼任	講師	松本 年史 (67) <平成31年4月> 構造力学演習
兼任	講師	建築一般構造 福地 一彦 (66) <平成31年4月>	兼任	講師	建築一般構造 福地 一彦 (66) <平成31年4月>	兼任	講師	建築一般構造 福地 一彦 (66) <平成31年4月>	兼任	講師	<平成31年4月>
兼任	講師	施工技術 齊藤 智之 (66) <平成31年4月> 建築設備	兼任	講師	施工技術 齊藤 智之 (66) <平成31年4月> 建築設備	兼任	講師	施工技術 齊藤 智之 (66) <平成31年4月> 建築設備	兼任	講師	<b>施工技術</b> 齊藤 智之 (66) (平成31年4月> 建築設備
兼任	講師	産業設備 三末 和男 (55) <平成30年4月> 情報構造と可視化	兼任	講師	産業設備 三末 和男 (55) <平成30年4月> 情報構造と可視化	兼任	講師	産業設備 三末 和男 (55) <平成30年4月> 情報構造と可視化	兼任	講師	三末 和男
兼任	講師	橋本 陽介 (33) <平成31年4月>	兼任	講師	橋本 陽介 (33) <平成31年4月>	兼担	助教	情報 トラスト (33) <b>マ平成30年4月&gt; 感性情報デザイン演習Ⅲ</b>	兼担	助教	橋本 陽介
兼任	講師	ユニバーサルデザイン 増田 豊文 (59) <平成32年4月> 建築コスト	兼任	講師	ユニバーサルデザイン 増田 豊文 (59) <平成32年4月> 建築コスト	兼任	講師	ユニバーサルデザイン 増田 豊文	兼任	講師	ユニバーサルデザイン 増田 豊文 (58) <b>平成31年4月</b> > 建築コスト
兼任	講師	井川 望 (61) <平成32年4月>	兼任	講師	井川 望 (61) <平成32年4月>	兼任	講師	井川 望 (61) <平成32年4月>	兼任	講師	<b>建築法規・環境法規</b> 井川 望 (61) <平成32年4月>
兼任	講師	耐震設計法 遠藤 雅伸 (60) <平成32年4月>	兼任	講師	耐震設計法 遠藤 雅伸 (60) <平成32年4月>	兼任	講師	耐震設計法 遠藤 雅伸 (60) <平成32年4月>	兼任	講師	<平成32年4月>
		エンタテインメントデザイン	兼担	准教授	エンタテインメントデザイン 三浦 幸平 (39)			エンタテインメントデザイン			エンタテインメントデザイン
						兼担	教授	一再掲 安書 由貴子 (59) 《平成30年4月> 地域フィールドワーク コミュニティ・プランナー報論及 び漢書 コミュニティ・プランナー実践論 コミュニティ・プランナーフィー	兼担	教授	〈平成30年4月〉 →兼担 木村三香に記載 コミュニティ・ブランナー振動及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー
			兼担	准教授	<b>菅原 瞭</b> (52) <平成29年4月> 地域フィールドワーク	兼担	教授	< 平成30年4月> 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー振論及び演習 コミュニティ・ブランナー振論及	兼担	教授	ルドワーク演習 大雅 京子 (50) <平成30年4月> 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー報論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論
			兼担	准教授	三好 俊文 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)	兼任	講師	< 平成30年4月> 地域フィールドワーク コミュニティ・ブランナー振輸及 び演習 コミュニティ・ブランナー振輸及 ひ演習 コミュニティ・ブランナー実践論	兼任	講師	コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習 中沢 峻 (31) 生球フィールドワーク コミュニティ・ブランナー振動及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論
			兼担	講師	仲宗根 卓 (35) 〈平成29年4月〉 地域フィールドワーク			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習 一業担 風間逸郎に記載			コミュニティ・プランナーフィー ルドワーク演習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
			兼担	准教授	佐々木 秀之 (41) 〈平成29年4月> 地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー	兼担	准教授	佐々木 秀之 (42) 〈平成29年4月> 地域フィールドワーク スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー コミュニティ・ブランナー概論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー ルドワーク演習	兼担	准教授	佐々木 秀之 (43) (43) (47) (47) 地域フィールドワーク 一学群共通科目による担当変更 コミュニティ・ブランナー表論及 び演習 コミュニティ・ブランナー コミュニティ・ブランナー コミュニティ・ブランナー ローク域管
			兼担	講師	板 明果 (43) <平成29年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー			→クラス見直しで担当変更 →クラス見直しで担当変更			
			兼担	教授	秋月 治 (62) <平成29年4月> 情報化社会と技術 データサイエンス入門	兼担	教授	<b>秋月 治</b> (63) <平成29年4月> 情報化社会と技術 →クラス見直しで担当変更	兼担	教授	秋月 治 (64) <平成29年4月> 情報化社会と技術
			兼担	教授	笠原 幹 (52) <平成29年4月> 環境科学入門	兼担	教授	笠原 神 (53) <平成29年4月> 環境科学入門 化学報論	兼担	教授	笠原 神 (54) 《平成29年4月> 環境科学入門 化学報論
			兼担	教授	神宮宇 寛 (48) 〈平成29年4月〉 物理概論 波部 勝彦	兼担	教授	神宮宇 寛 (49) <平成29年4月> 物理都論	兼担	教授	神宮宇 寛 (50) <平成29年4月> 物理概論
			兼任	講師	(71) <平成29年4月> アートサイエンス振論 総合芸術			→再掲			松陽 李華汗
			兼任	講師	相滞 富美江 (52) <平成29年4月> アートサイエンス振論 総合芸術	兼任	講師	相澤 富美江 (53) 〈平成29年4月> アートサイエンス概論 総合芸術	兼任	講師	相澤 富美江 (54) 〈平成29年4月> アートサイエンス概論 総合芸術
			兼任	講師	高山 登 (72) <平成29年4月> アートサイエンス振論 美術	兼任	講師	高山 豊 (73) <平成29年4月> アートサイエンス概論 →兼担 土岐謙次に記載			アートサイエンス標論
			兼任	講師	<b>総合芸術</b> 青野 文昭 (49) く平成29年4月> アートサイエンス振論	兼任	講師	総合基衡 青野 文昭 (50) <平成29年4月> アートサイエンス振論	兼任	講師	<u>総合基</u> 術 青野 文昭 (51) <平成29年4月> アートサイエンス概論
			兼任	講師	美術 <u>教合芸術</u> 該辺 誠一郎 (66) 〈平成29年4月〉	兼任	講師	美術 <u>総合芸術</u> 波辺 誠一郎 (67) <平成29年4月>	兼任	講師	美術 総合芸術 渡辺 誠一郎 (68) <平成29年4月>
			兼任	講師	アートサイエンス振動 義合芸術 上野 晴夫 (62) <平成29年4月>	兼任	講師	アートサイエンス振論 総合芸術 上野 晴夫 (63) <平成29年4月>	兼任	講師	アートサイエンス振動 総合芸術 上野 晴夫 (64) <平成29年4月>
			兼任	講師	数学振論 里見 宗久 (66) 〈平成29年4月〉 数学振論	兼任	講師	数学振論 里見 宗久 (67) 〈平成29年4月〉 数学振論	兼任		数学振論 里見 宗久 (68) 〈平成29年4月〉 数学振論
						兼担		川村 保 (60) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	兼担	教授	川村 保 (61) (平成30年4月> 全学自由ゼミ 学外研修 産学連携調座 I
						兼担	准教授	<u>産学連携標準</u> Ⅱ 桂 晶子 (50) <平成30年4月> コミュニティ・ブランナー振論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー	兼担	准教授	<u>産学連携酵産</u> Ⅱ 桂 晶子 (51) <平成30年4月> コミュニティ・ブランナー概論及 び演習 コミュニティ・ブランナー実践論 コミュニティ・ブランナーフィー
						兼担	助教	ルドワーク演習 友演 貴之 (29) 〈平成30年4月〉 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I	兼担	助教	ルドワーク演習 友別 貴之 (30) 〈平成30年4月〉 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I 生活環境デザイン演習 I
						兼担	准軟授	内田 <b>値</b> 仁 (47) 《平成30年4月> スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー インターンシップI インターンシップI			→学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 →禁担 大嶋淳俊に記載 →兼担 大嶋淳俊に記載
						兼担		伊藤 真市 (57) (57) スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー インテリアデザイン	兼担	准教授	伊藤 東市 (58) < 〒成30年4月> →学群共通科目による担当変更 →学群共通科目による担当変更 インテリアデザイン
						兼担	教授	MARGARET CHANG (55) 《平成30年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II	兼担	教授	MARGARET CHANG (56) 《平成30年4月> English Self-Expression I English Self-Expression II English Self-Expression II

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	
		担当授業科目名			担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名 <b>庄司 貞雄</b> (60) <平成30年4月>	兼任	講師	担当授業科目名  庄司 貞雄 (61)
								ス <del>↑版の年9月/</del> インターンシップ I インターンシップ II			<
						兼任	講師	高貝 浩也 (48) <平成30年4月> キャリア開発エ キャリア開発エ	兼任	講師	<u>キャリア開発車</u> 高員 浩也 (49) <平成30年4月> キャリア開発エ キャリア開発エ
						兼任	講師	島山 喜彦 (63) <平成30年4月> English Reading Skills I English Reading Skills II	兼任	講師	畠山 喜彦
						兼任	986-665	English for Academic Purposes I CRAIG MCDONALD (45)			English for Academic Purposes I
						***	講師	(90) <平成29年4月> English Self-Expression I English Self-ExpressionⅢ English Self-ExpressionⅢ			→兼担 佐藤麗に記載 →兼担 曾根洋明に記載 →兼担 小島さつきに記載
									兼担	教授	田連 信之 (62) <平成31年4月> を学自由ゼミ キャリアデザインI
											キャリアデザインI キャリア開発 I キャリア開発 I キャリア開発 I
									兼担	講師	高山 純人 (37) 〈平成31年4月〉 スタートアップ・セミナー アカデミック・セミナー
									兼担	准教授	齊藤 奈緒
									兼担	教授	無本 素子 (55) 〈平成31年4月〉 地域フィールドワーク
									兼担	准教授	木村 三番 (53) <平成31年4月> 地域フィールドワーク
									兼担	教授	川島 滋和 (47) <平成31年4月> 地域フィールドワーク
									兼担	教授	小林 仁 (58) <平成31年4月> 生物報論
											コミュニティ・プランナー振論及 び演習 コミュニティ・プランナー実践論
									兼担	教授	岩井 孝尚 (52) 〈平成31年4月〉 生物素論
									兼担		大陽 洋便 (51) <平成31年4月> インターンシップI
									兼担	講師	インターンシップⅡ 耕村 信俊 (39) <平成31年4月> インターンシップⅠ
									兼任	講師	インターンシップI 王 数紅 (52) <平成31年4月> 中国語 I 中国語 I
									兼任		小川 直人 (43)
											〈平成31年4月〉 音響・映像デザイン

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、**医可政又は届出時の企変更となている施門は太宇の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の漢年齢**を記入してください。
  ・ 専任(専門職大学等は専、東東、東、研)、実み)、来担、兼任の関に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

#### 【平成29年度】

```
・全学群で共通科目として授業を実施するため、「データサイエンス入門」の担当を、茅原拓朗教授から三浦幸平准教授へ変更
・研究室(ゼミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の滅のため、「卒業研究サーベイ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅰ」は、小嶋秀樹教授担当分は実施せず
・平成28年3月小嶋教授退職に伴い、「身体と認識」、「感性情報デザイン演習Ⅰ」、「感性情報デザイン演習Ⅰ」、「感性情報デザイン演習Ⅱ」、「エクスペリエンスデザイン」、「メ
ディアプログラミング」、「フィジカルコンピューティング」、「インタフェースデザイン」は、後任未定(平成29年4月新規採用教員の研究領域を考慮し、平成29年度中に公募を予定し
ている。担当科目については、今年度は開講しないことから支障はない。)
```

【令和元年度】 当者が実施するため、「キャリアデザイン I の担当者に田邉信之を追加 全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更 全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を山本まゆみ、菅原謙、高山純人、千葉克己、井上誠、川井一枝、三浦幸平、三好俊文へ変更 「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉京己、木村三香、大熊恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川 時間割編成に伴い、 島滋和、中沢峻へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionI」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionI」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明へ変更
・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionII」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
・ウラス数の見直しのため、「中国語IJ」、「中国語II」の担当者に王效紅を追加
・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を田邉信之、金子浩一、郷古雅春、佐々木秀之、中田千彦、鈴木優へ変更
・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更
・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更
・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を中田千彦、底野護、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を中田千彦、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
・クラス数の見直しのため、「常合芸術」の担当者を中田千彦、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・ブランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更 ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴 子、中沢峻、小林仁へ変更 ・クラス数の見直しのため、「コ 田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更 「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石 ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を川村保へ変更 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座Ⅰ」の担当者を川村保へ変更 ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座Ⅱ」の担当者を川村保へ変更 ・クラス数の見直しのため、「宇子連携調隆Ⅱ」の担当者を川村保へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅠ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小地沢将之へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を田邉信之、宮崎良徳、庄司貞雄へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を田邉信之、宮崎と徳、庄司貞雄へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、庄司貞雄、大嶋淳俊、絹村信俊、小地沢将之へ変更 ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップI」の担当者を藤澤由和、石内鉄平、日原広一、 キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発II」の担当者を田邉信之、高員浩也、庄司貞雄へ変更 少人教教育実施のため、「ユニバーサルデザイン」の担当者に平岡善浩を追加 クラス数の見直しのため、「ウェブデザイン」の担当者を庇野護へ変更 少人教教育実施のため、「音響・映像デザイン」の担当者に小川直人を追加 新規教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 I」の担当者に小地沢将之を追加 新規教員採用に伴い、「都市と文化」の担当者を発引敏明から小地沢将之を追加 新規教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 II」の担当者に小地沢将之を追加 新規教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 II」の担当者に小地沢将之を追加 が規教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 II」の担当者に小地沢将之を追加 がよ教教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 II」の担当者に小地沢将之を追加 がよ数数員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 III の担当者に小地沢将之を追加 いよ数数の事なのため、「封料学」の知当者にIII の担当者に外地沢将之を追加 新規教員採用に伴い、「生活環境デザイン演習 II の担当者に小地沢将之を追加 少人数教育実施のため、「材料学」の担当者に平岡善浩を追加 時間割編成に伴い、「建築法規・環境法規」の担当者を佐藤和裕から増田豊文へ変更 時間割編成に伴い、「施工技術」の担当者を福地一彦から横山泉へ変更 新規教員採用に伴い、「地区・街区計画」の担当者を舟引敵明から小地沢将之へ変更 新規教員採用に伴い、「中スティナブルデザイン」の担当者を舟引敏明から小地沢将之へ変更 新規教員採用に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者に小地沢将之を追加 新規教員採用に伴い、「卒業研究 I」の担当者に小地沢将之を追加 新規教員採用に伴い、「卒業研究 I」の担当者に小地沢将之を追加 新規数員採用に伴い 「卒業研究Ⅱ」の担当者に小地沢将之を追加

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。 ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ 「等は教員体用等変更者(AC)」を提出し「何」の教員刊定を受けている場合は「〇年〇月教員番重済」と記 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

- (2) 専任教員数等 (2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設 置基準上の必要専任教 員数	うち、完成年度時にお ける設置基準上の必要 教授数
8	4
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) -② 専任教員数【大学】

	1	设置時の計画	1			現在	(報告時) <i>0</i> .	)状況	
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
6 (6)	(1)	0 (0)	(1)	8 (8)	7	2	0	0	9
	現在(報告日	時)の完成年	F度時の状況	ļ		現在(報告	寺)の完成年	度時の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計
7	2	0	0	9	7	2	0	0	9
[1]	[1] [1] [0] [\(\Delta\)1] [1]		[1]	[1]	[1]	[0]	[Δ1]	[1]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに飲任する教員教を加えた教を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: $\triangle$ 1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: $\triangle$ 1)

- (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	ち、定年を延長して
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
    [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: △1)
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 112.5 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 現在(報告時)の状況(B) 0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況		就	<b>迁辞退</b> (	(未就	任)の理由			
			必修	卒業研究	サーベイ	1									
			必修	卒業研究	I	1									
			必修	卒業研究	П	1									
			必修	身体と認	識	1									
			選択	感性情報デ	ザイン演習 I	1									
1	教授	小嶋 秀樹	選択 感性情報デザイン演習 エ ① 一身上の都合による								退職(	のため就任辞	退(29	)	
			選択	感性情報デ	ザイン演習Ⅲ	1									
			選択	ンスデザイン	1										
			選択												
			選択	フィジカルコン	ピューティング	1									
			選択	インタフェー	ースデザイン	1)									
		合計	合計 (D) 後任補充制				<b>後任補充状況</b>	の集計	(E)						
	就任を辞	退した教員数	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	数(b)		③の合計	·数(c)	)	
		<del></del>	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
	1	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の	理由	
	該当なし							
合計(F)					後任補充状況の集計 (G)			
		百計	(F)			後は怖儿仏がの来引 (G)		
	辞任	した教員数	,	(a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等し	た教員数	担当科目数の合詞	計 (a) +	(p) + (c)	①の合計	十数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計	†数(c)	
		必修	4	科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0	科目
1	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11 科目	計	0 科目	計	0	科目

# (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番・	号職	せ 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
	該当なし							
合計						後任補充状況の集計		
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
	該当なし							

- (注) · <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の番号 1 については、退職は一身上の都合(家庭の事情)によるものであり、真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職を認めた。学生に対しては、平成27年4月5日に実施したオリエンテーションで専任教員を発表しており、今年度については当該教員の開講科目が 存在しないため教育上の支障は発生しない。(29) 就任辞退の番号1について、専任教員による後任補充を行った。(30)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
設 置 時 (H28年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (H29年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況調 査 時(H30年)	該当なし	履行中	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - · 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

# 7 その他全般的事項

## <事業構想学群 価値創造デザイン学類>

# (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

### ① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学のカリキュラムマネジメントは、平成29年度以降カリキュラムセンターがその中心を担っている。カリキュラムセンターは教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、成績評価に関するガイドラインの策定、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営等を行っている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

<カリキュラムセンター運営会議>

平成30年度は11回開催

第1回 平成30年4月11日

第2回 平成30年4月25日

第3回 平成30年5月23日

第4回 平成30年6月27日

第5回 平成30年7月25日

第6回 平成30年9月26日

第7回 平成30年10月31日

第8回 平成30年11月28日 第9回 平成30年12月21日

第10回 平成31年1月30日

第11回 平成31年2月27日

# c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営会議>

### 平成30年度

第1回 平成30年4月11日

1 平成30年度カリキュラムセンターの年度計画及び運営体制等について

#### 第2回 平成30年4月25日

- 1 平成29年度 年度計画確定実績について
- 2 平成29年度後期 授業改善計画作成について

### 第3回 平成30年5月23日

- 1 学修状況可視化システムalaginの可視化指標について
- 2 平成30年度FD・SDの実施について
- ・ハフ・・ス・ファンスパーフランス 3 奈良県立大学連携プログラム及び産学連携講座について
- 4 科目ナンバリングについて
- 5 科目名称の英語表記について

# 第4回 平成30年6月27日

- 1 認証評価における指摘事項に対する改善状況について
- 2 授業評価・授業改善について
- 3 ミドル・ミクロFDの実施計画について
- 4 学修行動調査について
- 5 奈良県立大学連携プログラムの派遣学生について
- 6 東北大学 新任教員・大学教員準備 プログラムにおける授業参観への協力について

### 第5回 平成30年7月25日

- 全学SD・FDプログラムの詳細と役割分担について
- シラバスの記載項目について
- ルーブリック作成マニュアルについて
- 平成29年度後期学群教育改善計画について
- ミドル・ミクロFDの企画について(研究科・追加分)
- 6 産学連携講座(東北電力)の非常勤教員任用について

#### 第6回 平成30年9月26日

- 科目ナンバリングについて
- 科目分類名及び科目名(学群専門)の英語表記について
- 食産業学群カリキュラムの資格取得について
- 4 教職課程の変更について

#### 第7回 平成30年10月31日

- 1 カリキュラムセンターの運営方針について
- 2 自己点検・評価報告について 3 各学群におけて新り 各学群における科目ナンバリングの検討結果について
- 4 H30年度計画進捗・予算執行状況とH31年度計画策定・予算作成について

### 第8回 平成30年11月28日

- 学則・履修規程の改正について
- 2 H30前期学群教育改善計画について
- 3 H31シラバス作成について
- 食産業学研究科ミドルFD企画について
- 実学教育充実のための教育プログラム企画募集について
- 6 H30年度計画進捗とH31年度計画策定・予算作成について
- 研究科の授業評価について
- 8 H31履修ガイドについて

#### 第9回 平成30年12月21日

- 卒業時の学修成果の測定について
- 2 H30年度暫定実績とH31年度計画について
- H30年度最終補正予算及びH31年度当初予算要求について
- H30前期学群教育改善計画について
- 5 研究科の授業評価について
- H31履修ガイドについて
- 学則・履修規程の改正について
- GPAの取扱いに関する要綱について
- 9 H30年度SD・FD実施報告書の作成について

### 第10回 平成31年1月30日

- 1 卒業時の学修成果の測定について
- 2 学則・履修規程の改正について
- nigalaによるH30後期授業評価の実施について
- GPA制度の取扱いに関する要綱について
- 研究科の授業評価(教育評価)について
- H31科目担当教員について
- ミドルFD企画の追加について

### 第11回 平成31年2月27日

- 実学教育充実のための教育プログラム企画について
- 食産業学研究科博士後期課程のDP・CPについて
- 食産業学群の資格要件について
- H31奈良県立大学連携プログラムin奈良・宮城について
- H31全学SD・FDについて

# ② 実施状況

- 実施内容 а
- 実施方法 b
- 開催状況(教員の参加状況含む)
  - 〇全学SD・FD
    - SD「内部質保証システムの確立と効果的運用に向けて」
    - FD「確かの教育評価制度の構築に向けた、ルーブリックに関する基礎理解」
    - ・平成30年8月7日(火)開催
    - ·役員3/4名, 教員121/133名, 事務職員47/59名, 合計171/196名参加
    - ・学外講師による講演、学内講師による講演
  - 〇看護学群FD「ルーブリックの作成と活用における課題」
    - ·平成30年8月8日(水)開催
    - 学群教員43/45名出席
    - ・グループワーク方式で実施
  - 〇事業構想学群FD「ルーブリック作成の実践」
    - · 平成30年9月12日(水)開催
    - 教授会構成員26名出席
    - ・全学FDを踏まえての具体の議論

- 〇食産業学群FD「地域フィールドワークの技法」
  - 平成30年9月10日(月)開催
  - 学群教員34名出席
  - ・地域フィールドワークでのアクティブラーニング実践によるケーススタディ
- 〇基盤教育群FD「脱ゆとり教育による教育環境の変化を踏まえた教養教育の改善」
  - · 平成31年2月18日(月)開催
  - ·教員4名参加
  - ・高大接続に焦点を当てた基盤教育のあり方について
- 〇看護学研究科FD「修士論文作成における指導方策について」
  - ・平成30年11月7日(水)開催
  - •研究科教員22/23名出席
  - ・グループワーク方式で実施
- ○事業構想学研究科FD「大学院における自治体枠による募集の活用と時間割の配置等について」
  - · 平成30年7月11日(水)開催
  - 教授会構成員27/31名出席
  - ・大学院における夜間開講や基礎教育についての改善について
- 〇食産業学研究科FD「学群と研究科の接続性について」
  - ·平成30年12月25日(火)開催
  - ·研究科教員30/33名出席
  - ・外部講師を招聘して他大学の事例から、学群と大学院の接続性について検討
- 〇カリキュラムセンターFD「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)を踏まえた高等教育 政策の動向について」
  - ·平成31年2月27日(水)開催
  - ・カリキュラムセンター教職員12名出席
  - ・学外講師による講演と質疑応答
- 〇スチューデントサービスセンターFD「配慮が必要な学生の特徴と対応の理解」
  - 平成30年12月25日(火)開催
  - ·教職員27名参加
  - ・保健室、学生相談室職員から利用状況と要配慮学生の対応について情報共有
- 〇アドミッションセンターFD「高大接続改革に伴う外部英語検定試験の入試活用に向けた勉強会」
  - · 平成30年10月4日(木)開催
  - •関係教職員7名参加
  - ・学外講師による各大学での外部検定試験の導入事例の紹介と対応に関する意見交換
- OアドミッションセンターFD「主体性評価にどのように取り組むか」
  - ·平成30年12月5日(水)開催
  - ·関係教職員16名参加
  - ・学外講師による主体性評価導入のためのメソッド講習、質疑応答
- 〇アドミッションセンター、スチューデントサービスセンター、カリキュラムセンター共催FD

「新入生アセスメント結果報告」

- ・平成30年9月4日(金)開催
- 関係教職47名参加
- ・外部講師による講演と質疑応答
- 〇キャリア・インターンシップセンター F D 「若い人材育成の重要性を踏まえた高等学校キャリア教育 の現状と課題について」
  - 平成31年1月9日(水)開催
  - 関係教職員18名参加
  - ・学外講師による高等学校でのキャリア教育の事例検討、質疑応答
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

平成30年度前期末(7月~8月) および後期末(2月~3月) にウェブ上でアンケートを実施した。

- b 教員や学生への公開状況, 方法等
  - ・授業評価結果に基づき、各担当教員が授業改善計画を作成し、授業評価結果と併せて学内で公開。
  - ・授業評価結果を受け、各学群の教育課程における授業改善に向けた実施計画を学群長が作成。
  - ・上記の計画に基づき、令和元年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターおよび第三者による確認を実施予定。
  - ・授業評価アンケートの回答率の向上を図るとともに、学生の学修到達度を把握し、授業科目や教育課程それぞれの教育効果を測定できるよう、新しい授業評価アンケートシステムの導入に向けて準備を進めている。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

価値創造デザイン学類は、人間の感性や認知特性等の基本的理論を踏まえ、地域のもつ自然的・文化的資源に根ざしたデザインや新しい文化的価値を探求し、創造することで、産業・文化の創造的発展に取り組める人材を育成することを目的としている。 初年度は、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を展開し、偏りなく幅広い教養を身につけるとともに、 1年後期には「学類配属」の指針となる学群共通の専門基礎科目として「事業構想学総論」「地域活性化とビジネス」「地域社会・産 業とデザイン」の3科目を開講するとともに、2年次進級時の「学類配属」を決定した。

2年目となる平成30年度は、学類での専門的な学びを学生自らが掘り下げ、2年後期には自らの専門性を踏まえたコース選択を行い、

ディプロマ・ポリシーで掲げる能力を着実に身につけているところである。 3年目となる令和元年度は、後期から学生は研究室(ゼミ)に配属され、「卒業研究サーベイ」に取組む。研究室(ゼミ)の配属は、学生自身の志望に加えて、基盤教育・専門教育での学びの成果を参考に、専門に向けた適性を考慮して配属を行う。ここでの学 びをより充実させられるよう,平成30年度に新設したラーニングコモンズ等を積極的に活用するとともに,デザインを志向した新た な創作活動を実施できる場の新設等、引続き学習環境の整備を行っていく。

全学のカリキュラムマネジメントは、引き続きカリキュラムセンターが学群・学類と連携しながらその中心を担い、科目担当教員に は「成績評価に関するガイドライン」を示すなど、成績評価の厳格化に向けた取組としている。また、3つのポリシーに基づいた「カリキュラムマップ」を学生向けに提示するとともに、学生の授業評価に基づく授業改善計画書の提出・改善を継続して実施している。加 えて、令和元年度の本格稼働を目指し、学生の学修成果を可視化するためのツール導入の準備を進めており、その基礎資料となるWe b上の授業評価の回答率を向上させる取組に着手している

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて不断の見直しを行い、着実に取組を進めてい るところである。

#### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表 (予定) 時期

- ・本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その 前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・独立行政法人化の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末 (25年3月) に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表している。
- 令和元年度に第3期認証評価を受審予定であり、現在自己点検・評価報告書を(財)大学基準協会に 提出したところである。

#### b 公表方法

・本学ウェブサイトにて公表している。 http://www.myu.ac.jp/site/co/25ninshou.html

# ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に,公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け,その結果,本学は大学基準に適合 していることが認定された。
- ・令和元年度に第3期認証評価を受審予定である。

## (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

# (5) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表(予定)の有無 ( 有 )・ 無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2017年5月31日~現在)

- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。